

5 ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について

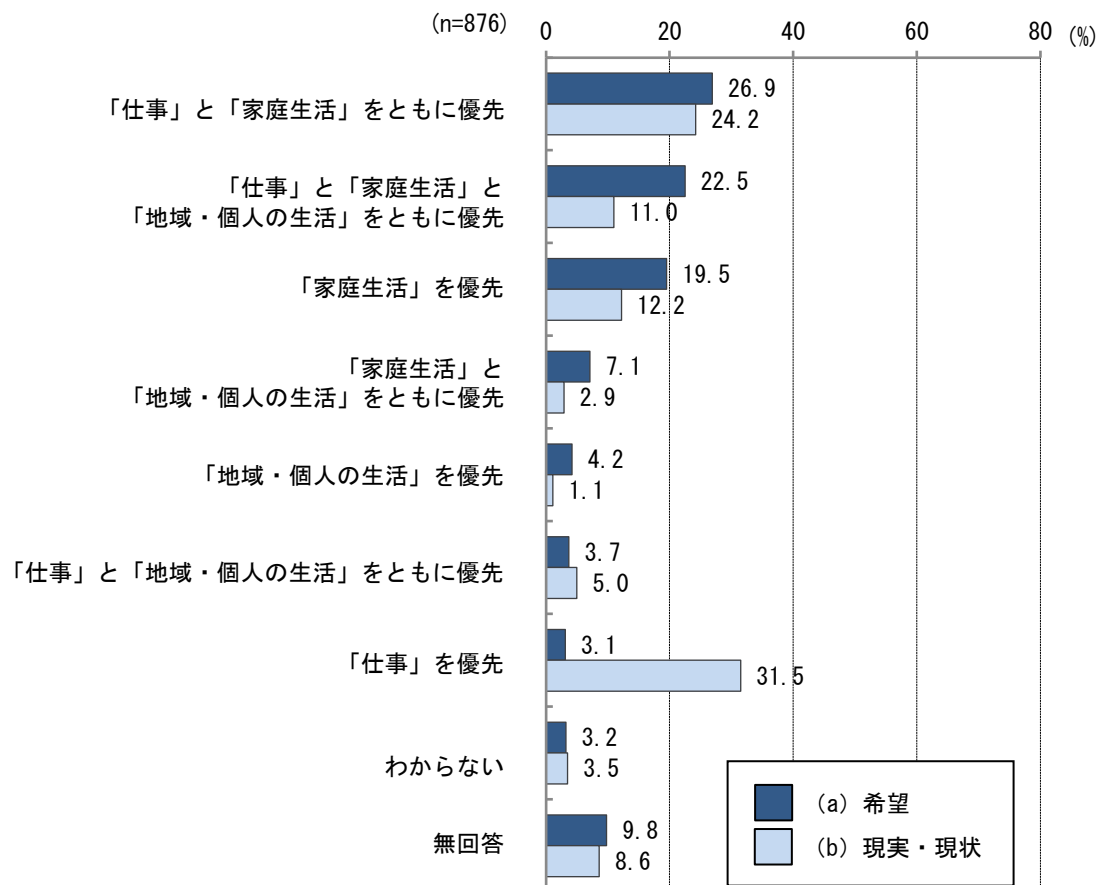
(1) 就労している人の日常生活の優先度＜希望と現実・現状＞

現在、仕事をしている方のみ

問21 日頃の生活における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望と現実・現状に最も近いものをお答えください。(✓は1つ)

※「地域・個人の生活」…地域活動・近所づきあい・スポーツ・趣味の活動・社会貢献活動など

【図表 21-1 就労している人の日常生活の優先度＜希望と現実・現状＞】



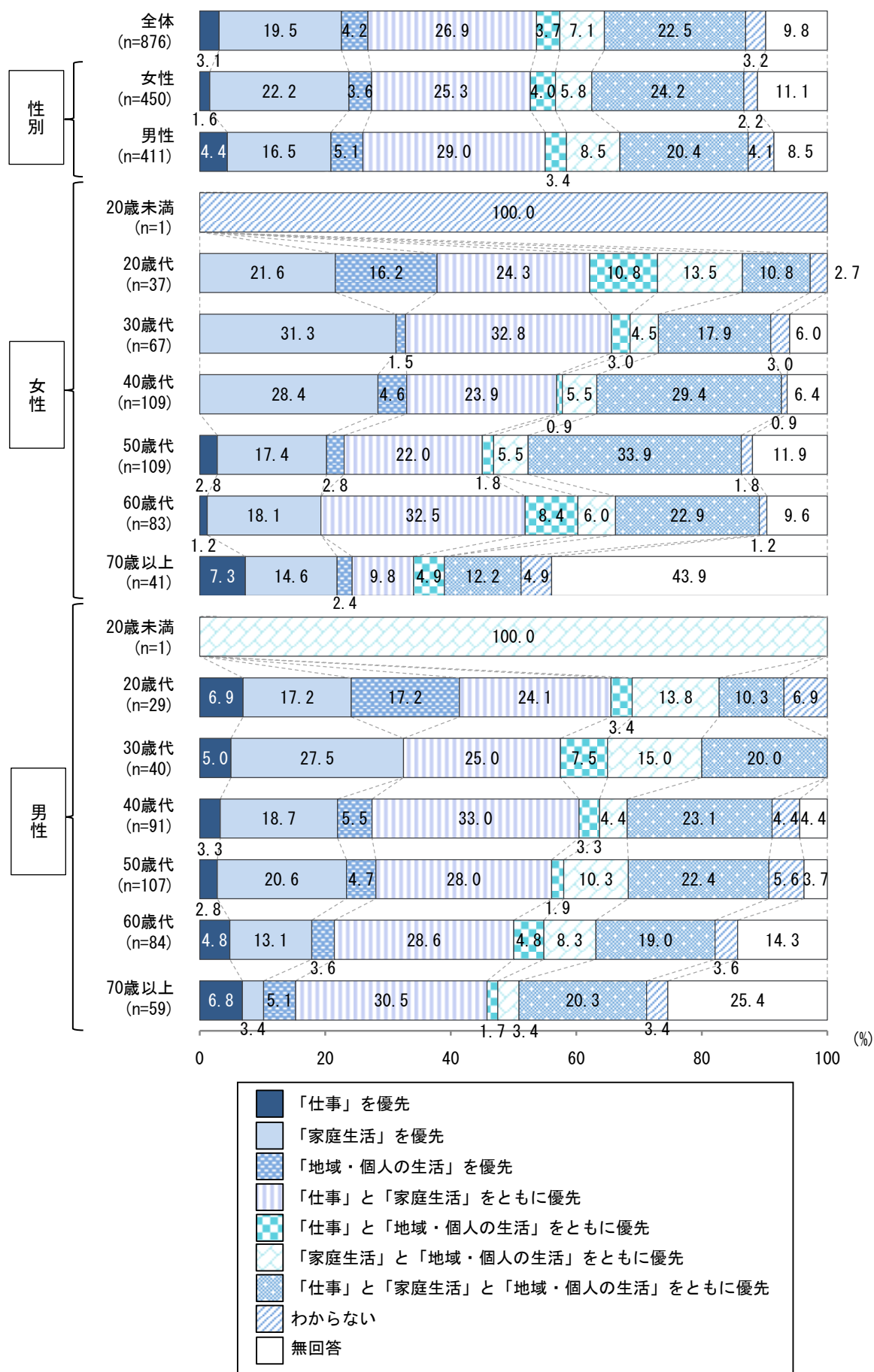
就労している人の日常の優先度の希望は「仕事」と「家庭生活」をともに優先だが、現実・現状では「仕事」を優先

就労している人の日常生活の優先度の希望について、「仕事」と「家庭生活」をともに優先が 26.9%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先(22.5%)、「家庭生活」を優先(19.5%)などの順となっている。

また、就労している人の日常の優先度の現実・現状について、「仕事」を優先が 31.5%と最も高く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先(24.2%)、「家庭生活」を優先(12.2%)などの順となっている。

(a)就労している人の日常生活の優先度<希望>

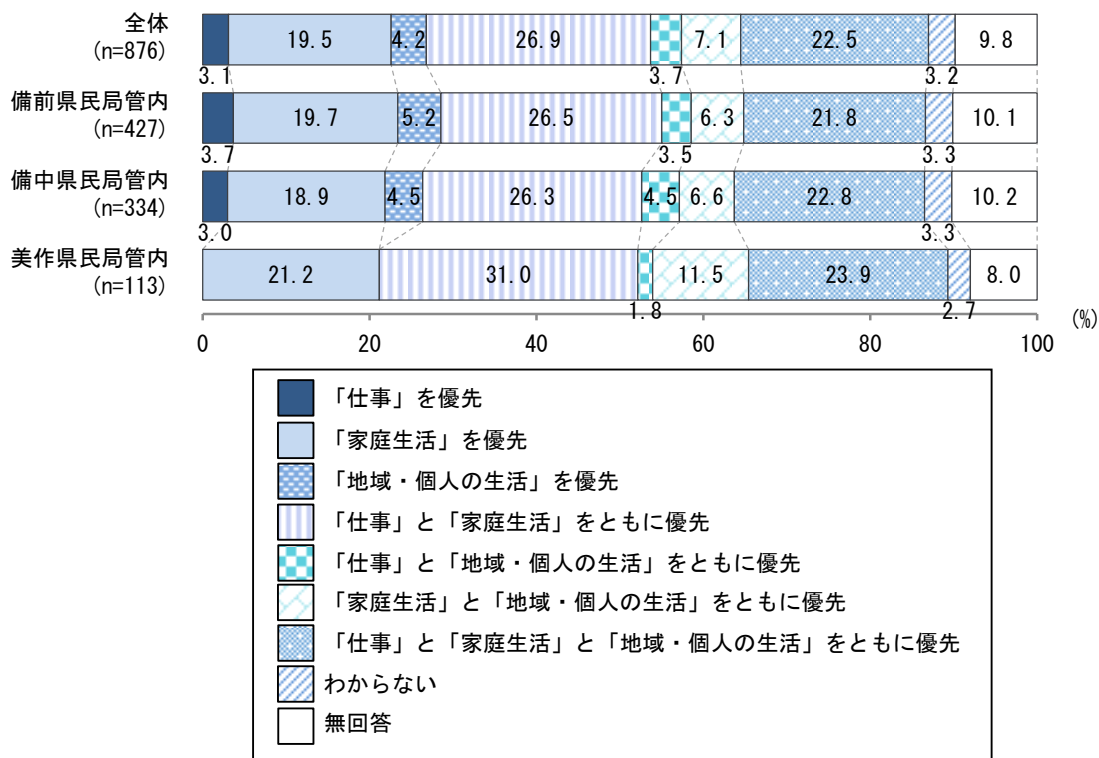
【図表 21-1-1 就労している人の日常生活の優先度<希望>(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに「仕事」と「家庭生活」をともに優先(女性 25.3%、男性 29.0%)が最も高くなっている。また、「家庭生活」を優先は女性(22.2%)が男性(16.5%)を 5.7 ポイント上回っている。

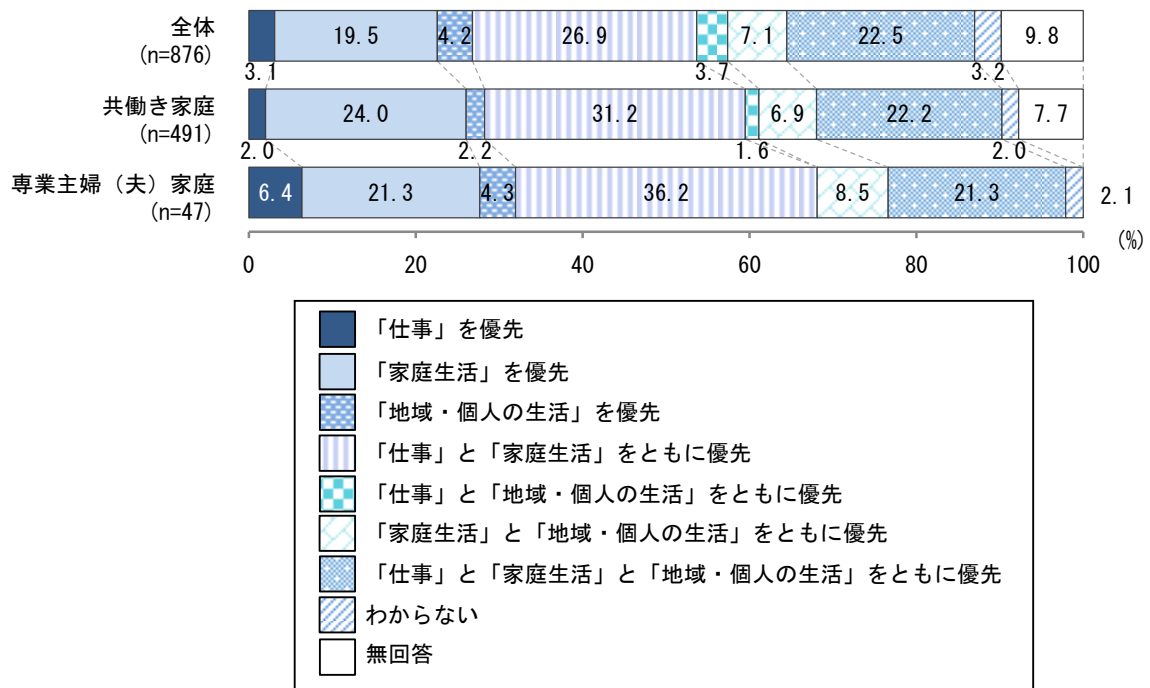
性年代別にみると、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先は女性の 50 歳代で 3 割台半ばと高くなっている。男性は 20 歳代、40 歳代～70 歳以上で「仕事」と「家庭生活」をともに優先が最も高く、特に 40 歳代で 3 割台半ばと高くなっている。

【図表 21-1-2 就労している人の日常生活の優先度＜希望＞(地域別)】



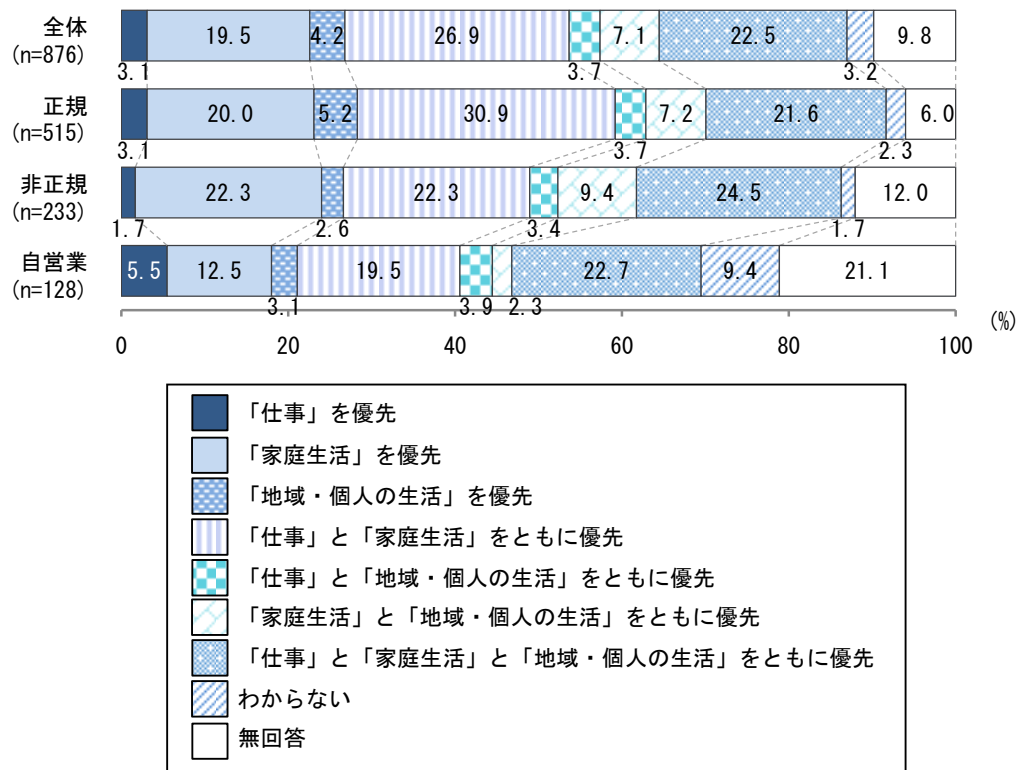
地域別にみると、すべての地域で「家庭生活」を優先が約 2 割となっている。「仕事」と「家庭生活」をともに優先は美作県民局管内で 3 割超と他の地域と比べて高くなっている。

【図表 21-1-3 就労している人の日常生活の優先度＜希望＞（就労状況別）】



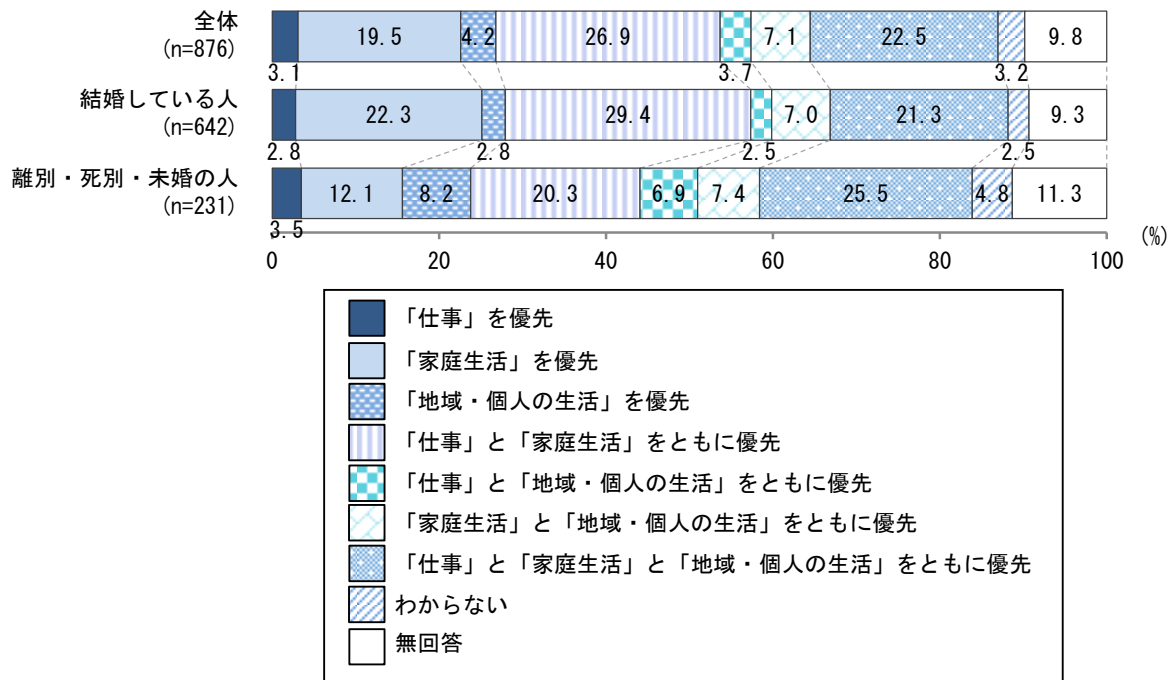
就労状況別にみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先は、専業主婦（夫）家庭（36.2％）が共働き家庭（31.2％）を5.0ポイント上回っている。

【図表 21-1-4 就労している人の日常生活の優先度＜希望＞（職業別）】



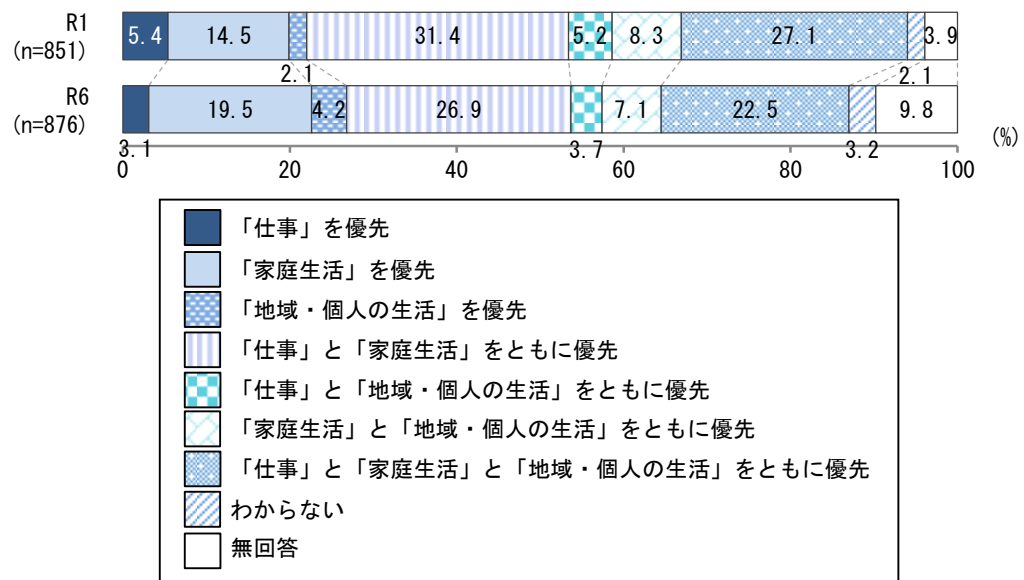
職業別でみると、自営業では「家庭生活」を優先が他の職業と比べて低い。また、「仕事」と「家庭生活」をともに優先は正規で約3割と高くなっている。

【図表 21-1-5 就労している人の日常生活の優先度＜希望＞（婚姻状況別）】



婚姻状況別にみると、「家庭生活」を優先は結婚している人(22.3%)が離別・死別・未婚の人(12.1%)を10.2ポイント上回っている。

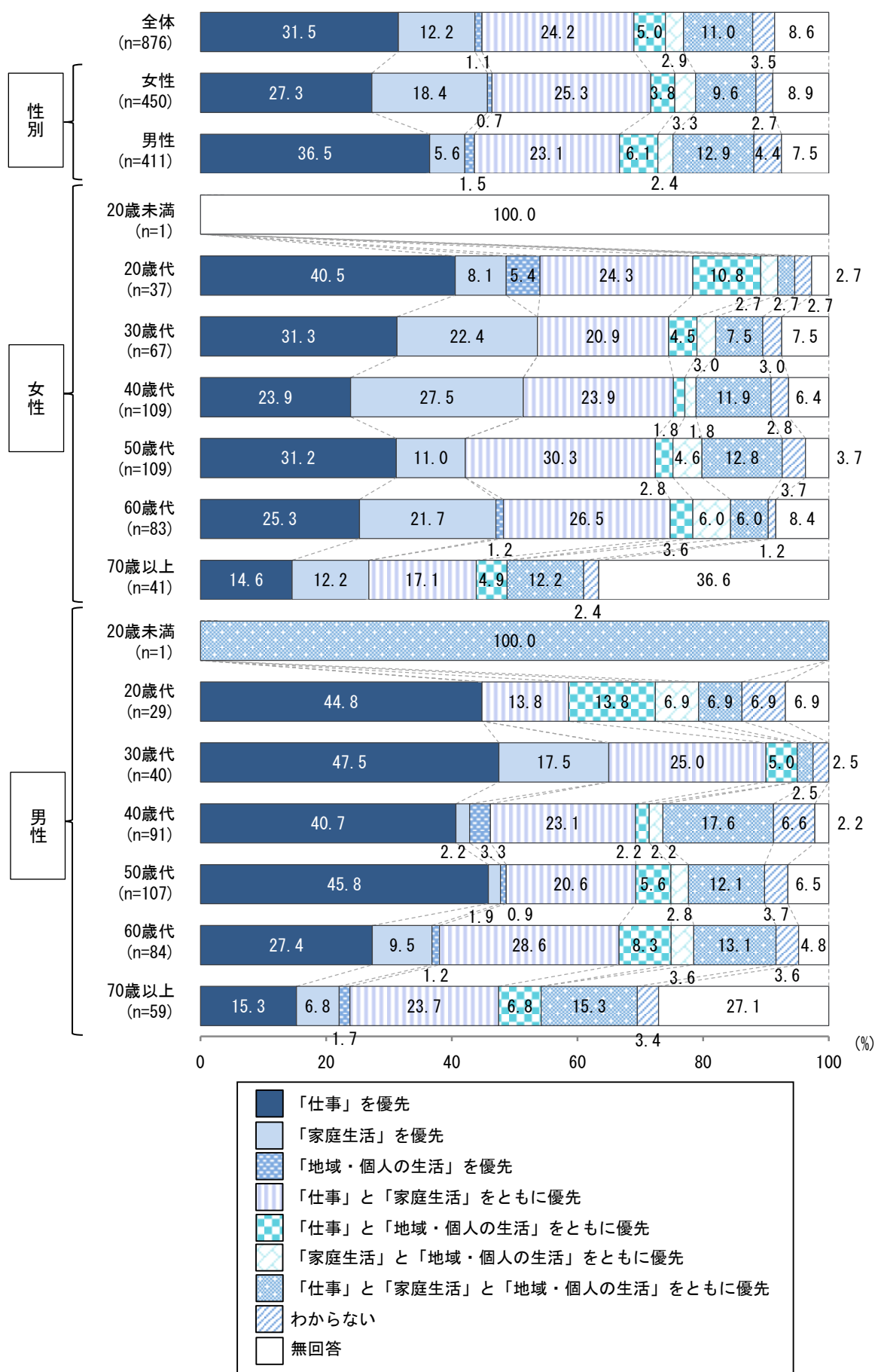
【図表 21-1-6 就労している人の日常生活の優先度＜希望＞（経年比較）】



経年比較でみると、「家庭生活」を優先は令和6年調査(19.5%)が令和元年調査(14.5%)を5.0ポイント上回っている。一方、「仕事」と「家庭生活」をともに優先は令和6年調査(26.9%)が令和元年調査(31.4%)を4.5ポイント、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先は令和6年調査(22.5%)が令和元年調査(27.1%)を4.6ポイント下回っている。

(b)就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞

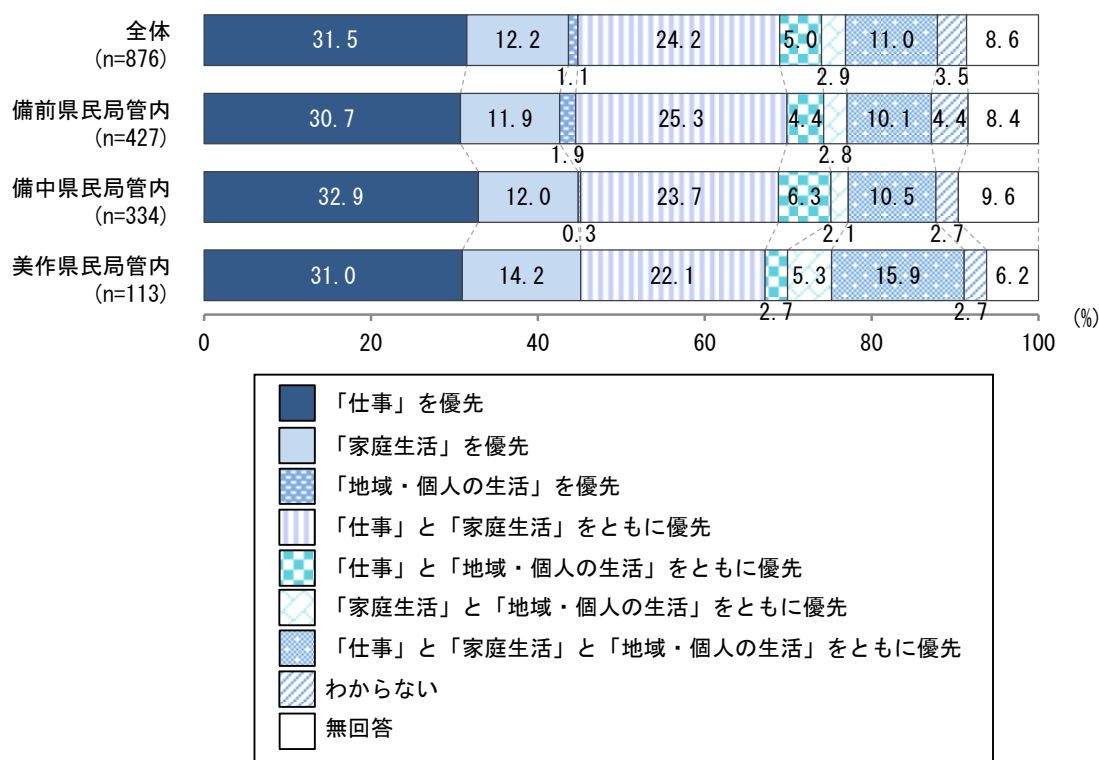
【図表 21-2-1 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（性別、性年代別）】



性別にみると、男女ともに「仕事」を優先が最も高くなっており、男性(36.5%)が女性(27.3%)を 9.2 ポイント上回っている。「家庭生活」を優先は女性(18.4%)が男性(5.6%)を 12.8 ポイント上回っている。

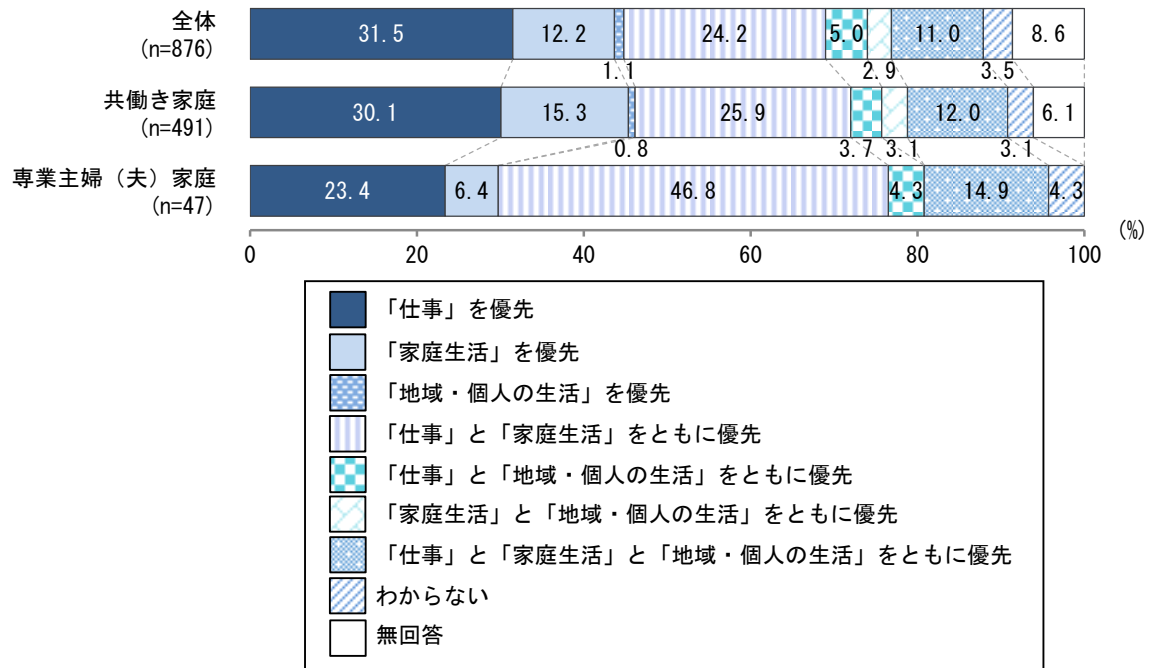
性年代別にみると、女性は 20 歳代及び 30 歳代では「仕事」を優先が最も高くなっているが、40 歳代、50 歳代及び 60 歳代では「仕事」を優先、「仕事」と「家庭生活」とともに優先が同程度の割合となっている。男性は 20 歳代から 50 歳代で「仕事」を優先が4割超で最も高くなっている。

【図表 21-2-2 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（地域別）】



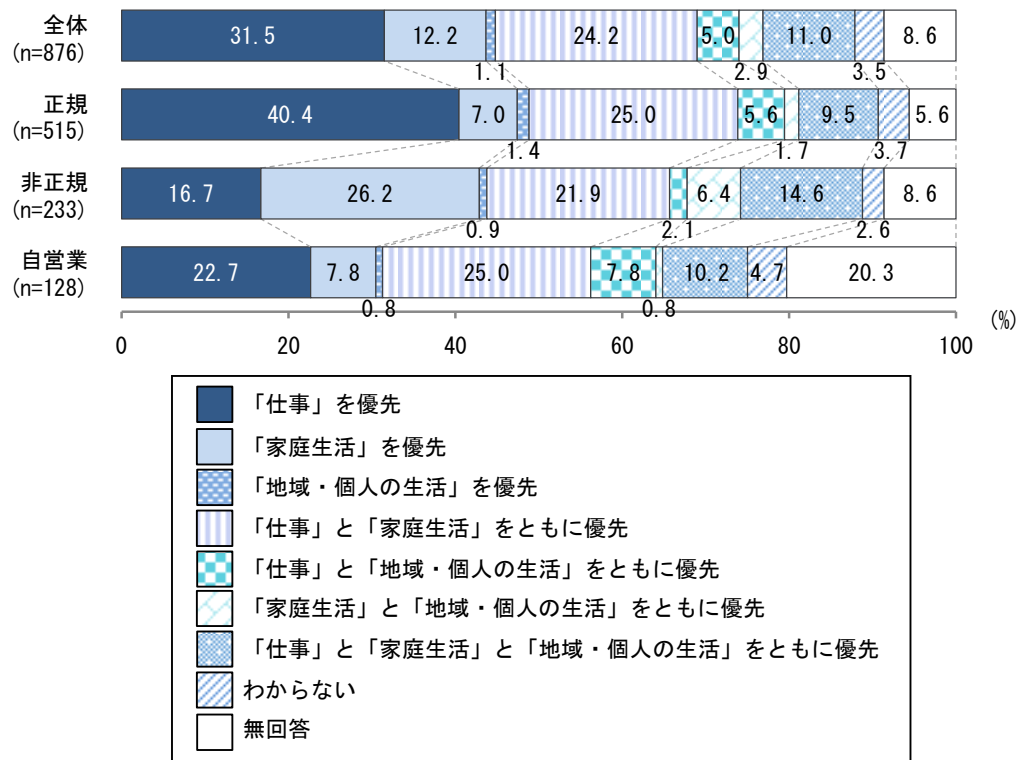
地域別にみると、「仕事」を優先はすべての地域で最も高くなっている。「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先は美作県民局管内で1割台半ばと他の地域と比べて高くなっている。

【図表 21-2-3 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（就労状況別）】



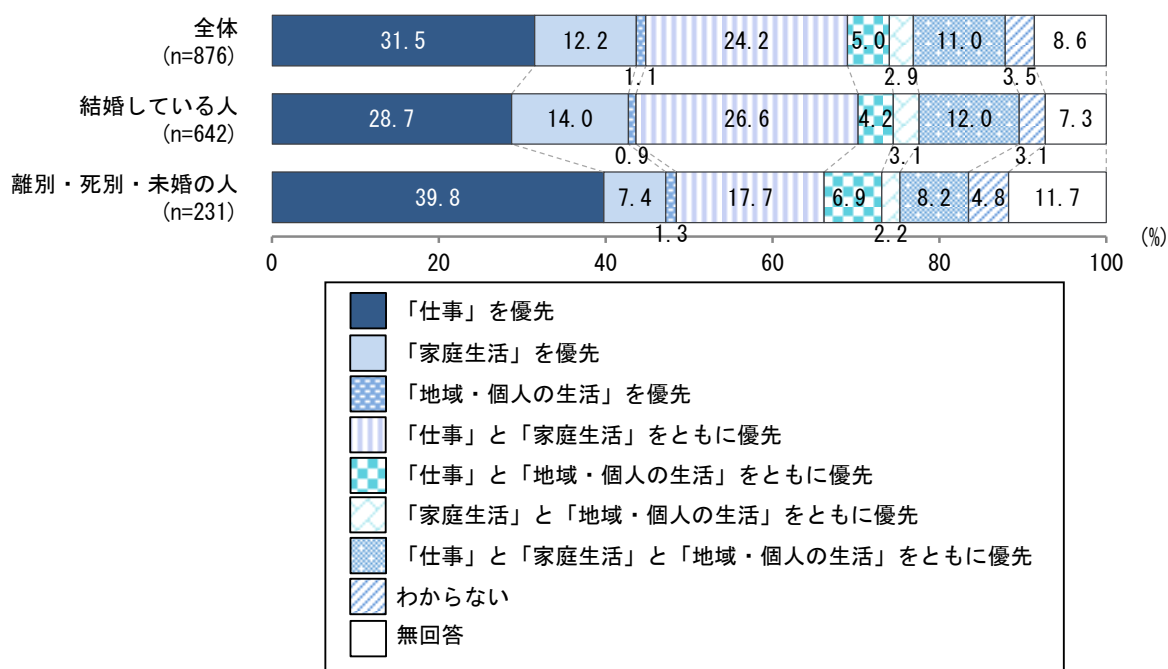
就労状況別にみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先は専業主婦（夫）家庭（46.8％）が共働き家庭（25.9％）を 20.9 ポイント上回っている。

【図表 21-2-4 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（職業別）】



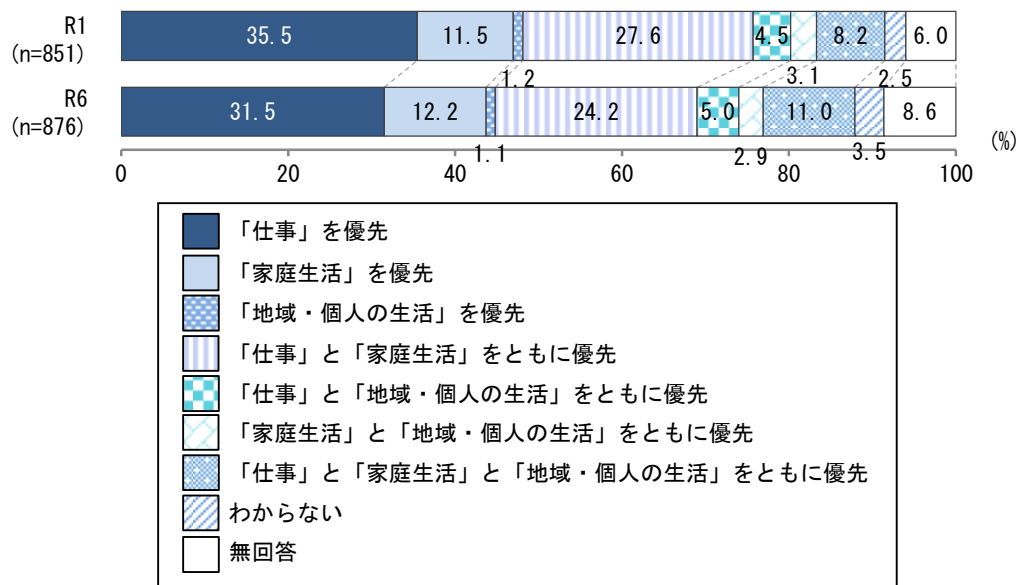
職業別でみると、「仕事」を優先は正規で約4割、「家庭生活」を優先は非正規で2割台半ばと高くなっている。

【図表 21-2-5 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（婚姻状況別）】



婚姻状況別にみると、「仕事」を優先は離別・死別・未婚の人(39.8%)が結婚している人(28.7%)を 11.1ポイント上回っている。

【図表 21-2-6 就労している人の日常生活の優先度＜現実・現状＞（経年比較）】

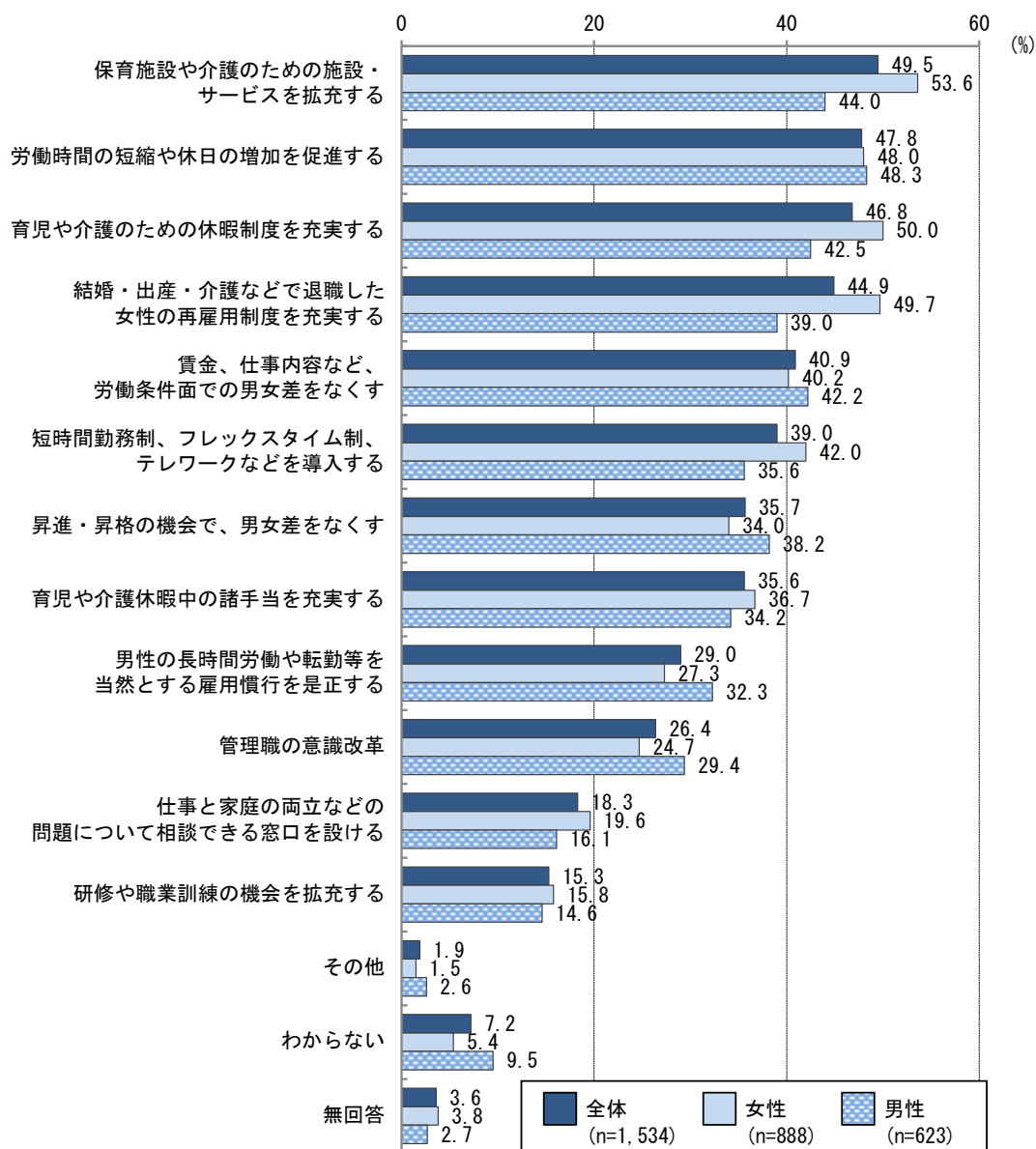


経年比較でみると、大きな差はみられない。

(2) 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと

問22 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するためには、どのようなことが必要であるとお考えですか。(✓はいくつでも)

【図表 22-1 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(性別)】



「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高い

男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なことについて、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が 49.5%と最も高く、次いで「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」(47.8%)、「育児や介護のための休暇制度を充実する」(46.8%)などの順となっている。

性別にみると、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」は女性(49.7%)が男性(39.0%)を 10.7 ポイント上回っており、「男性の長時間労働や転勤等を当然とする雇用慣行を是正する」は男性(32.3%)が女性(27.3%)を 5.0 ポイント上回っている。

※H21 調査では「男女がともに「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような条件の整備が必要であると思いますか。」、
H26 調査では「男女が共に「仕事と生活の調和」を図るためには、どのような条件の整備が必要であるとお考えですか。」と聞いている。

【図表 22-2 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(性年代別・上位 10 位)】

(%)

		n 数	設・保 育施設 や介護 サービスを 拡充する ための 施	加 労働時 間の短 縮や休 日の増	度 育児や 介護の ための 休暇制	充 職した 女性の 再雇用 制度で 退	結 婚・出 産の 介護な どで	賃 金・仕 事内容 など、 労働	を 導入す る	短 時間 勤務 制、 フレ ックス など	差 昇進 をな くす の機 会で 、男 女	を 育児 や介護 休暇中 の諸手 当	正 当な 長時間 労働や 慣行転 勤等	管 理職 の意 識改 革
全 体		1,534	49.5	47.8	46.8	44.9	40.9	39.0	35.7	35.6	29.0	26.4		
年 代 別	女 性	20歳未満	18	61.1	61.1	66.7	61.1	50.0	38.9	55.6	50.0	22.2	-	
		20歳代	54	50.0	68.5	61.1	55.6	53.7	48.1	59.3	57.4	37.0	29.6	
		30歳代	89	66.3	70.8	64.0	61.8	48.3	59.6	41.6	56.2	33.7	27.0	
		40歳代	132	45.5	62.1	42.4	47.0	48.5	49.2	41.7	34.8	30.3	28.0	
		50歳代	143	49.0	48.3	51.7	40.6	39.2	44.1	35.0	37.8	24.5	33.6	
		60歳代	176	69.3	44.3	53.4	50.6	44.9	48.3	33.5	40.9	30.7	30.1	
		70歳以上	269	46.5	30.5	43.1	49.4	27.5	26.8	21.2	23.4	21.9	14.9	
	男 性	20歳未満	15	13.3	53.3	40.0	40.0	20.0	33.3	33.3	13.3	6.7	13.3	
		20歳代	39	48.7	69.2	61.5	53.8	51.3	53.8	46.2	59.0	30.8	38.5	
		30歳代	45	44.4	68.9	51.1	24.4	44.4	44.4	33.3	48.9	42.2	26.7	
		40歳代	95	41.1	58.9	45.3	47.4	44.2	47.4	42.1	40.0	47.4	45.3	
		50歳代	114	42.1	56.1	43.0	38.6	39.5	36.8	36.8	37.7	36.0	29.8	
		60歳代	123	52.8	42.3	39.8	43.1	52.0	36.6	46.3	36.6	30.9	31.7	
		70歳以上	191	42.4	33.0	37.2	33.0	35.6	22.5	31.9	20.9	23.6	19.9	

1位 2位 3位

性年代別にみると、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は男女ともに 20 歳代及び 30 歳代で約 7 割、「育児や介護のための休暇制度を充実する」は女性は 30 歳代にかけて 6 割超、男性は 20 歳代で 6 割超 となっており、「育児や介護休暇中の諸手当を充実する」は男性の 20 歳代で約 6 割と高くなっている。

【図表 22-3 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(地域別・上位 10 位)】

												(%)
		n 数	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	育児や介護のための休暇制度を充実する	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	賃金、仕事内容など、労働条件面での男女差をなくす	短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワークなどを導入する	昇進・昇格の機会で、男女差をなくす	育児や介護休暇中の諸手当を充実する	男性の長時間労働や転勤等を当然とする雇用慣行を是正する	管理職の意識改革
全 体		1,534	49.5	47.8	46.8	44.9	40.9	39.0	35.7	35.6	29.0	26.4
地域別 居住	備前県民局管内	756	51.9	47.8	46.2	44.7	41.8	41.9	37.8	36.8	31.7	29.8
	備中県民局管内	612	47.2	45.3	46.7	43.5	38.4	36.3	32.2	34.2	26.0	21.9
	美作県民局管内	158	48.1	58.9	51.3	51.9	46.2	34.8	38.0	36.1	28.5	28.5

1位 2位 3位

地域別にみると、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」は備前県民局管内で5割超、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は美作県民局管内で約6割、「結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する」は美作県民局管内で5割超と高くなっている。

【図表 22-4 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(就労状況別・上位 10 位)】

(%)												
		n 数	保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する	労働時間の短縮や休日の増加を促進する	育児や介護のための休暇制度を充実する	結婚・出産・介護などで退職した女性の再雇用制度を充実する	賃金、仕事内容など、労働条件面での男女差をなくす	短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワークなどを導入する	昇進・昇格の機会で、男女差をなくす	育児や介護休暇中の諸手当を充実する	男性の長時間労働や転勤等을 当然とする雇用慣行を是正する	管理職の意識改革
全 体		1,534	49.5	47.8	46.8	44.9	40.9	39.0	35.7	35.6	29.0	26.4
就労状況別	共働き家庭	491	50.3	57.8	50.3	45.2	43.6	45.0	37.3	39.1	31.8	31.4
	専業主婦(夫)家庭	131	57.3	51.1	51.1	48.9	38.2	48.9	32.1	44.3	45.0	31.3

1位 2位 3位

就労状況別にみると、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は共働き家庭(57.8%)が専業主婦(夫)家庭(51.1%)を 6.7 ポイント上回っており、「男性の長時間労働や転勤等を当然とする雇用慣行を是正する」は専業主婦(夫)家庭(45.0%)が共働き家庭(31.8%)を 13.2 ポイント上回っている。

【図表 22-5 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(職業別・上位 10 位)】

(%)

	n 数	設・保 育施設 サービス を拡充 する施	を労働 時間 の短縮 や休日 の増加 を促進 する	を育児 や介護 のため の休暇 制度を 充実す る	した結 婚・出 産・再 雇用制 度など で退職 する	賃金・ 仕事 内容な ど、労 働条 件面で の男女 差をな くす	入イム 制、勤 務制、 テレワ ークな どを導 入する	短時間 勤務制 、フレ ックス などを 導入す る	を昇進 ・昇格 の機会 で、男 女差を なくす	充実す る育児 や介護 休暇中 の諸手 当を	る当然 とす男 性の 長時間 雇用 慣行を 是正等 する	管理職 の意識 改革
全 体	1,534	49.5	47.8	46.8	44.9	40.9	39.0	35.7	35.6	29.0	26.4	
職業別												
正規	515	47.2	61.2	47.8	41.4	41.7	43.1	38.1	39.6	32.0	34.0	
非正規	233	52.8	51.5	50.6	48.5	50.2	45.1	38.6	39.5	27.9	30.5	
自営業	128	48.4	32.8	39.1	36.7	42.2	35.9	36.7	28.9	34.4	23.4	
その他	563	54.2	41.6	50.8	51.7	39.8	37.8	35.2	35.5	27.4	21.1	

1位 2位 3位

職業別でみると、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は正規で6割超と高くなっている。

【図表 22-6 男女が共にワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を実現するために必要なこと(経年比較・上位 10 位)】

(%)

	n 数	設・保 育施設 サービス を拡充 する施	を労働 時間 の短縮 や休日 の増加 を促進 する	を育児 や介護 のため の休暇 制度を 充実す る	した結 婚・出 産・再 雇用制 度など で退職 する	賃金・ 仕事 内容な ど、労 働条 件面で の男女 差をな くす	入イム 制、勤 務制、 テレワ ークな どを導 入する	短時間 勤務制 、フレ ックス などを 導入す る	を昇進 ・昇格 の機会 で、男 女差を なくす	充実す る育児 や介護 休暇中 の諸手 当を	る当然 とす男 性の 長時間 雇用 慣行を 是正等 する	管理職 の意識 改革
経年比較												
H21	1,490	51.0	26.8	32.9	39.8	18.1	24.3	10.5	20.0			
H26	1,386	44.2	31.3	31.6	39.6	19.3	25.4	12.1	17.9			15.1
R1	1,532	51.8	40.3	41.5	48.2	34.1	40.1	28.1	28.7			22.2
R6	1,534	49.5	47.8	46.8	44.9	40.9	39.0	35.7	35.6	29.0	26.4	

1位 2位 3位

経年比較でみると、平成 21 年調査から令和6年調査にかけて、「保育施設や介護のための施設・サービスを拡充する」が最も高くなっている。また、「昇進・昇格の機会で、男女差をなくす」は令和6年調査(35.7%)が令和元年調査(28.1%)を 7.6 ポイント、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は令和6年調査(47.8%)が令和元年調査(40.3%)を 7.5 ポイント上回っている。

※「短時間勤務制、フレックスタイム制、テレワークなどを導入する」は、H21、H26、R1 調査では「フレックスタイム制、短時間勤務制、在宅勤務制度などを導入する」となっている。

※H21、H26 調査では当てはまるもの3つまでの選択としていた。

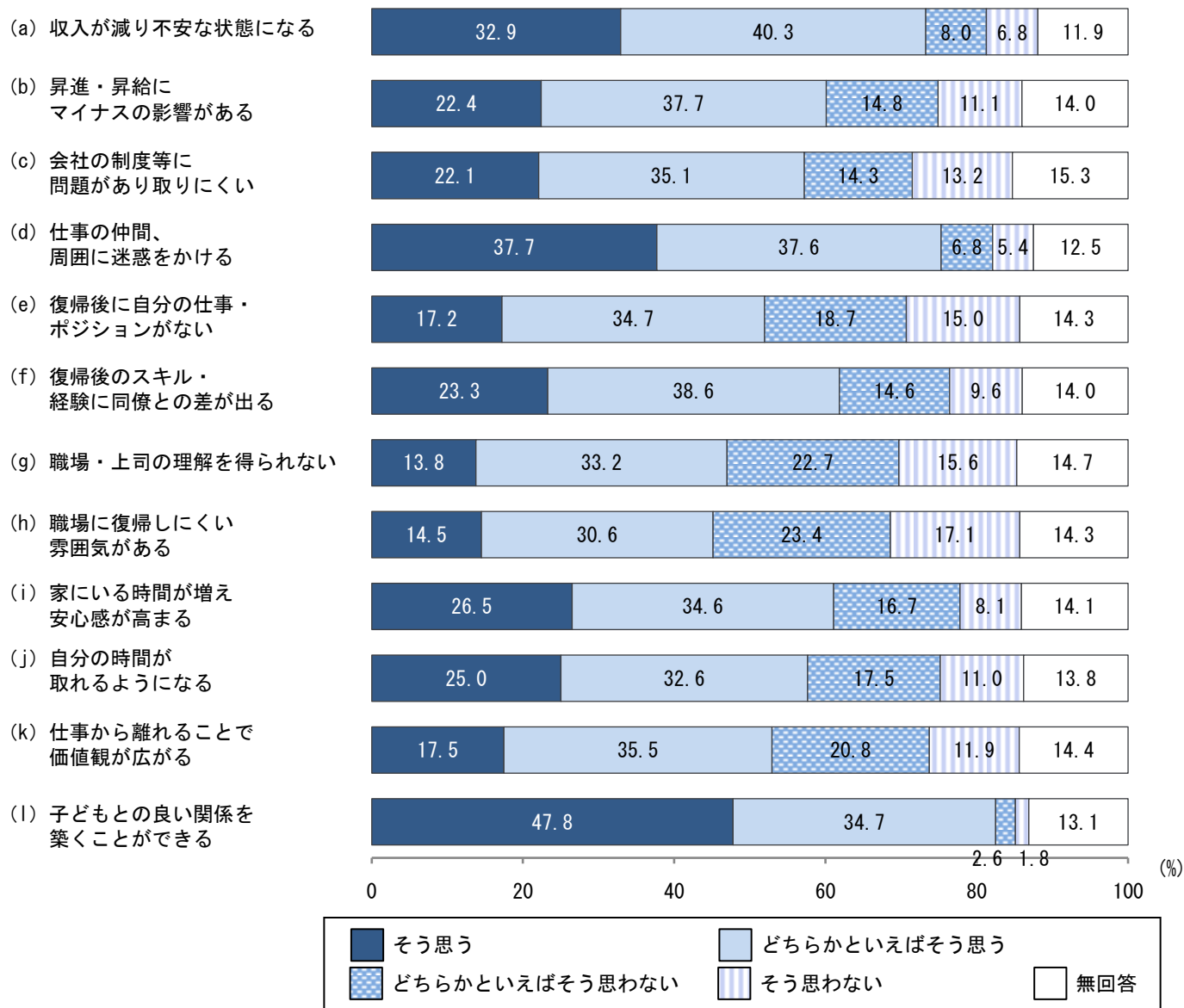
【新規】

(3) 育児休業取得への考え方・影響

問23 「育児休業」を取得することや取得した後について、あなたはどのようにお考えですか。
(a)～(l)でそれぞれ1つだけ✓)

【図表 23-1 育児休業取得への考え方・影響】

(n=1,534)

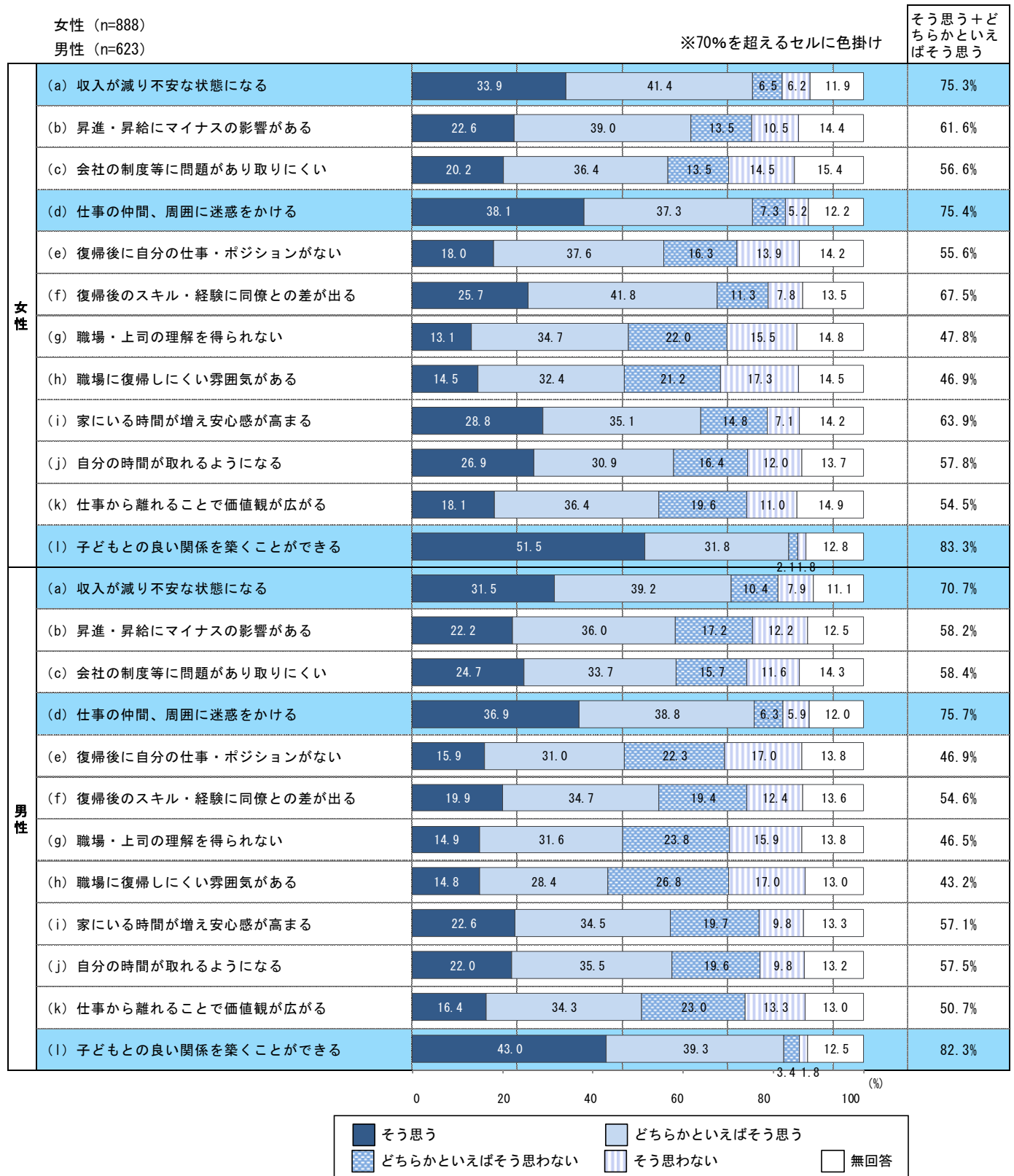


「子どもとの良い関係を築くことができる」は82.5%が『そう思う』

育児休業取得への考え方・影響について、ポジティブ要素では「子どもとの良い関係を築くことができる」は『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)が 82.5%と高くなっている。ネガティブ要素では「仕事の仲間、周囲に迷惑をかける」は『そう思う』が 75.3%、「収入が減り不安な状態になる」も 73.2%と高くなっている。一方、「職場に復帰しにくい雰囲気がある」は『そう思う』と『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)がどちらも4割台となっている。

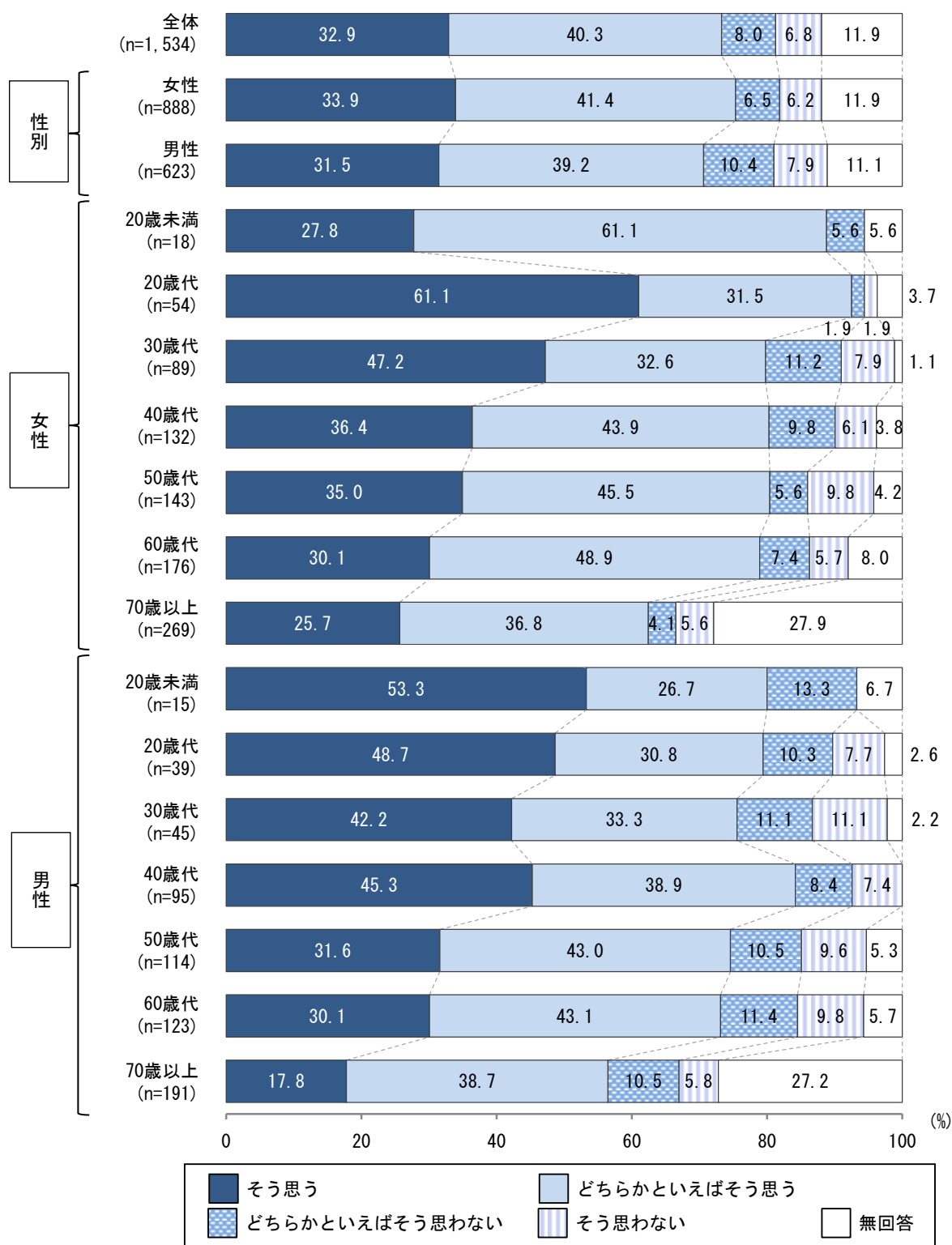
育児休業取得への考え方・影響

- ・「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の累計値でみると、男女ともに7割を超える項目は、ポジティブ要素では「子どもとの良い関係を築くことができる」、ネガティブ要素では「収入が減り不安な状態になる」、「仕事の仲間、周囲に迷惑をかける」となっている。
- ・男女で比較すると、「復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る」は女性の方が10ポイント以上高くなっている。



(a)収入が減り不安な状態になる

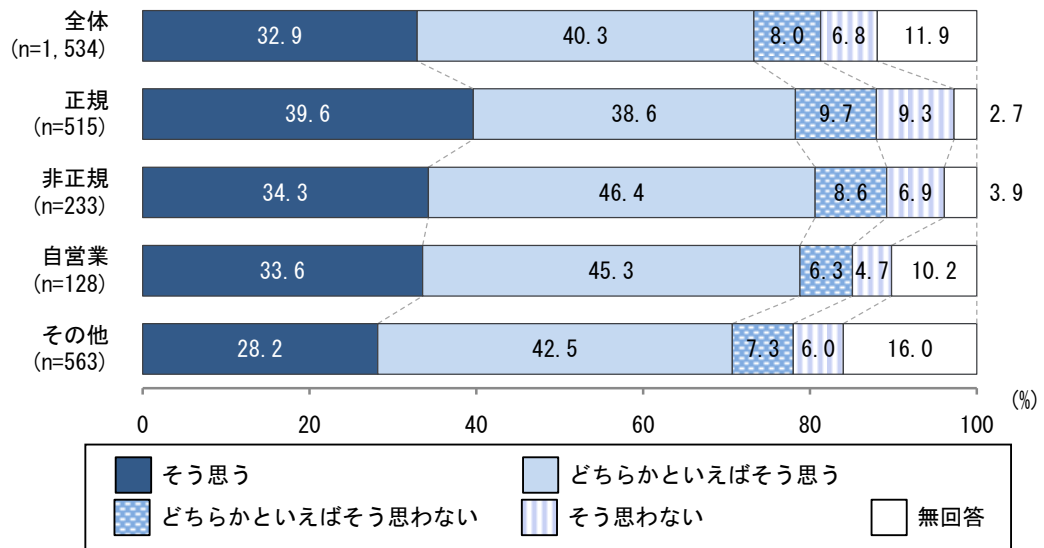
【図表 23-1-1 収入が減り不安な状態になる(性別、性年代別)】



性別にみると、『そう思わない』は男性(18.3%)が女性(12.7%)を 5.6 ポイント上回っている。

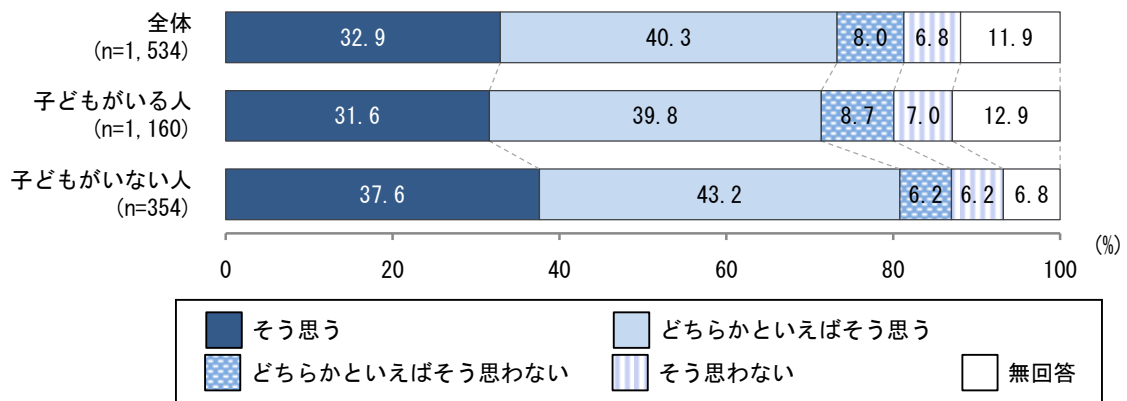
性年代別にみると、『そう思う』は全体的に高いが、特に女性は 20 歳代で9割超、男性は 40 歳代で8割台半ばと高くなっている。

【図表 23-1-2 収入が減り不安な状態になる(職業別)】



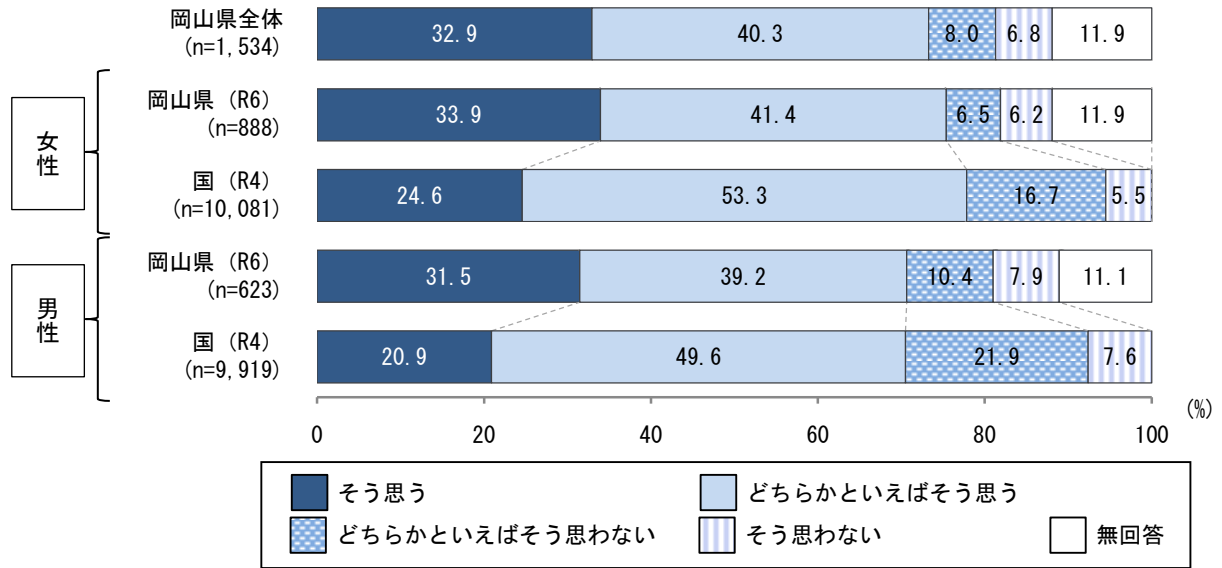
職業別でみると、『そう思う』は正規、非正規、自営業で約8割と高くなっている。

【図表 23-1-3 収入が減り不安な状態になる(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(80.8%)が子どもがいる人(71.4%)を 9.4 ポイント上回っている。

【図表 23-1-4 収入が減り不安な状態になる(国調査との比較)】

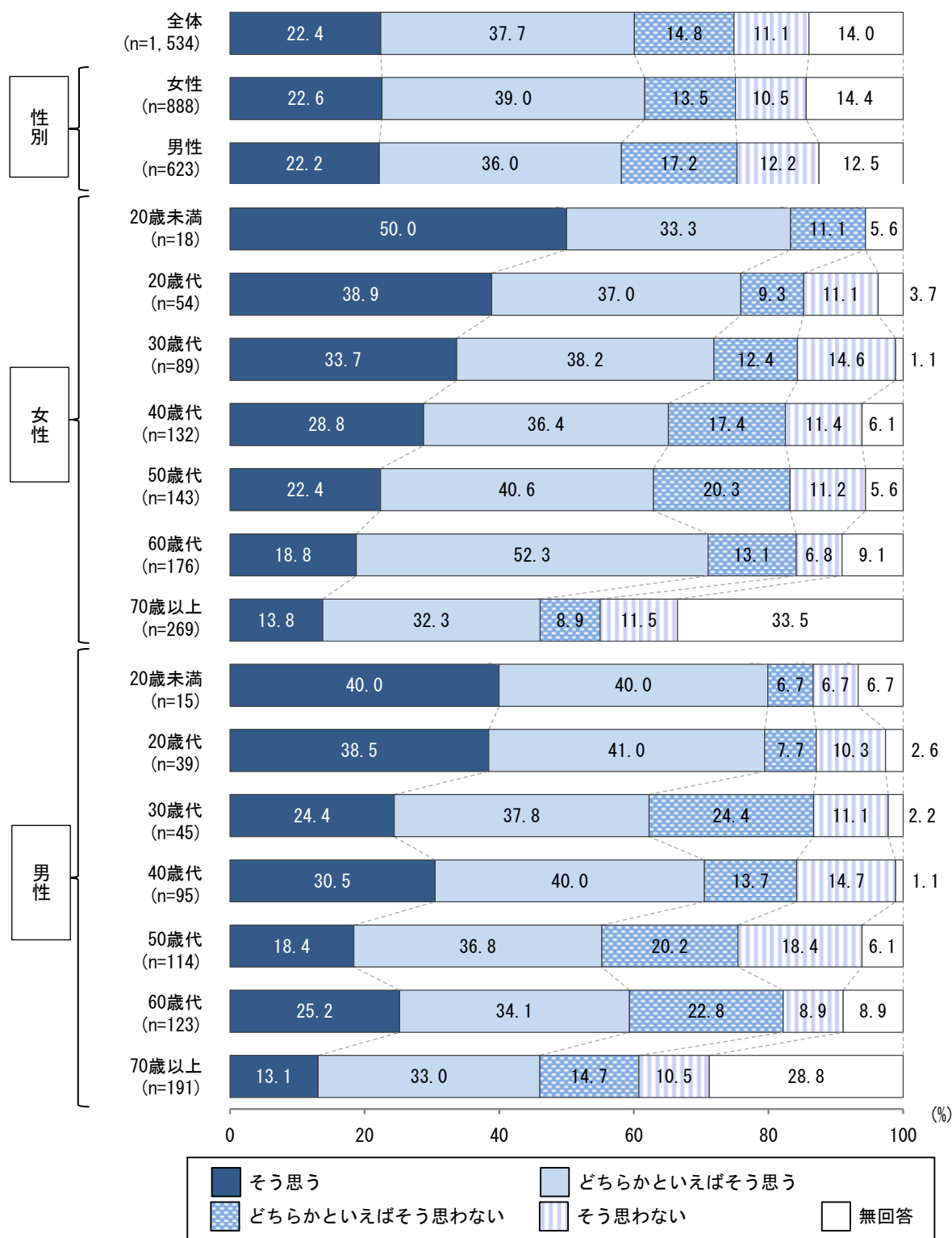


国調査と比較すると、男女ともに『そう思う』の割合は同程度となっている。一方、『そう思わない』は女性は令和6年調査(12.7%)が国調査(22.2%)を 9.5 ポイント、男性は令和6年調査(18.3%)が国調査(29.5%)を 11.2 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(b)昇進・昇給にマイナスの影響がある

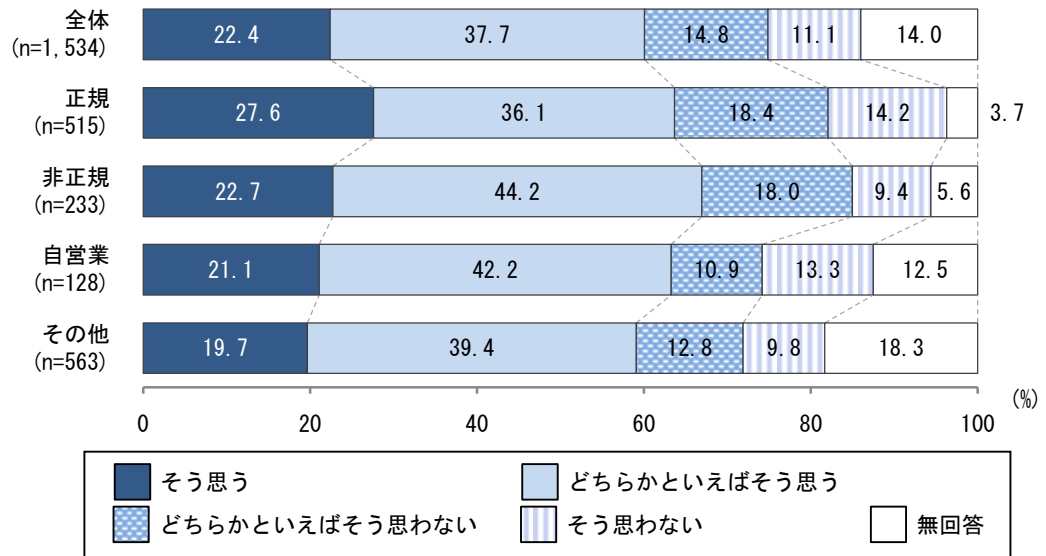
【図表 23-2-1 昇進・昇給にマイナスの影響がある(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに約6割が『そう思う』と回答している。『そう思わない』は男性(29.4%)が女性(24.0%)を5.4ポイント上回っている。

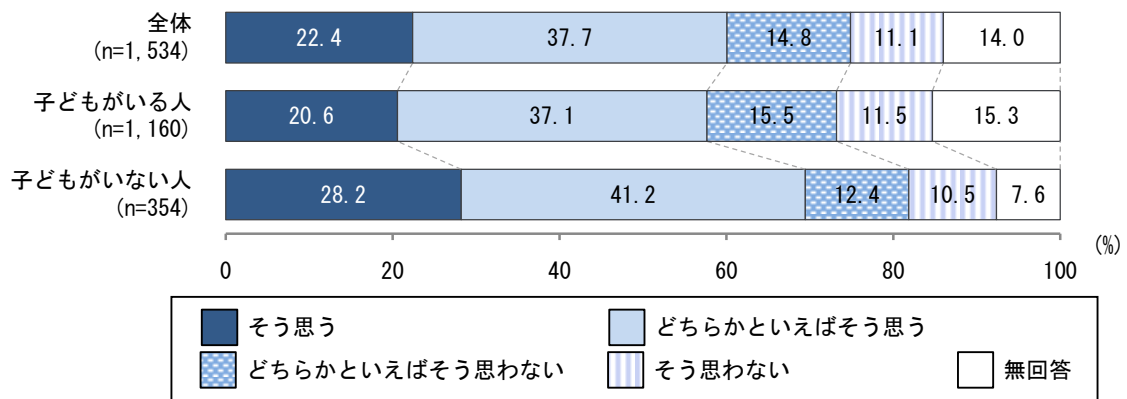
性年代別にみると、『そう思う』の割合は女性の20歳代で7割台半ば、男性の20歳代で約8割と高くなっている。

【図表 23-2-2 昇進・昇給にマイナスの影響がある(職業別)】



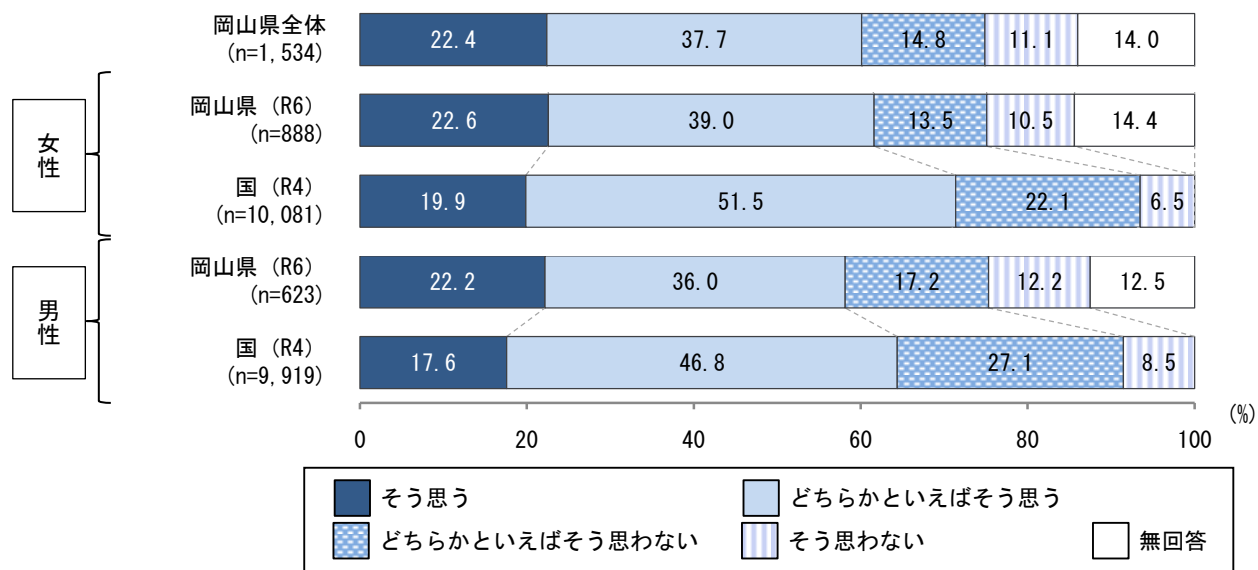
職業別でみると、『そう思う』は非正規で6割台後半と高くなっている。

【図表 23-2-3 昇進・昇給にマイナスの影響がある(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(69.4%)が子どもがいる人(57.7%)を 11.7 ポイント上回っている。

【図表 23-2-4 昇進・昇給にマイナスの影響がある(国調査との比較)】

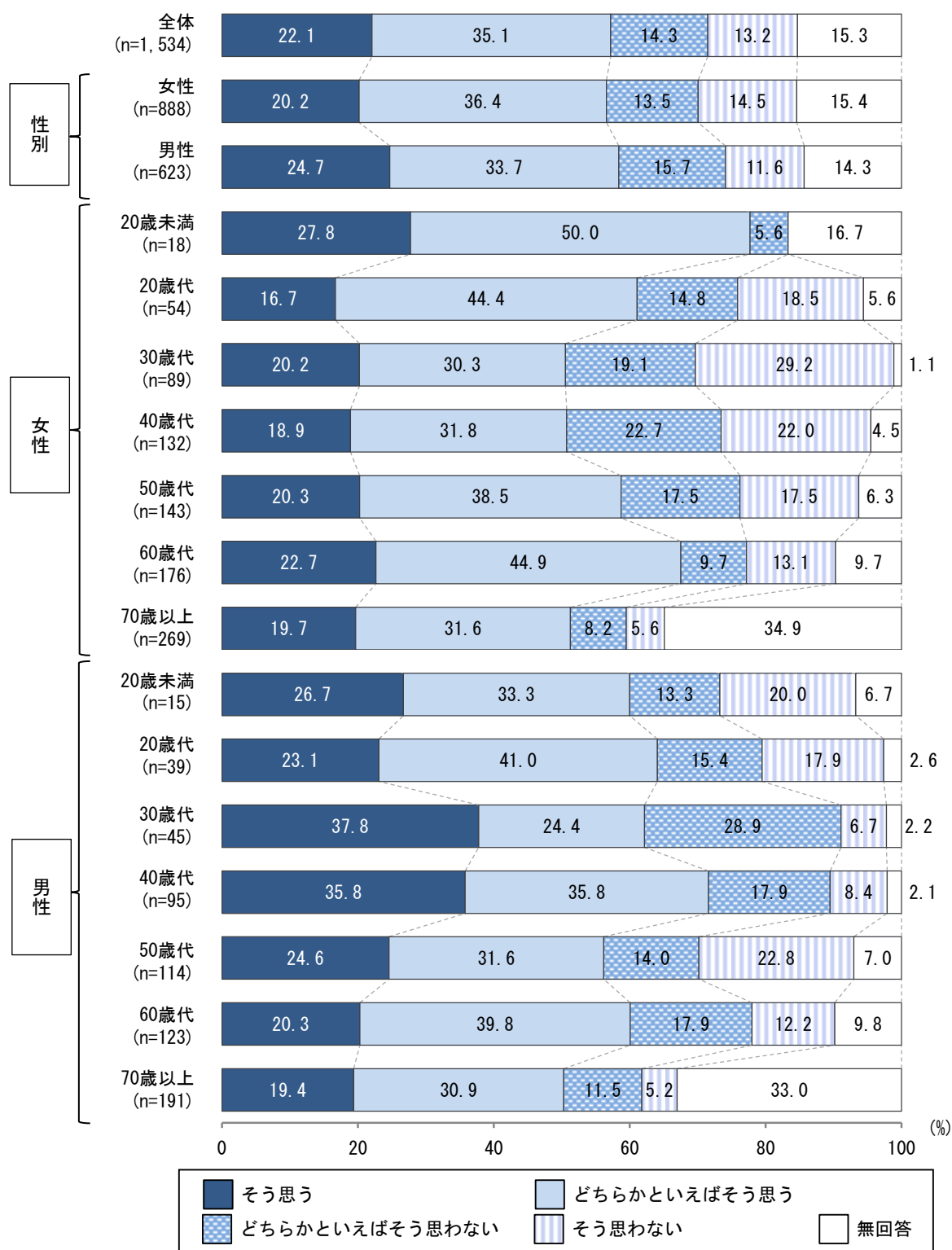


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(61.6%)が国調査(71.4%)を 9.8 ポイント、男性は令和6年調査(58.2%)が国調査(64.4%)を 6.2 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(c)会社の制度等に問題があり取りにくい

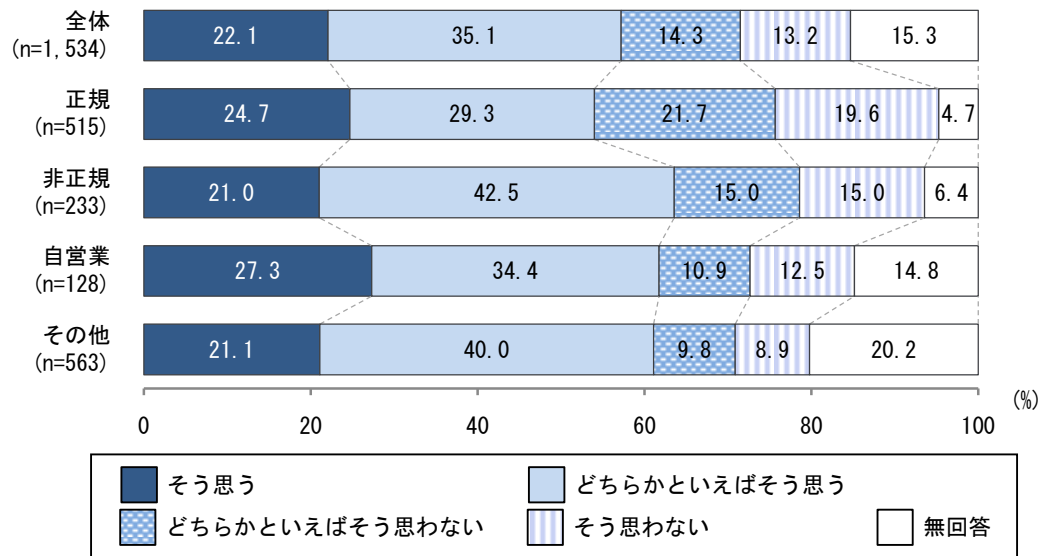
【図表 23-3-1 会社の制度等に問題があり取りにくい(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに半数以上が『そう思う』と回答しており、各割合に大きな差はみられない。

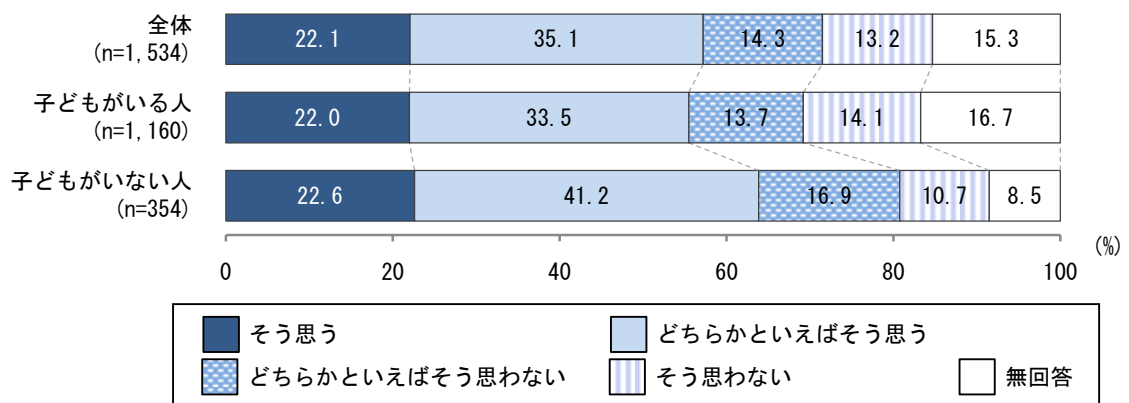
性年代別にみると、『そう思う』は女性の20歳代で6割超、60歳代で約7割、男性の40歳代で7割超と高くなっている。

【図表 23-3-2 会社の制度等に問題があり取りにくい(職業別)】



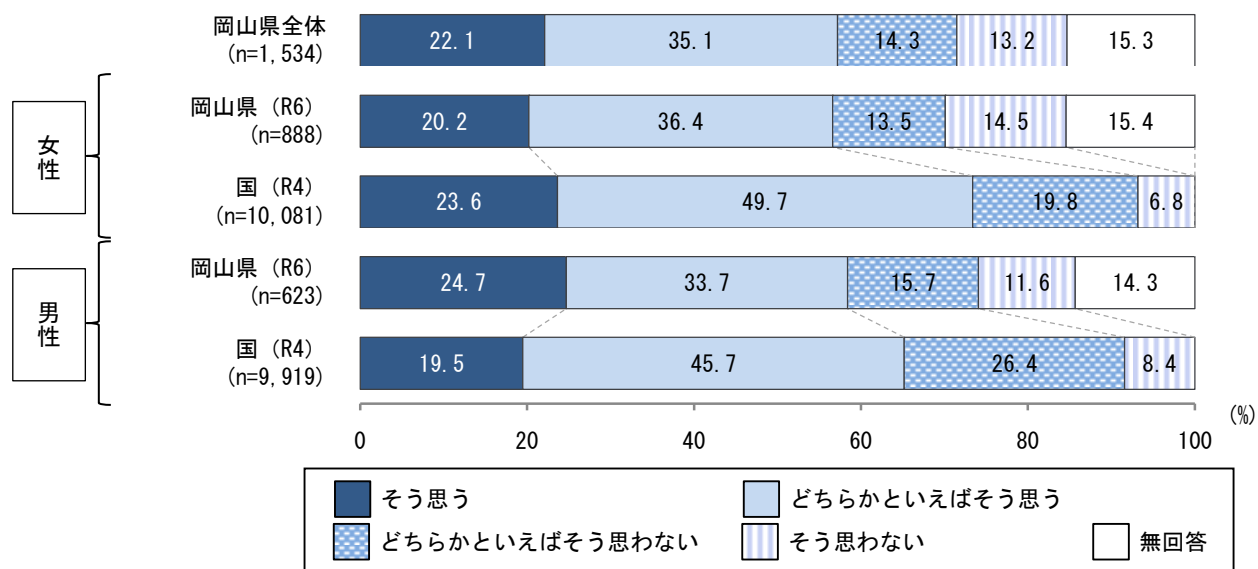
職業別でみると、『そう思う』は非正規で6割台半ばと高くなっている。

【図表 23-3-3 会社の制度等に問題があり取りにくい(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(63.8%)が子どもがいる人(55.5%)を 8.3 ポイント上回っている。

【図表 23-3-4 会社の制度等に問題があり取りにくい(国調査との比較)】

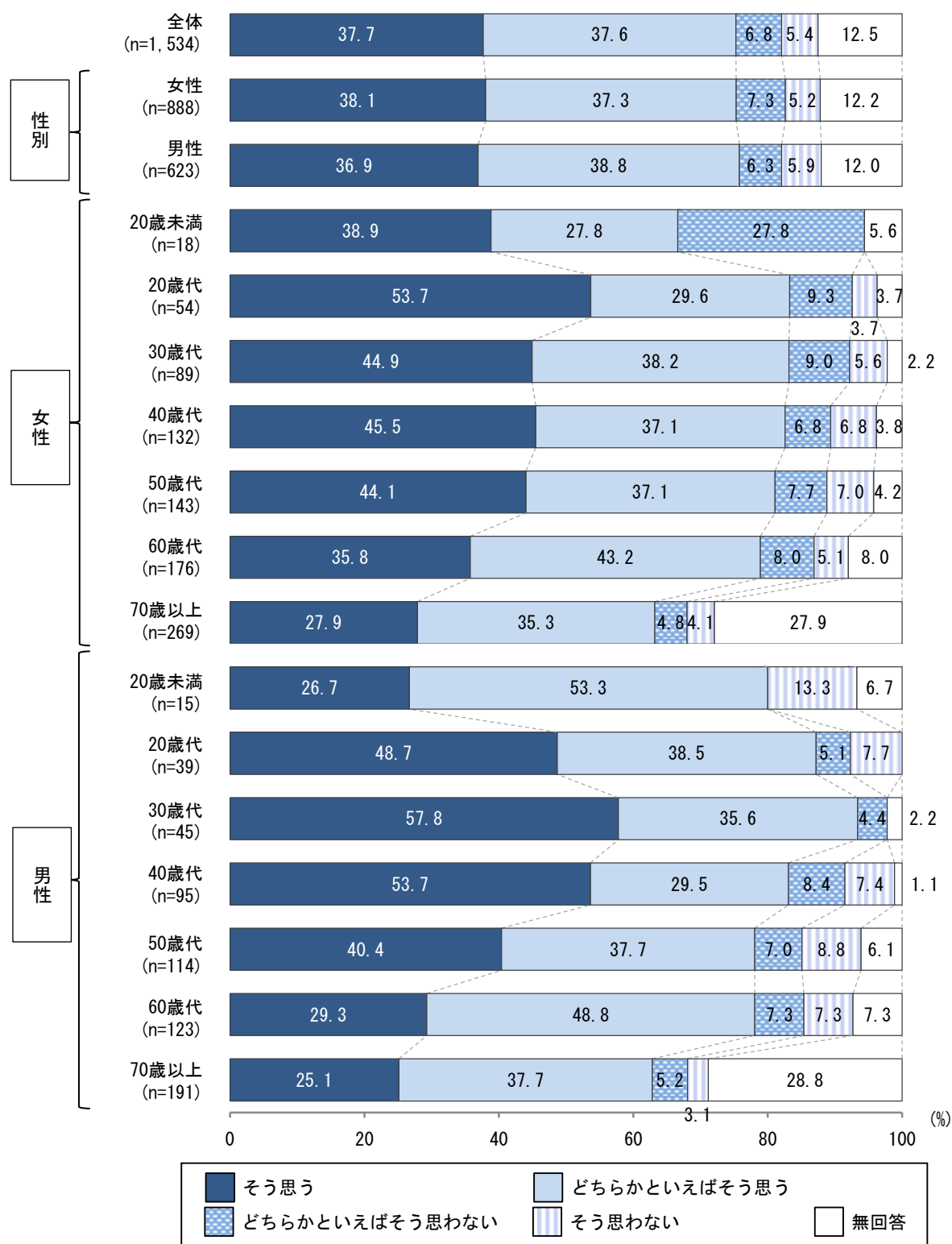


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(56.6%)が国調査(73.3%)を 16.7 ポイント、男性は令和6年調査(58.4%)が国調査(65.2%)を 6.8 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(d)仕事の仲間、周囲に迷惑をかける

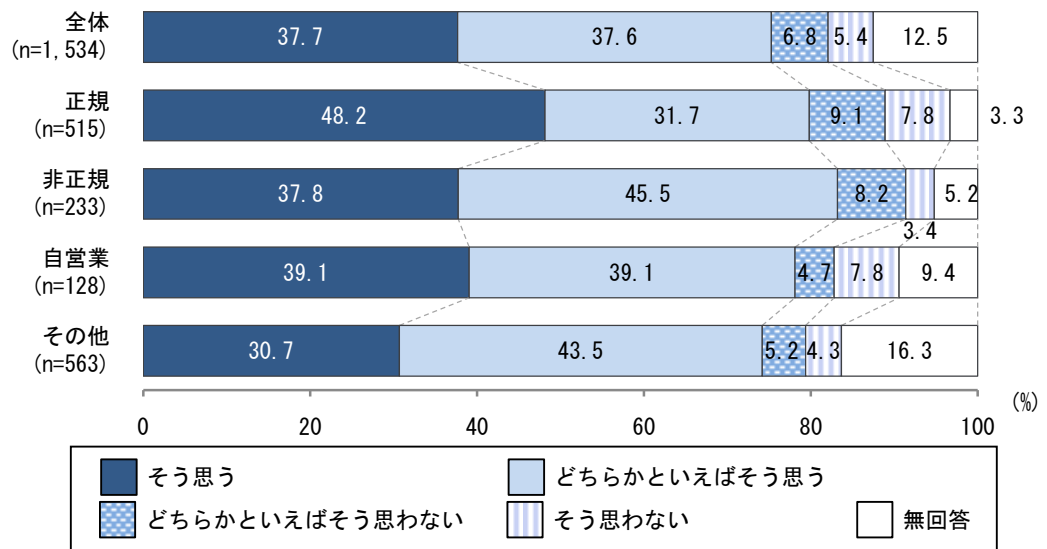
【図表 23-4-1 仕事の仲間、周囲に迷惑をかける(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに7割台半ばが『そう思う』と回答しており、各割合に大きな差はみられない。

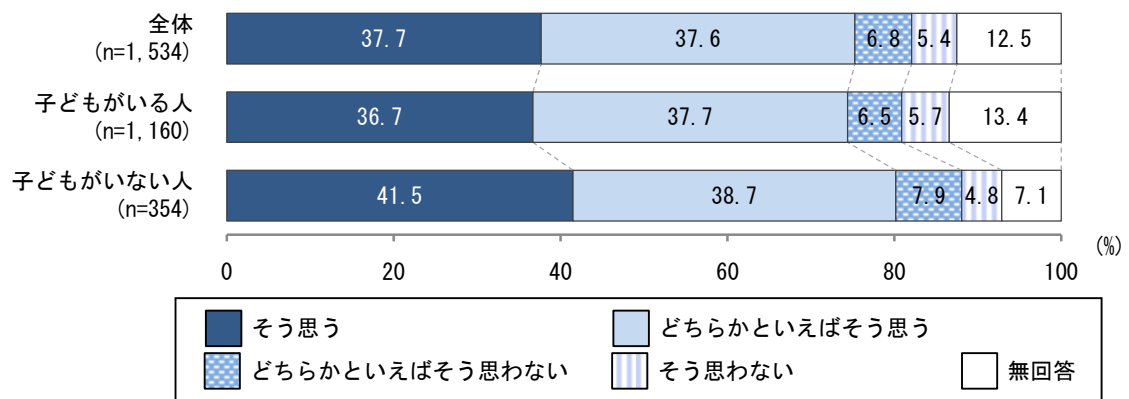
性年代別にみると、男女ともに 20 歳代から 60 歳代で約8割が『そう思う』と回答している。特に男性の 30 歳代で9割台半ばと高くなっている。

【図表 23-4-2 仕事の仲間、周囲に迷惑をかける(職業別)】



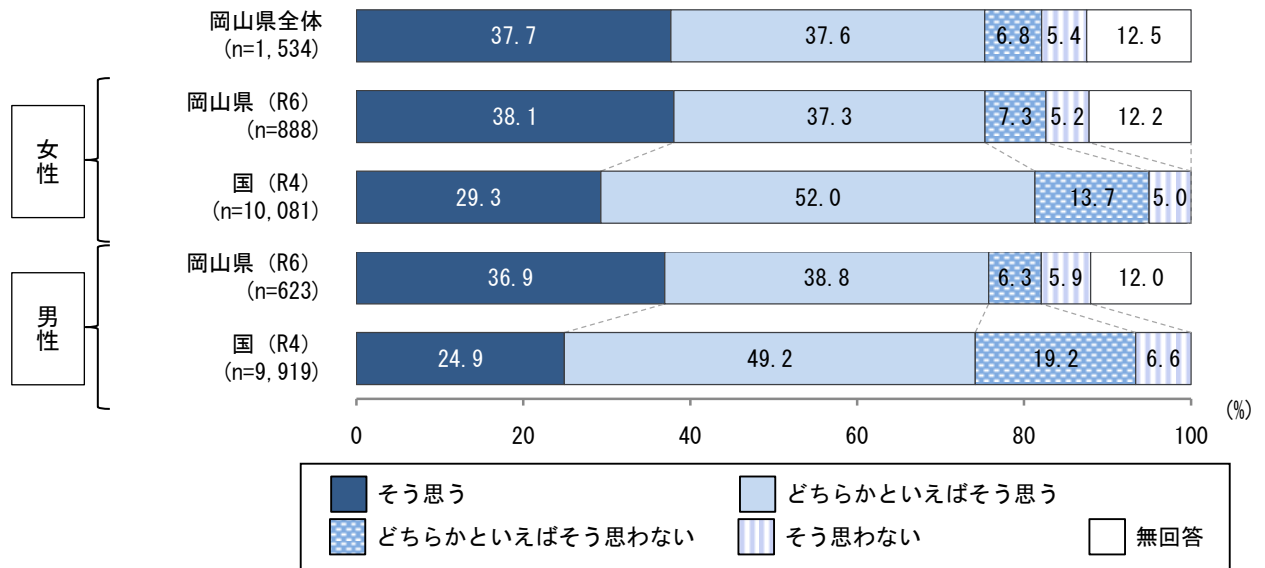
職業別でみると、『そう思う』は非正規で8割台半ばと高くなっている。

【図表 23-4-3 仕事の仲間、周囲に迷惑をかける(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(80.2%)が子どもがいる人(74.4%)を 5.8 ポイント上回っている。

【図表 23-4-4 仕事の仲間、周囲に迷惑をかける(国調査との比較)】

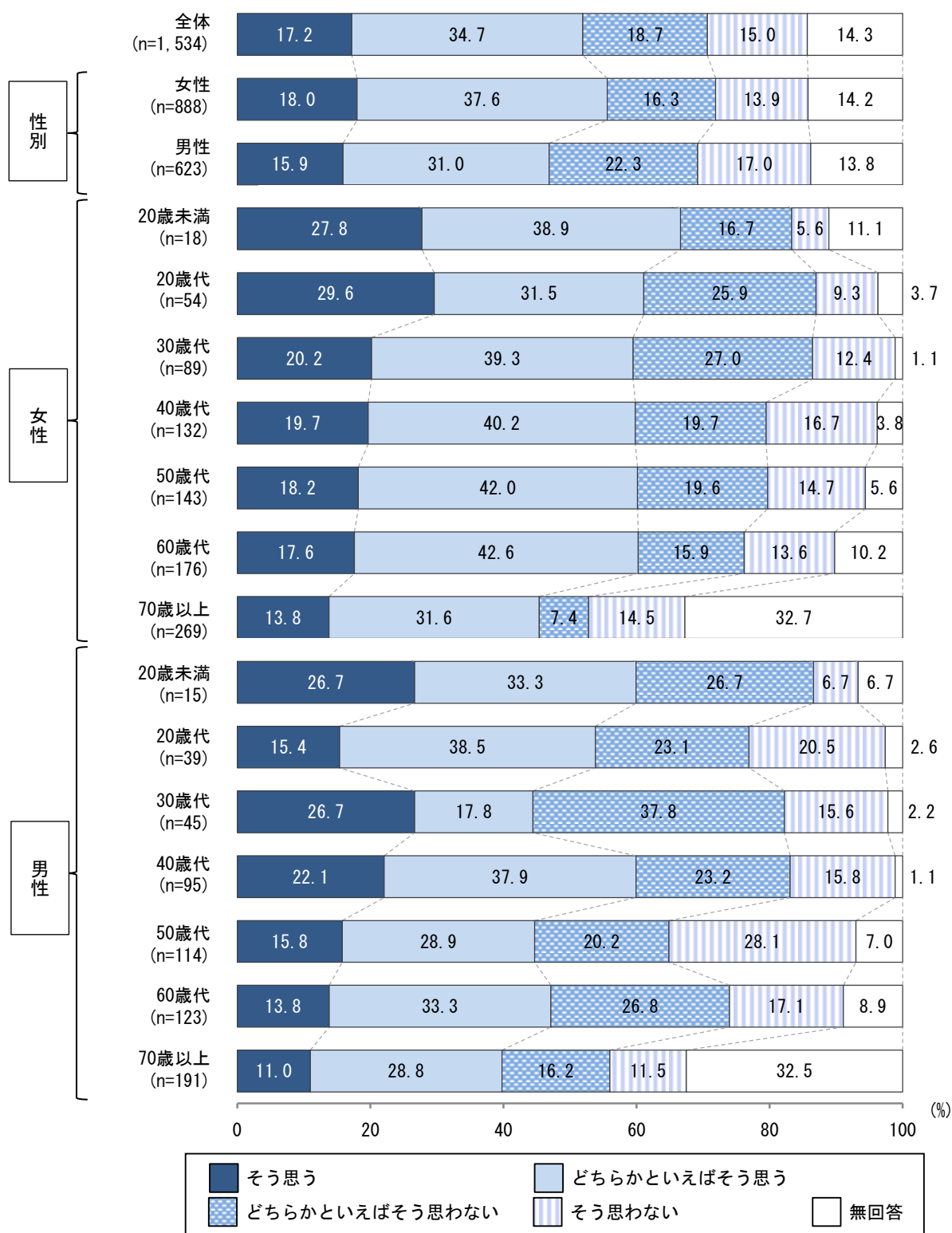


国調査と比較すると、女性の『そう思う』は令和6年調査(75.4%)が国調査(81.3%)を 5.9 ポイント下回っている。男性の『そう思わない』は令和6年調査(12.2%)が国調査(25.8%)を 13.6 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(e) 復帰後に自分の仕事・ポジションがない

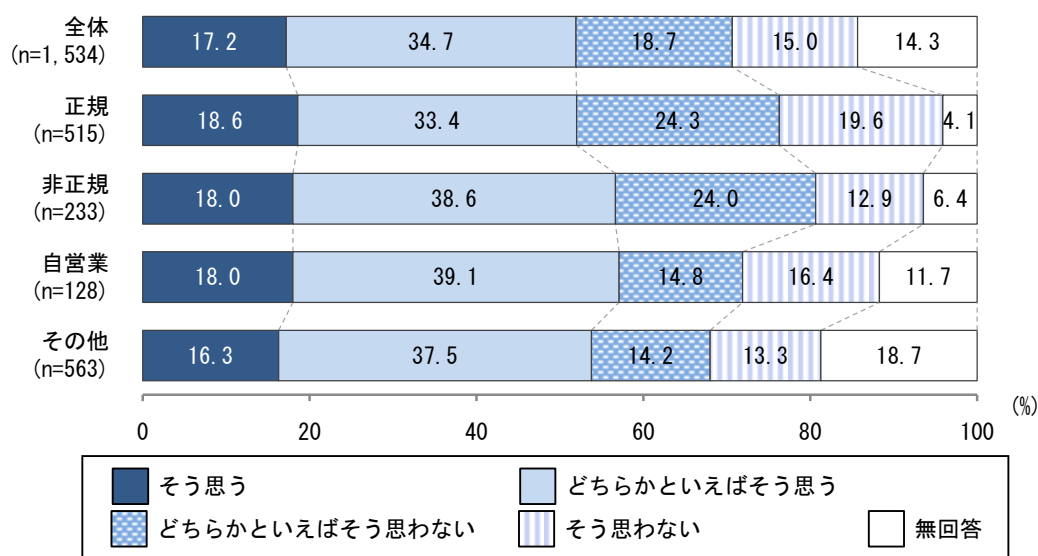
【図表 23-5-1 復帰後に自分の仕事・ポジションがない(性別、性年代別)】



性別にみると、『そう思う』は女性(55.6%)が男性(46.9%)を 8.7 ポイント上回っており、『そう思わない』は男性(39.3%)が女性(30.2%)を 9.1 ポイント上回っている。

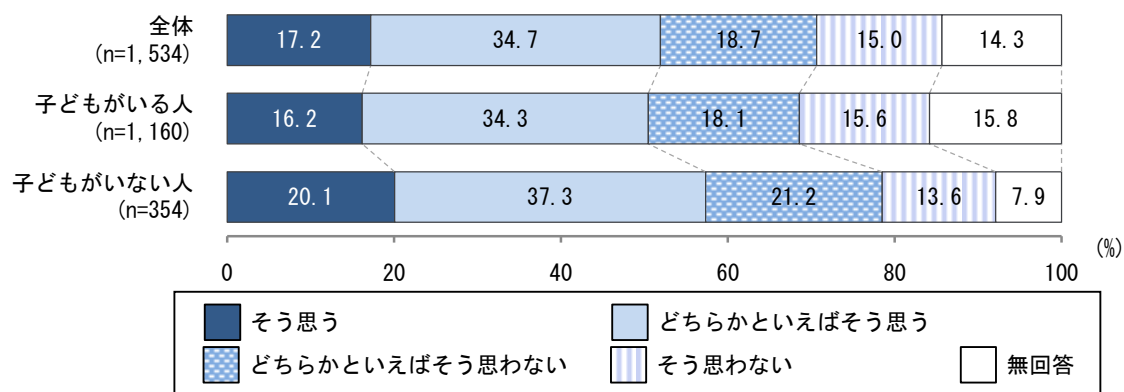
性年代別にみると、『そう思う』は女性は 70 歳以上を除きすべての年代で6割程度となっている。

【図表 23-5-2 復帰後に自分の仕事・ポジションがない(職業別)】



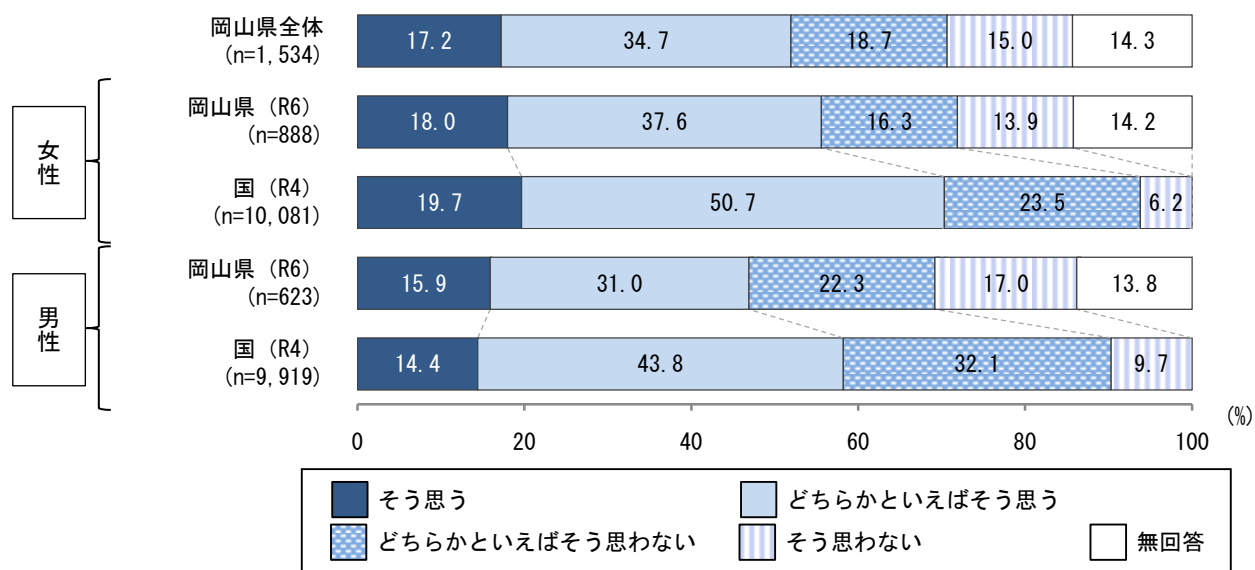
職業別でみると、『そう思う』は非正規及び自営業で5割台後半と高くなっている。

【図表 23-5-3 復帰後に自分の仕事・ポジションがない(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(57.4%)が子どもがいる人(50.5%)を 6.9 ポイント上回っている。

【図表 23-5-4 復帰後に自分の仕事・ポジションがない(国調査との比較)】

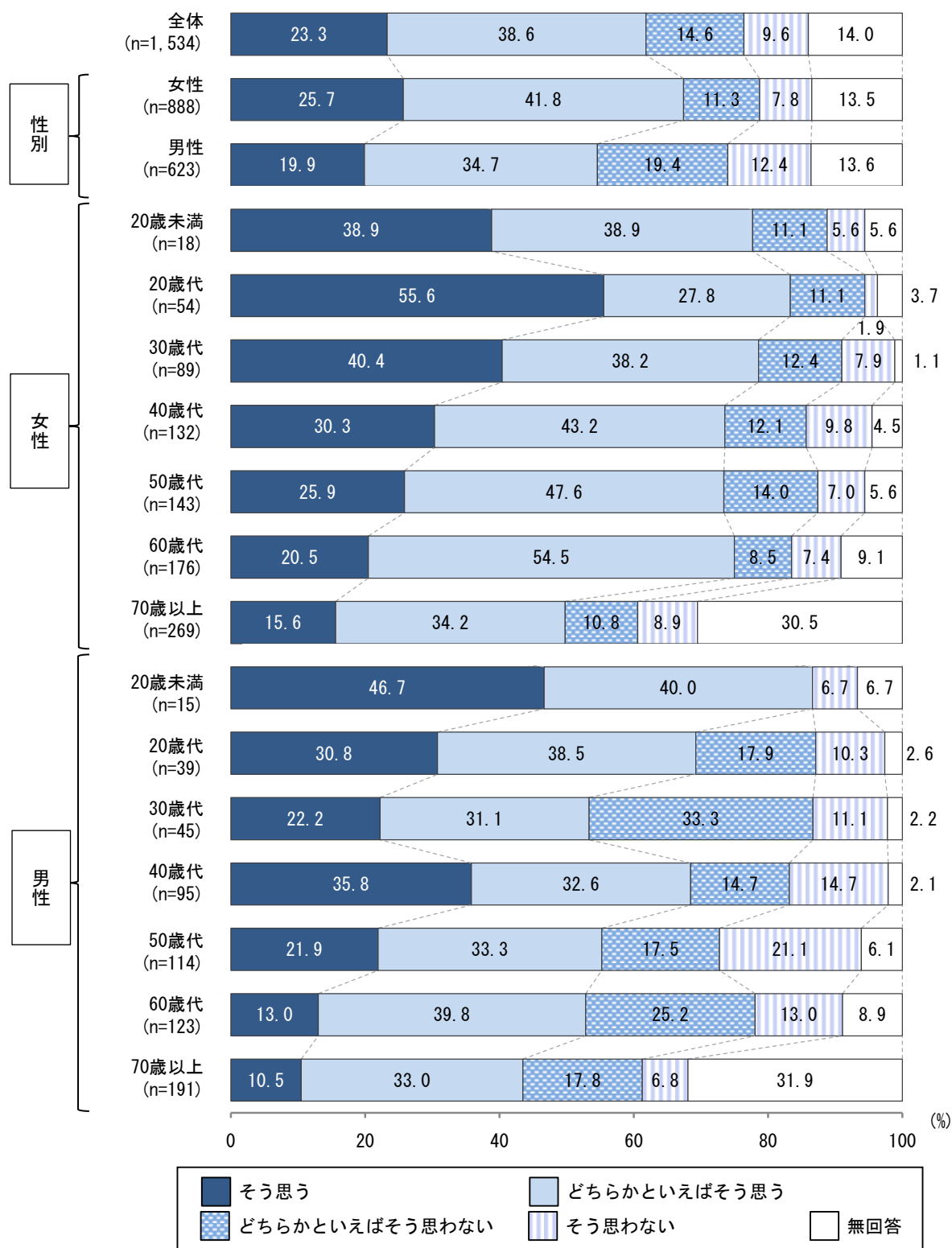


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は今和6年調査(55.6%)が国調査(70.4%)を 14.8 ポイント、男性は今和6年調査(46.9%)が国調査(58.2%)を 11.3 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(f) 復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る

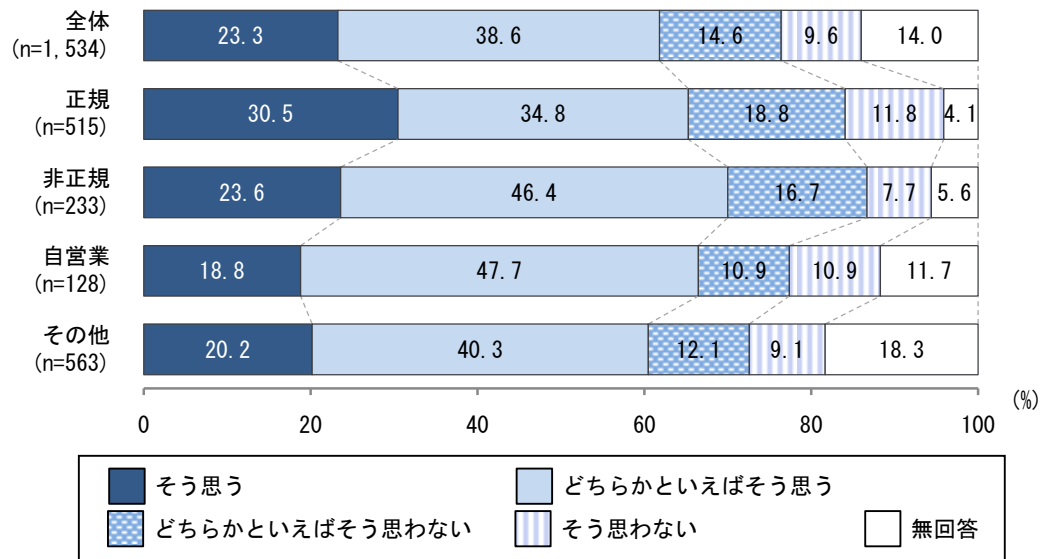
【図表 23-6-1 復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る(性別、性年代別)】



性別にみると、『そう思う』は女性(67.5%)が男性(54.6%)を 12.9 ポイント上回っている。

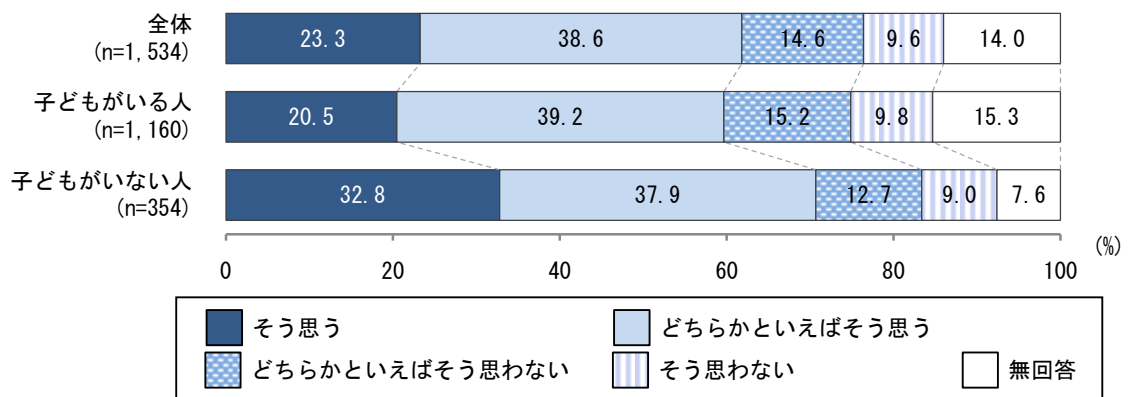
性年代別にみると、『そう思う』は女性は 20 歳代から 60 歳代で7割以上となっているが、特に 20 歳代で8割台半ばと高くなっている。男性は 20 歳代及び 40 歳代で約7割と高くなっている。

【図表 23-6-2 復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る(職業別)】



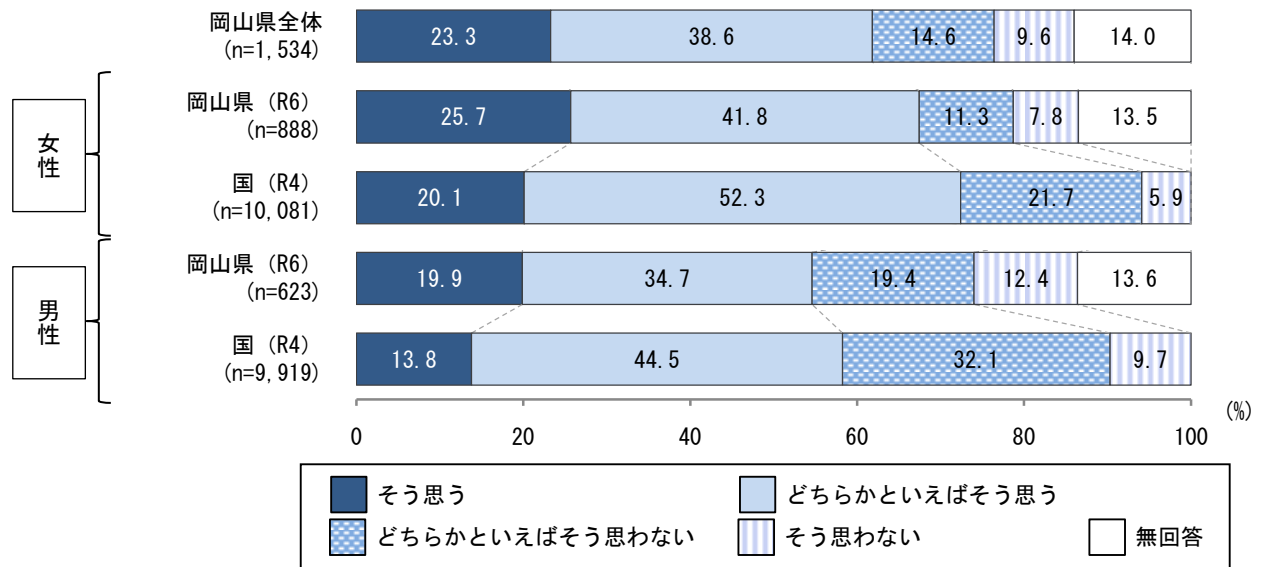
職業別でみると、『そう思う』は非正規で7割と高くなっている。

【図表 23-6-3 復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(70.7%)が子どもがいる人(59.7%)を 11.0 ポイント上回っている。

【図表 23-6-4 復帰後のスキル・経験に同僚との差が出る(国調査との比較)】

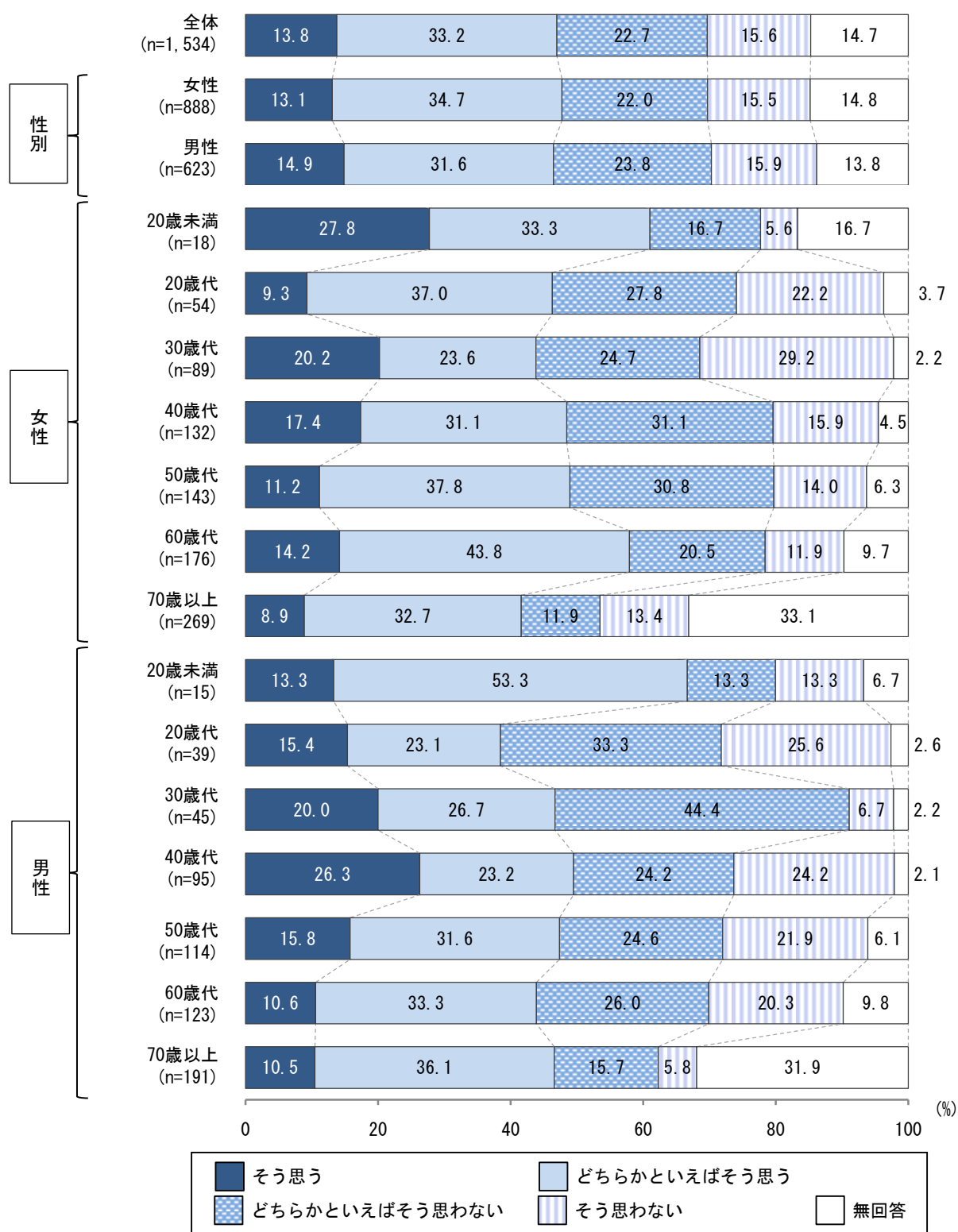


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(67.5%)が国調査(72.4%)を 4.9 ポイント、男性は令和6年調査(54.6%)が国調査(58.3%)を 3.7 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(g)職場・上司の理解を得られない

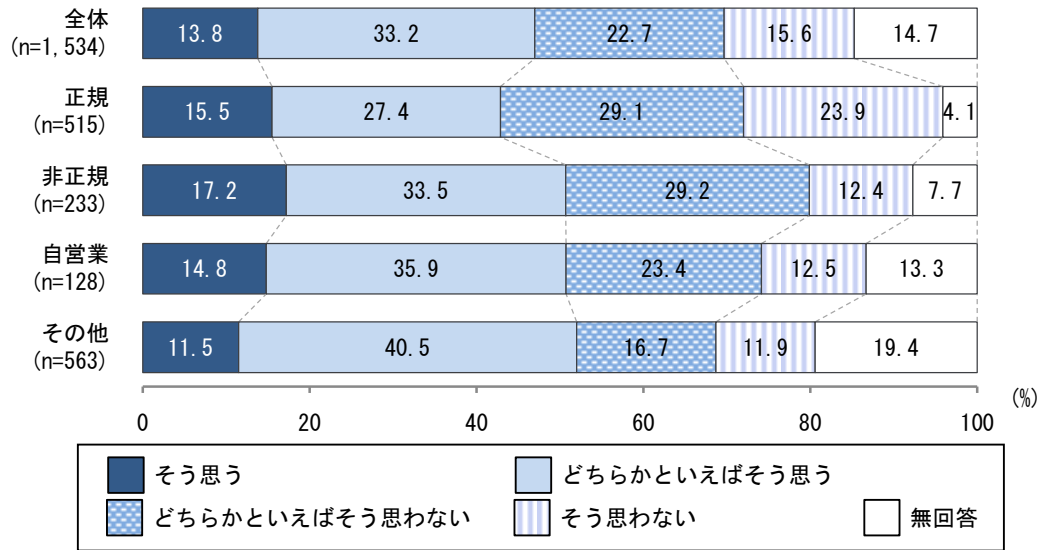
【図表 23-7-1 職場・上司の理解を得られない(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに4割台後半が『そう思う』と回答しており、各割合に大きな差はみられない。

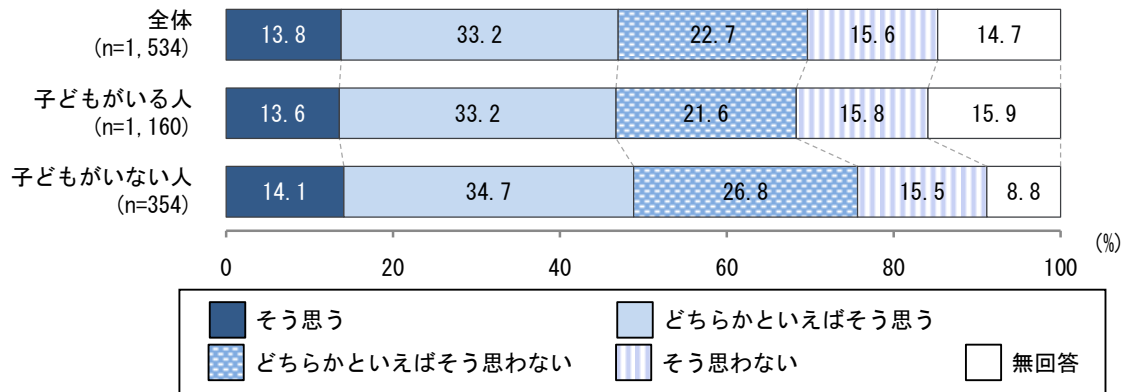
性年代別にみると、『そう思わない』は女性の 30 歳代で5割台半ば、男性の 20 歳代で約6割と高くなっている。

【図表 23-7-2 職場・上司の理解を得られない(職業別)】



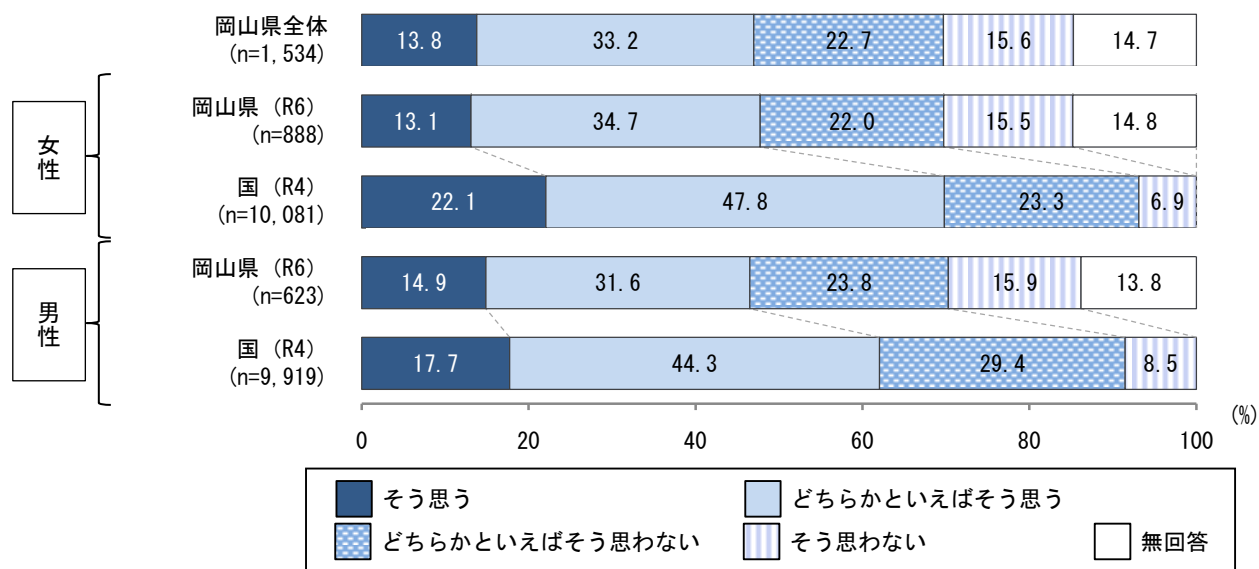
職業別でみると、『そう思う』は非正規、自営業及びその他以約5割と高くなっている。

【図表 23-7-3 職場・上司の理解を得られない(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、大きな差はみられない。

【図表 23-7-4 職場・上司の理解を得られない(国調査との比較)】

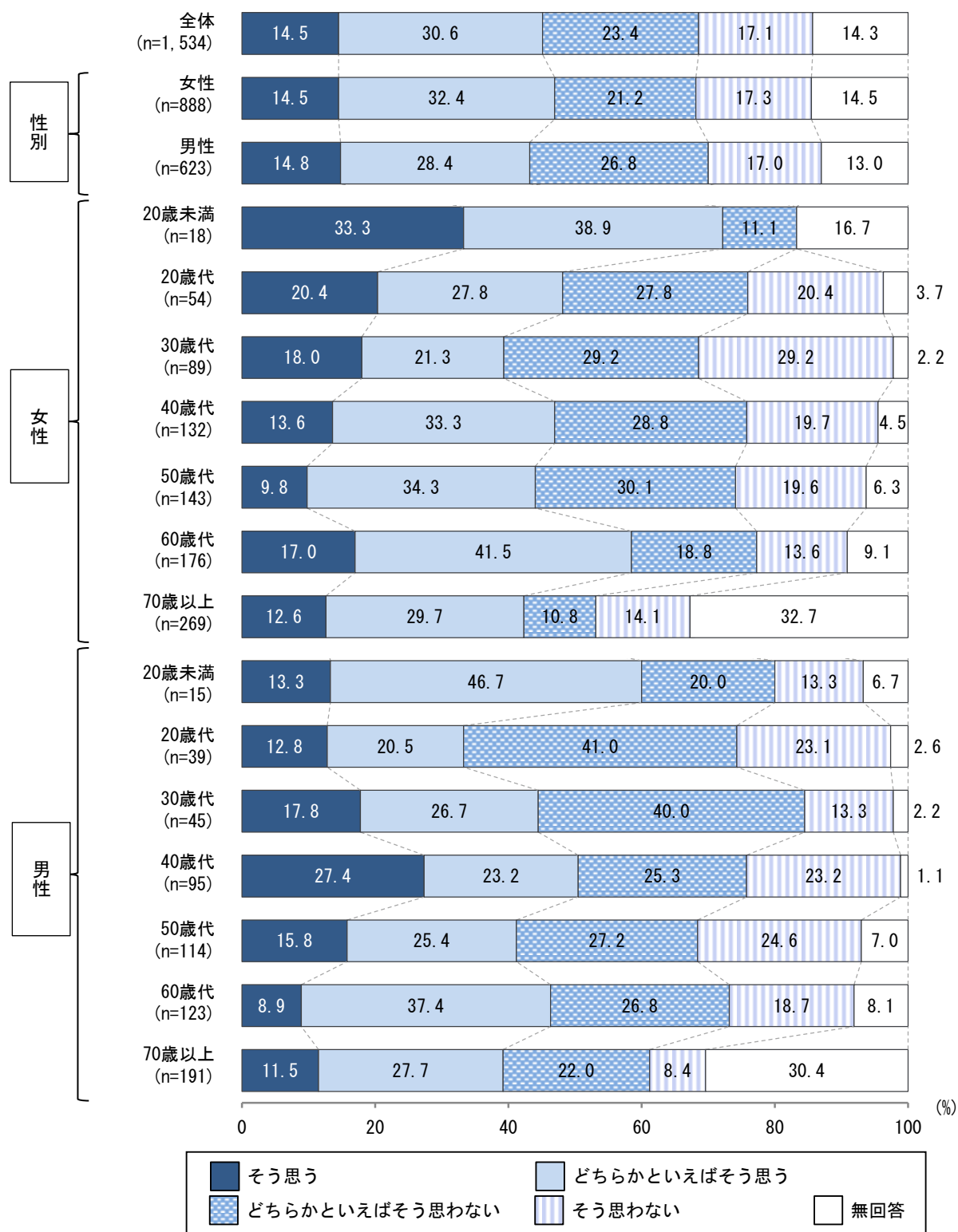


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(47.8%)が国調査(69.9%)を 22.1 ポイント、男性は令和6年調査(46.5%)が国調査(62.0%)を 15.5 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(h)職場に復帰しにくい雰囲気がある

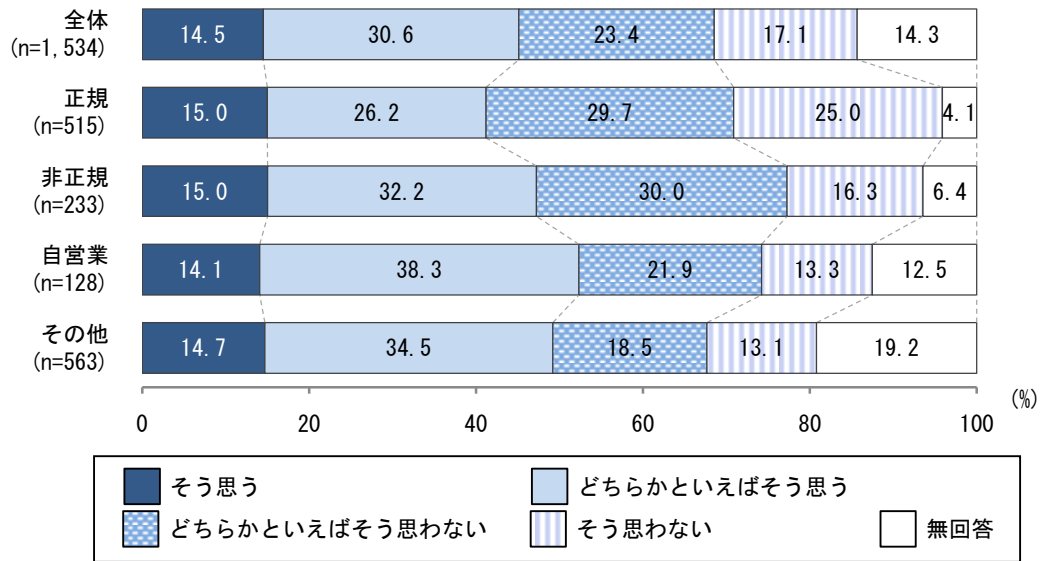
【図表 23-8-1 職場に復帰しにくい雰囲気がある(性別、性年代別)】



性別にみると、『そう思わない』は男性(43.8%)が女性(38.5%)を 5.3 ポイント上回っている。

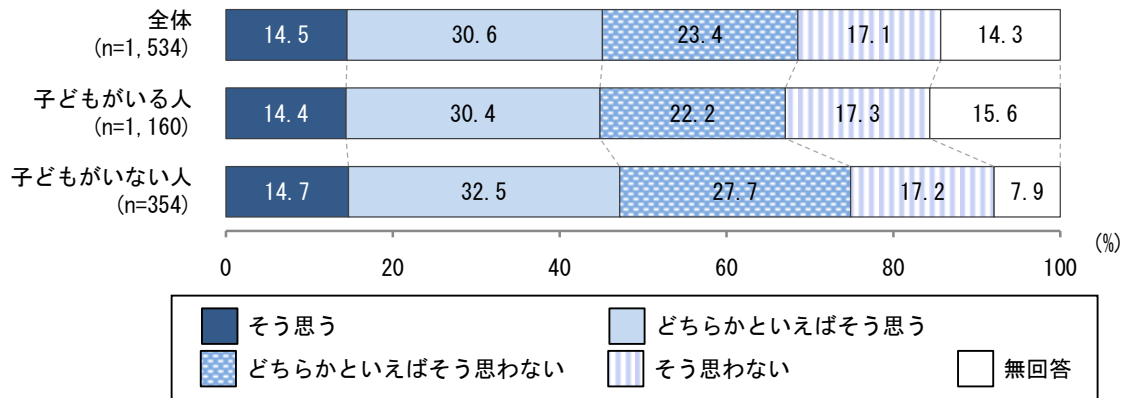
性年代別にみると、『そう思う』は女性の 60 歳代で約6割、男性の 30 歳代及び 40 歳代で5割超となっている。一方、『そう思わない』は女性の 30 歳代で約6割、男性の 20 歳代で6割台半ばと高くなっている。

【図表 23-8-2 職場に復帰しにくい雰囲気がある(職業別)】



職業別でみると、『そう思わない』は正規で5割台半ばと高くなっている。

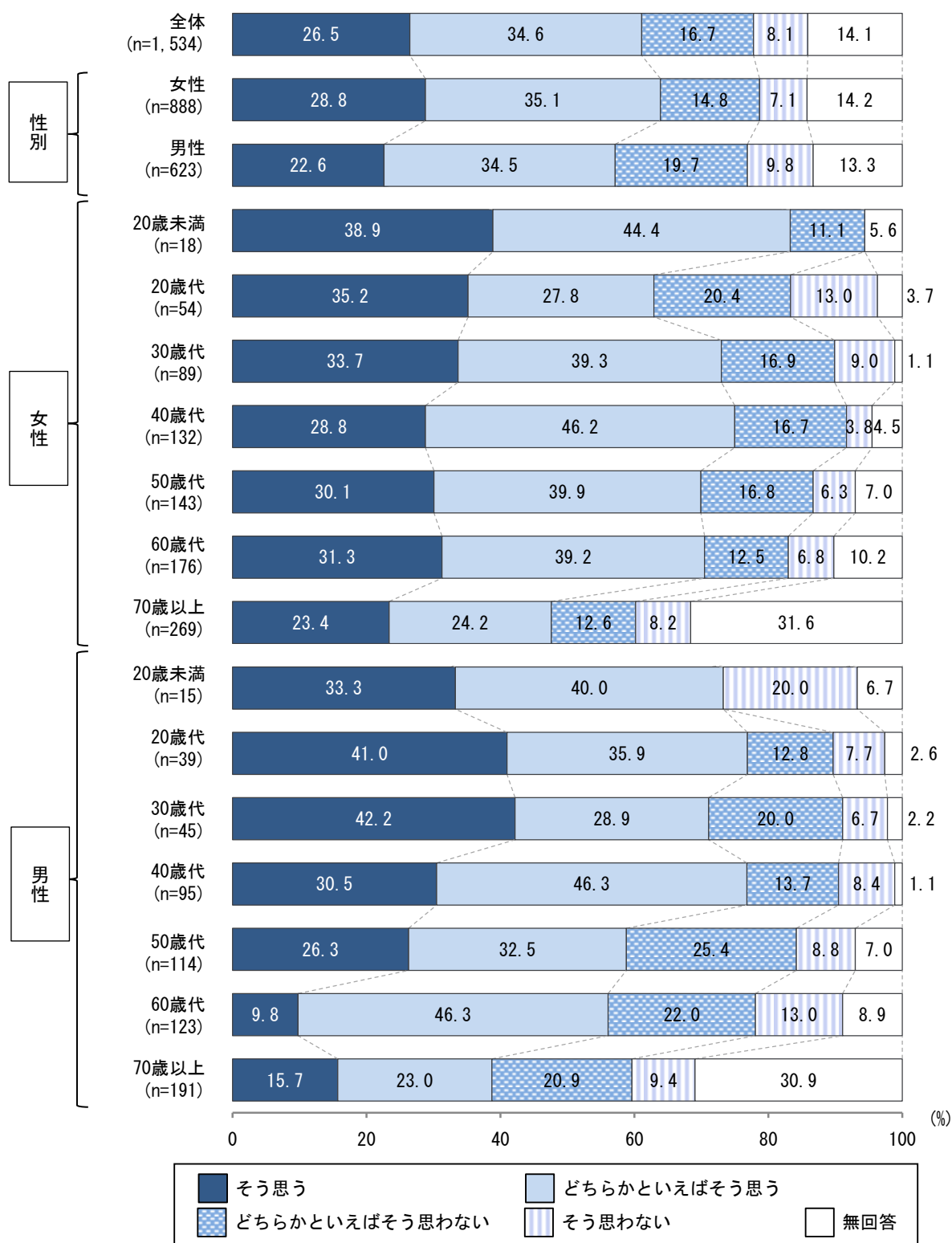
【図表 23-8-3 職場に復帰しにくい雰囲気がある(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思わない』は子どもがいない人(44.9%)が子どもがいる人(39.5%)を5.4ポイント上回っている。

(i)家にいる時間が増え安心感が高まる

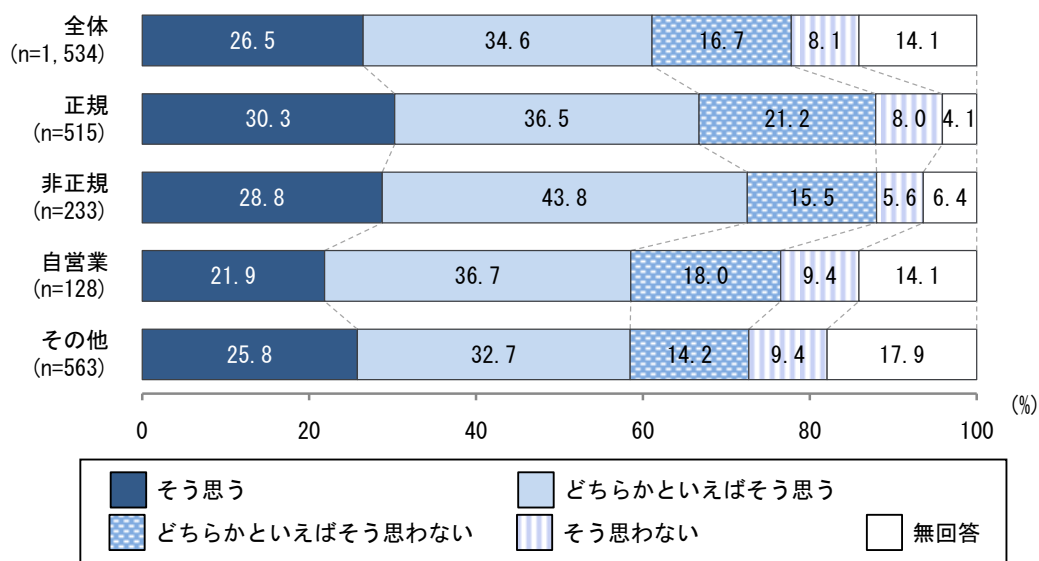
【図表 23-9-1 家にいる時間が増え安心感が高まる(性別、性年代別)】



性別にみると、『そう思わない』は男性(29.5%)が女性(21.9%)を 7.6 ポイント上回っている。

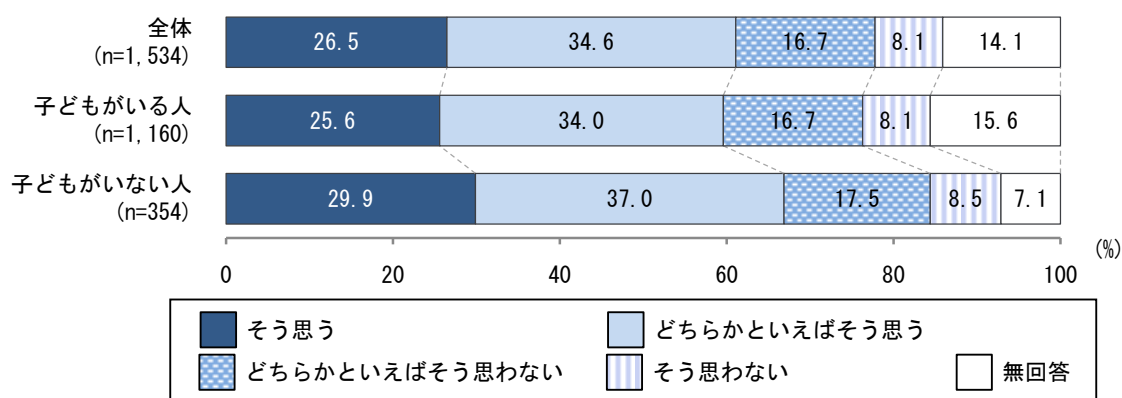
性年代別にみると、『そう思う』は女性の 40 歳代、男性の 20 歳代及び 40 歳代で7割台半ばと高くなっており、女性の 70 歳以上で約5割、男性の 70 歳以上で約4割と低くなっている。

【図表 23-9-2 家にいる時間が増え安心感が高まる(職業別)】



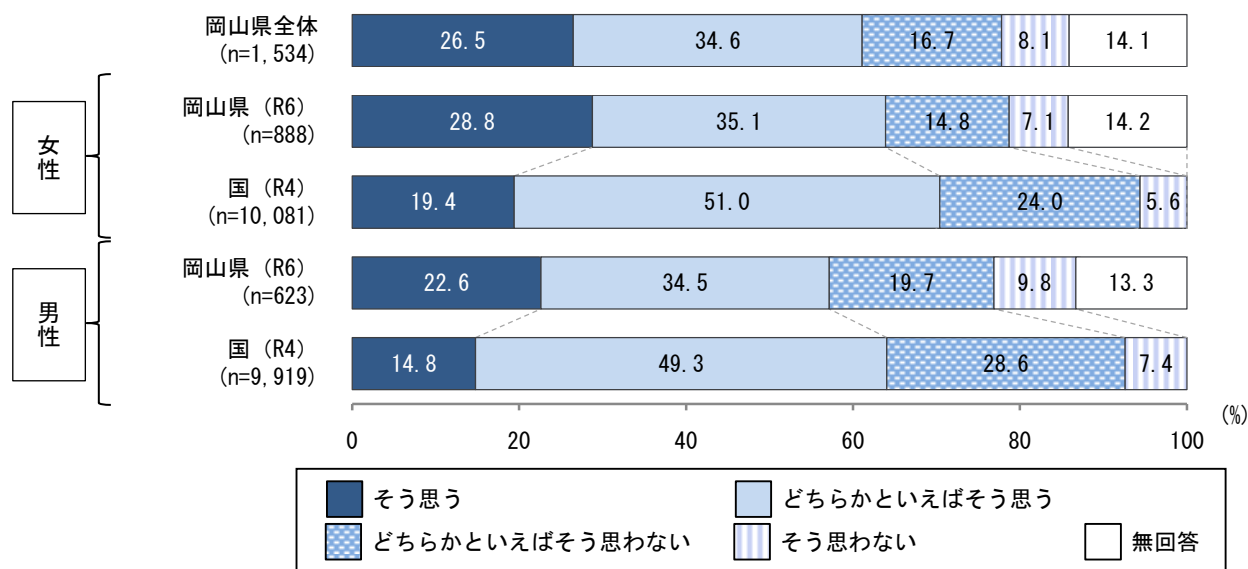
職業別でみると、『そう思う』は非正規で7割超と高くなっている。

【図表 23-9-3 家にいる時間が増え安心感が高まる(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(66.9%)が子どもがいる人(59.6%)を 7.3 ポイント上回っている。

【図表 23-9-4 家にいる時間が増え安心感が高まる(国調査との比較)】

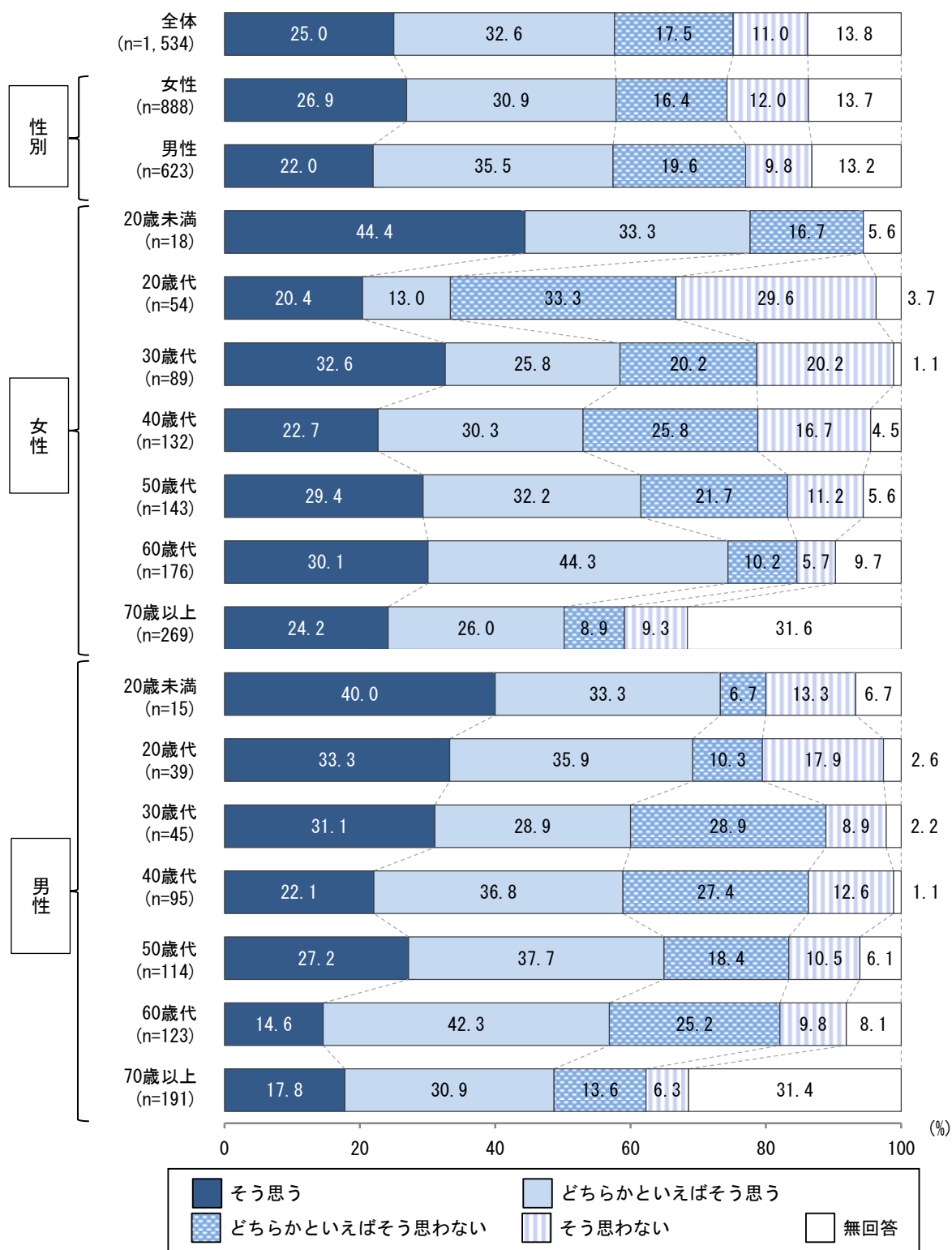


国調査と比較すると、『そう思わない』は女性は令和6年調査(21.9%)が国調査(29.6%)を 7.7 ポイント、男性は令和6年調査(29.5%)が国調査(36.0%)を 6.5 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(j)自分の時間が取れるようになる

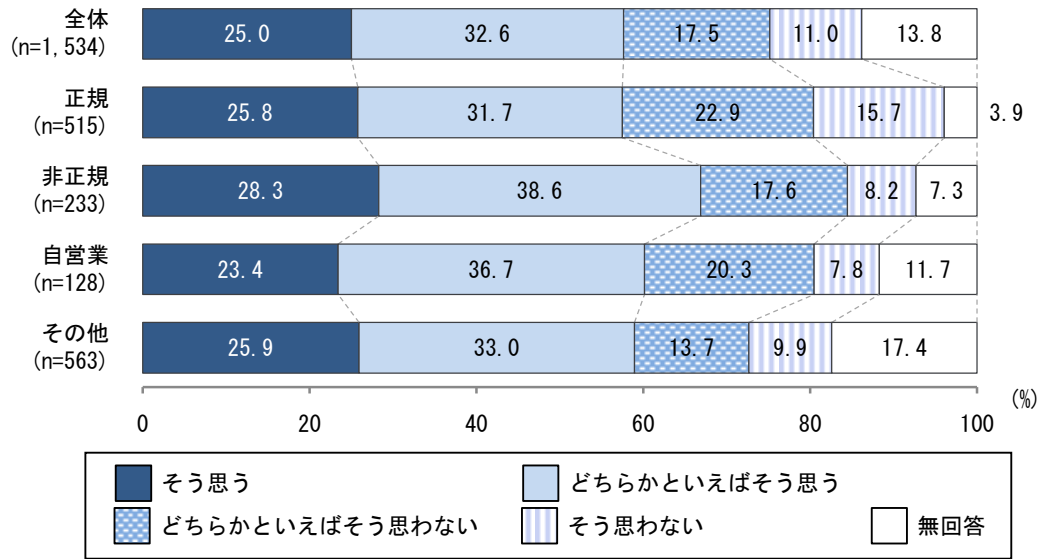
【図表 23-10-1 自分の時間が取れるようになる(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに5割台後半が『そう思う』と回答しており、各割合に大きな差はみられない。

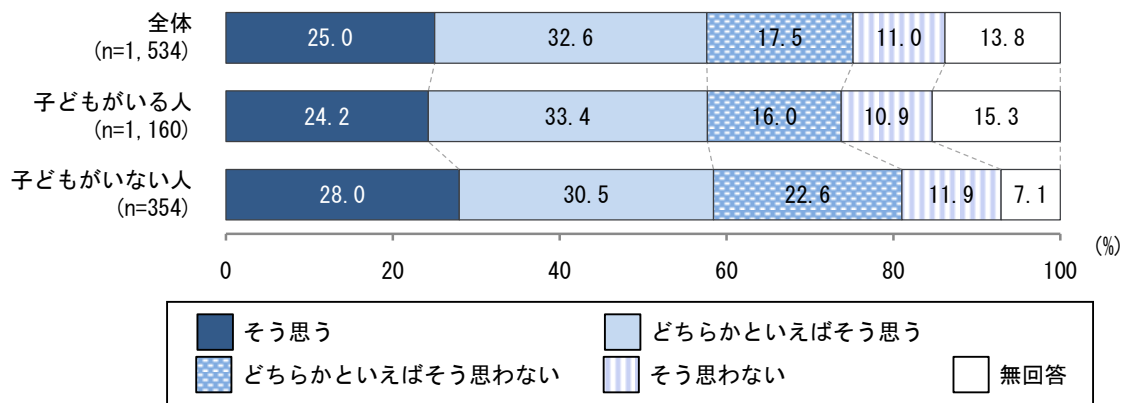
性年代別にみると、『そう思う』は男性の20歳代で約7割、『そう思わない』は女性の20歳代で6割超と高くなっている。

【図表 23-10-2 自分の時間が取れるようになる(職業別)】



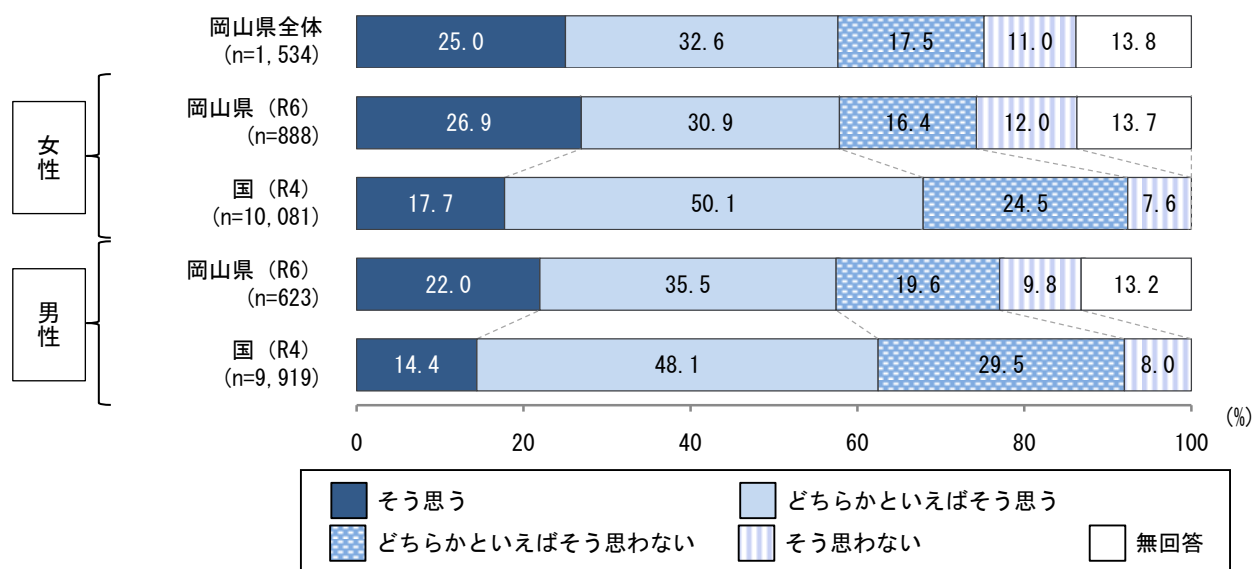
職業別でみると、『そう思う』は非正規で6割台半ばと高くなっている。

【図表 23-10-3 自分の時間が取れるようになる(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思わない』は子どもがいない人(34.5%)が子どもがいる人(26.9%)を7.6ポイント上回っている。

【図表 23-10-4 自分の時間が取れるようになる(国調査との比較)】

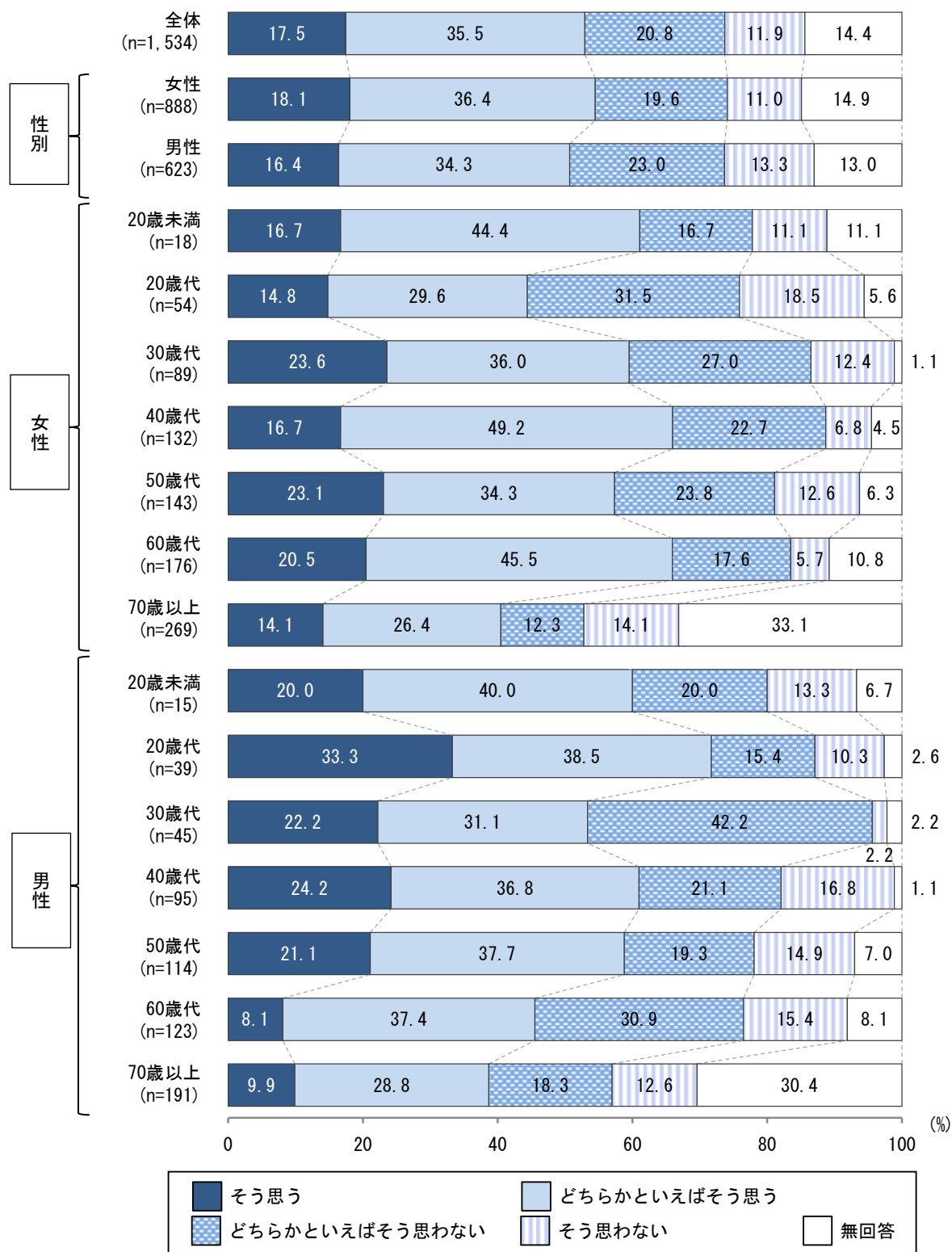


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(57.8%)が国調査(67.8%)を 10.0 ポイント、男性は令和6年調査(57.5%)が国調査(62.5%)を 5.0 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

(k) 仕事から離れることで価値観が広がる

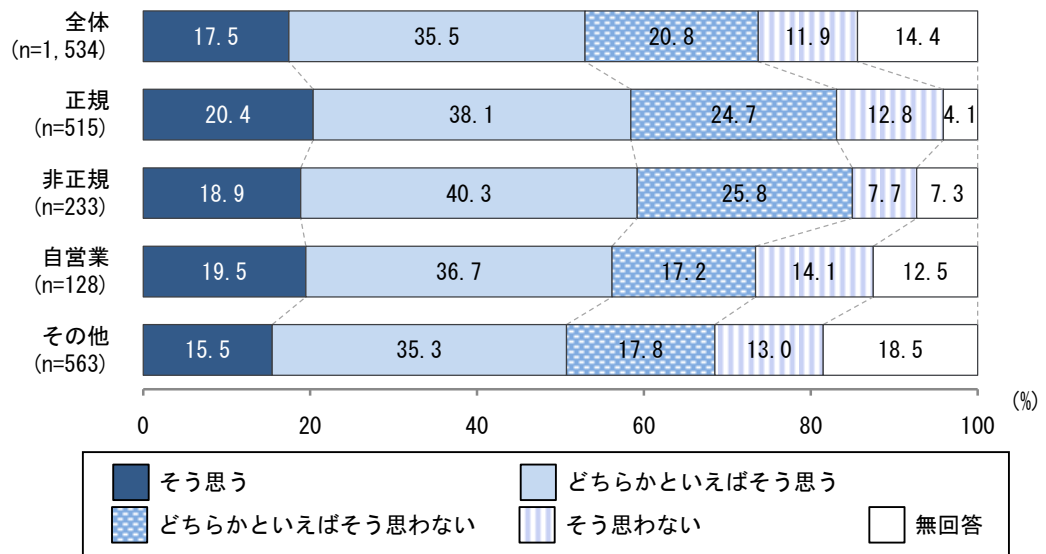
【図表 23-11-1 仕事から離れることで価値観が広がる(性別、性年代別)】



性別にみると、男女ともに約半数が『そう思う』と回答しており、『そう思わない』は男性(36.3%)が女性(30.6%)を5.7ポイント上回っている。

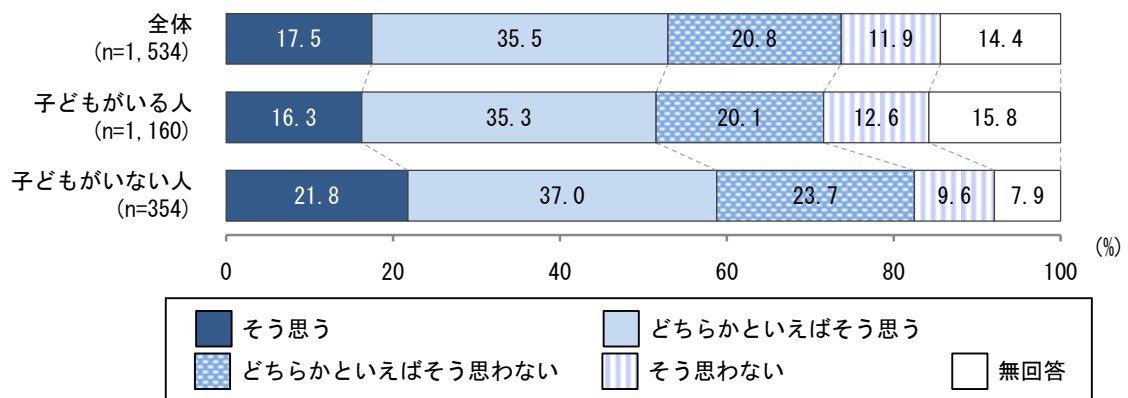
性年代別にみると、『そう思う』は男性の20歳代で7割超、『そう思わない』は女性の20歳代で5割と高くなっている。

【図表 23-11-2 仕事から離れることで価値観が広がる(職業別)】



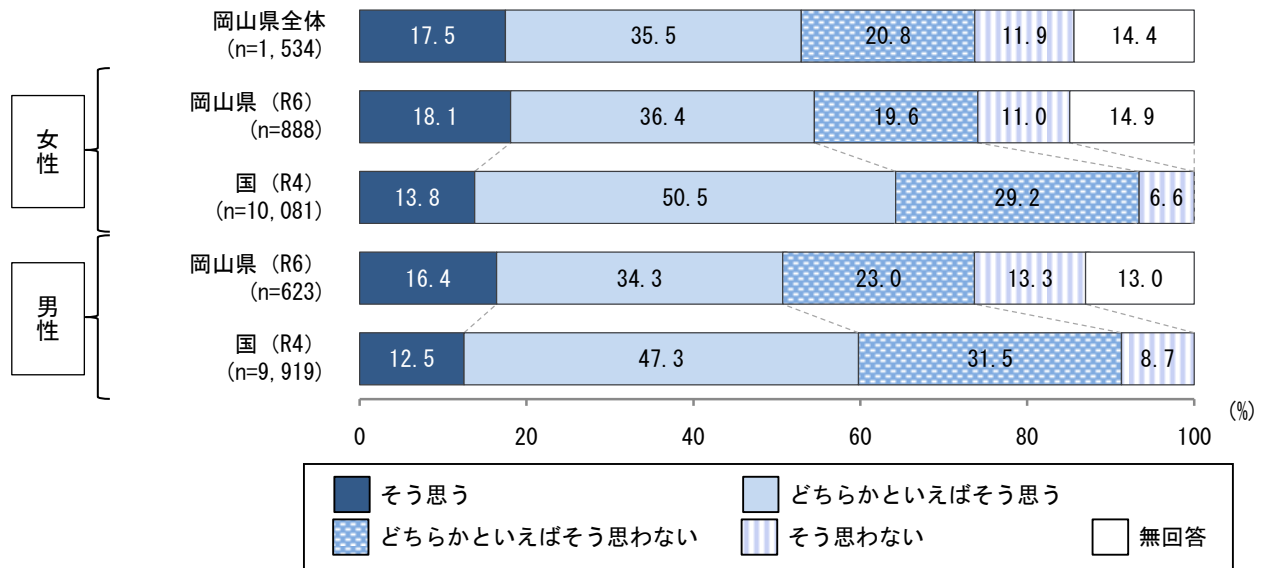
職業別でみると、『そう思う』は正規、非正規で約6割と高くなっている。

【図表 23-11-3 仕事から離れることで価値観が広がる(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(58.8%)が子どもがいる人(51.6%)を 7.2 ポイント上回っている。

【図表 23-11-4 仕事から離れることで価値観が広がる(国調査との比較)】

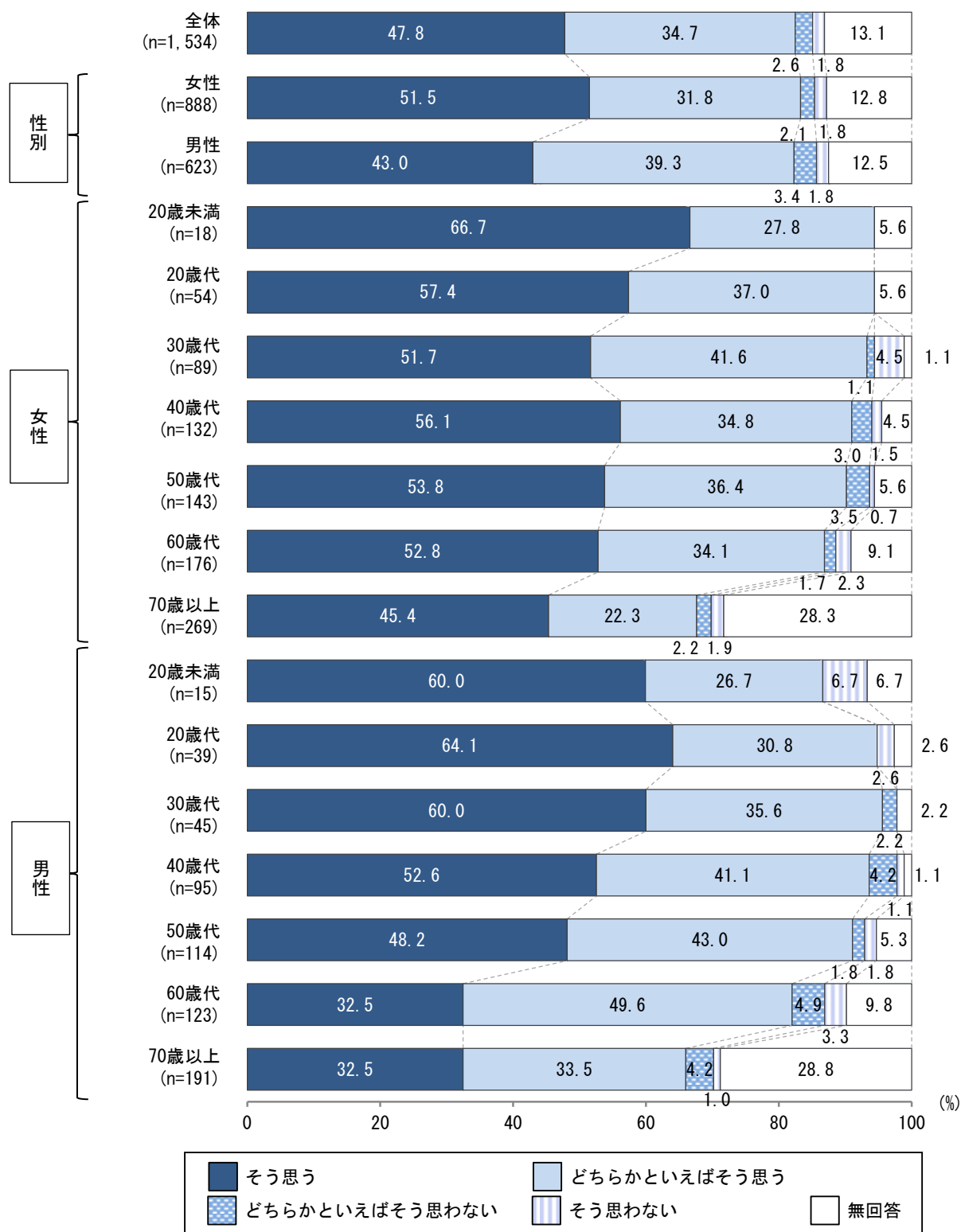


国調査と比較すると、『そう思う』は女性は令和6年調査(54.5%)が国調査(64.3%)を 9.8 ポイント下回っており、男性は令和6年調査(50.7%)が国調査(59.8%)を 9.1 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

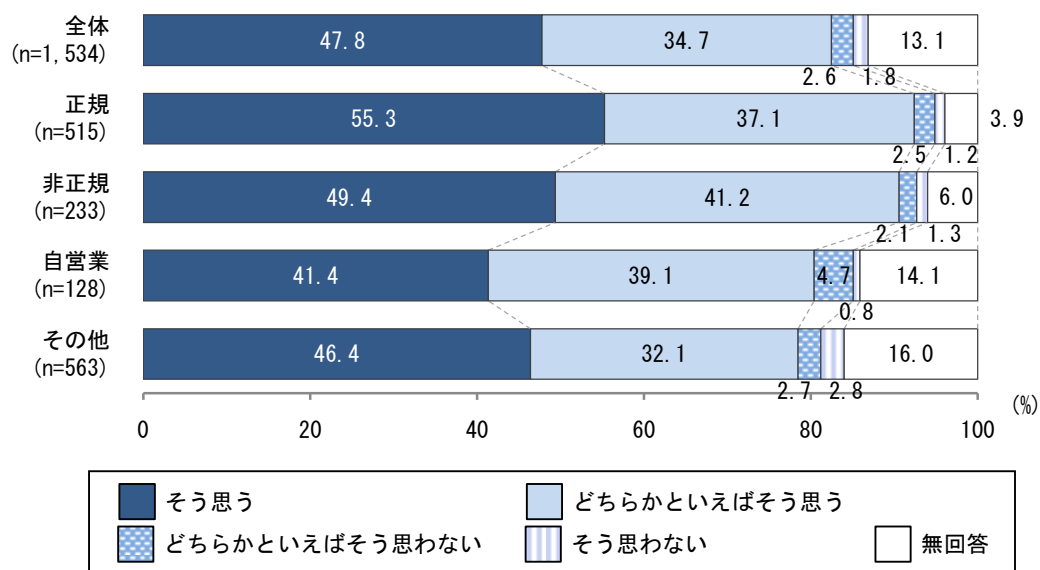
(I)子どもとの良い関係を築くことができる

【図表 23-12-1 子どもとの良い関係を築くことができる(性別、性年代別)】



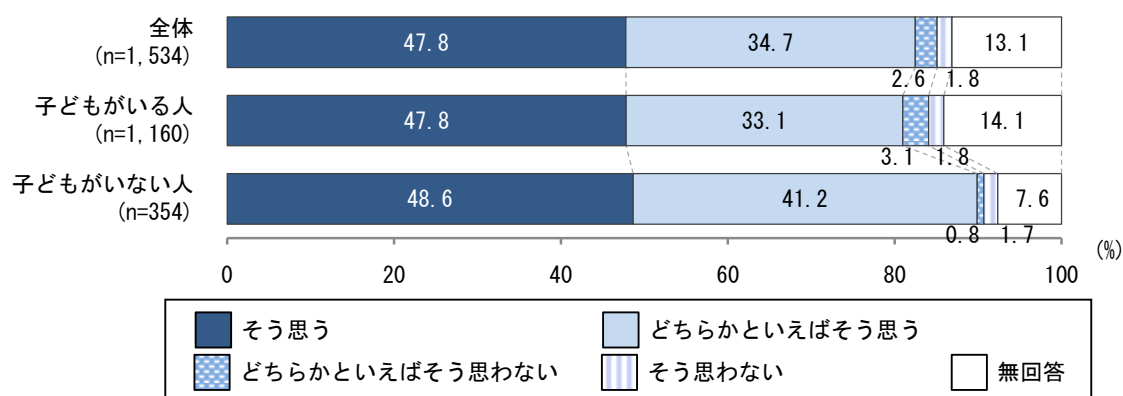
性別にみると、男女ともに8割超が『そう思う』と回答しており、各割合に大きな差はみられない。
性年代別にみると、男女ともに『そう思う』は20歳代～50歳代で9割台と高くなっている。

【図表 23-12-2 子どもとの良い関係を築くことができる(職業別)】



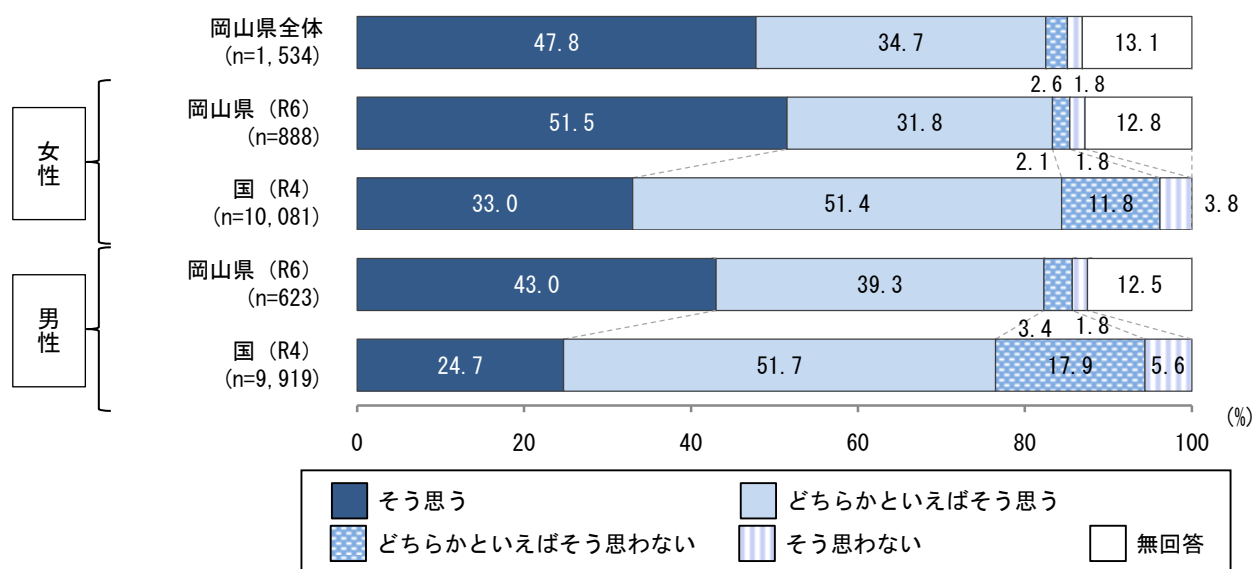
職業別でみると、『そう思う』は正規及び非正規で9割超と高くなっている。

【図表 23-12-3 子どもとの良い関係を築くことができる(子どもの有無別)】



子どもの有無別にみると、『そう思う』は子どもがいない人(89.8%)が子どもがいる人(80.9%)を 8.9 ポイント上回っている。

【図表 23-12-4 子どもとの良い関係を築くことができる(国調査との比較)】



国調査と比較すると、『そう思う』は男女ともに国と同様に約8割となっている。一方、『そう思わない』は女性では令和6年調査(3.9%)が国調査(15.6%)を 11.7 ポイント、男性では令和6年調査(5.2%)が国調査(23.5%)を 18.3 ポイント下回っている。

※国調査「令和4年度 新しいライフスタイル、新しい働き方を踏まえた男女共同参画推進に関する調査報告書」

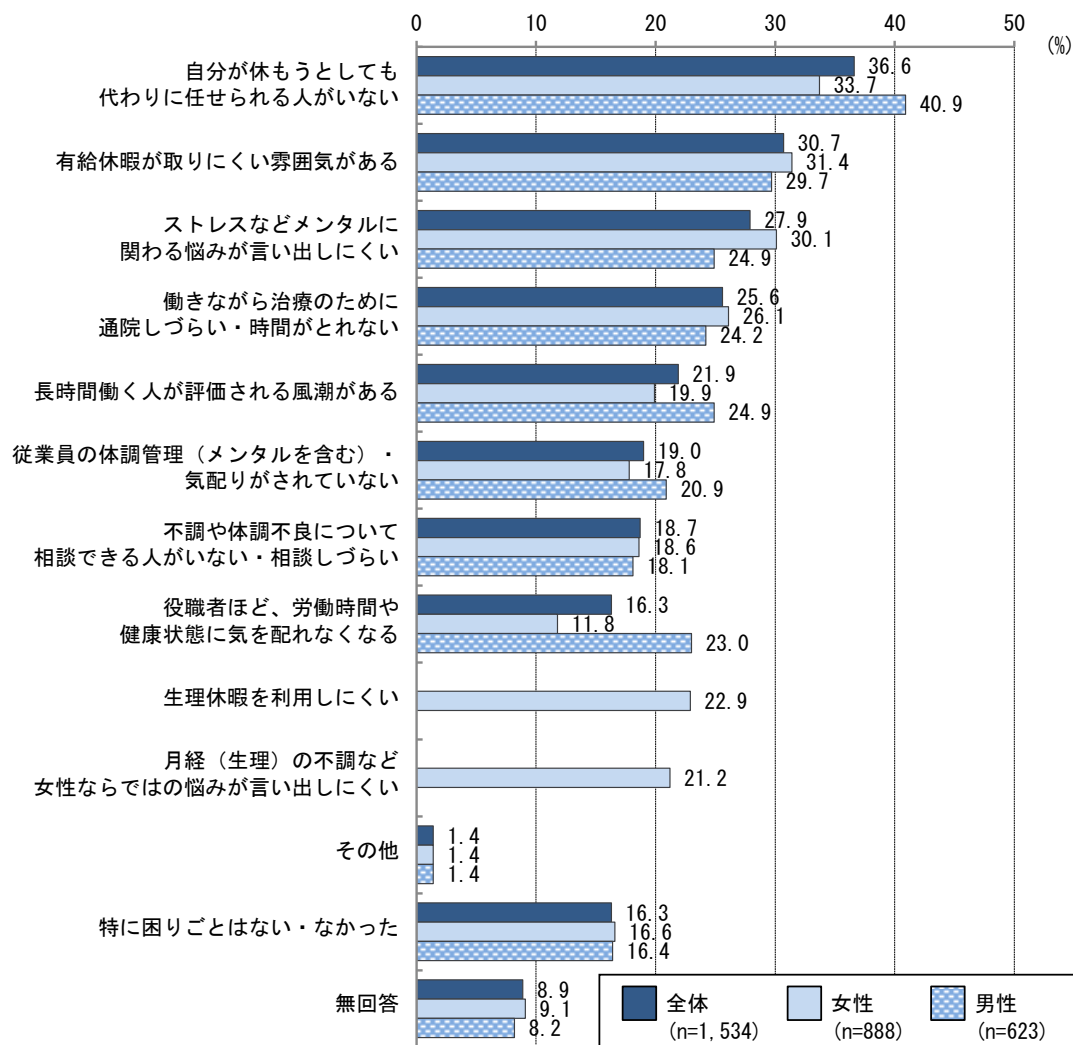
【新規】

(4) 働く上で健康課題に関して困ったこと

働いている方、もしくは働いたことがある方のみ

問24 過去～現在を含めて、働く上で身体や心の不調、健康問題に関して、どんな困りごとがありましたか。(✓はいくつでも)

【図表 24-1 働く上で健康課題に関して困ったこと(性別)】



「自分が休もうとしても代わりに任せられる人がいない」が最も高い

働く上で健康課題に関して困ったことについて、「自分が休もうとしても代わりに任せられる人がいない」が36.6%と最も高く、次いで「有給休暇が取りにくい雰囲気がある」(30.7%)、「ストレスなどメンタルに関わる悩みが言い出しにくい」(27.9%)などの順となっている。

性別にみると、「ストレスなどメンタルに関わる悩みが言い出しにくい」は女性(30.1%)が男性(24.9%)を5.2ポイント上回っており、「役職者ほど、労働時間や健康状態に気を配れなくなる」は男性(23.0%)が女性(11.8%)を11.2ポイント上回っている。

【図表 24-2 働く上で健康課題に関して困ったこと(性年代別・上位 10 位)】

			n 数	なわ自 いに分 が休も に任せ られる として 人が代	有給休 暇があ る取り にくい 雰	く い ス ト レ ス な ど メン タル に	に 関 わ る 悩 み が 言 い 出 し に	働 き な が ら い ・ 時 間 の た め に	通 院 し な い	長 時 間 働 く 人 が 評 価 さ れ る 風 潮 が あ る	さ れ て い な い	従 業 員 の 体 調 管 理 (メン タ ル を 含 む)・ 気 配 り が	相 談 し づ ら い	不 調 や 体 調 不 良 に つ い て	相 談 で き る 人 が い な い	相 談 し づ ら い	不 調 や 体 調 不 良 に つ い て	な る	健 康 状 態 に 気 を 配 れ な く	役 職 者 ほ ど 、 労 働 時 間 や	生 理 休 暇 を 利 用 し に く い	い 出 し に く い	女 性 な ら う な 生 理 の 不 調 な ど	(%)	
全 体			1,534	36.6	30.7	27.9	25.6	21.9	19.0	18.7	16.3	13.4	12.5												
年代別	女性	20歳未満	18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20歳代	54	38.9	33.3	33.3	18.5	16.7	22.2	25.9	7.4	37.0	29.6												
		30歳代	89	42.7	28.1	33.7	33.7	24.7	24.7	24.7	15.7	37.1	38.2												
		40歳代	132	42.4	35.6	38.6	22.0	25.0	23.5	24.2	23.5	34.1	31.1												
		50歳代	143	40.6	31.5	31.5	33.6	21.0	19.6	22.4	16.1	24.5	21.7												
		60歳代	176	33.0	31.8	36.4	26.7	21.0	16.5	18.8	9.7	14.2	16.5												
		70歳以上	269	24.5	32.0	21.6	24.9	16.7	13.0	11.5	5.9	16.4	13.4												
	男性	20歳未満	15	6.7	-	6.7	-	6.7	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		20歳代	39	17.9	17.9	33.3	12.8	35.9	20.5	12.8	12.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		30歳代	45	48.9	40.0	31.1	28.9	44.4	31.1	26.7	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		40歳代	95	52.6	36.8	38.9	31.6	28.4	28.4	24.2	29.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		50歳代	114	44.7	24.6	32.5	24.6	21.9	25.4	20.2	26.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		60歳代	123	46.3	31.7	16.3	27.6	21.1	18.7	22.8	29.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		70歳以上	191	35.1	30.4	17.3	21.5	22.0	14.7	11.5	20.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1位 2位 3位

性年代別にみると、「生理休暇を利用しにくい」は女性の 20 歳代及び 30 歳代で約4割、「長時間働く人が評価される風潮がある」は男性の 30 歳代で4割台半ばと高くなっている。

【図表 24-3 働く上で健康課題に関して困ったこと(就労状況別・上位 10 位)】

		n 数	なわ自	困有	く関ス	れ通働	る長時	されタ	従業員	相相不	なる健	役職者	生理休	い女月
			わりに	気が	いわる	ないし	風間働	れてを	員のの	談しづ	る康状	者ほ	暇を	性なら
			に任せ	がある	る悩	づら	く人	い含む	体調	い人	態に	ど、	を利用	（生理
			らうと	取り	み	い治	が評	・気	管	がい	を配	、労	しにく	）の
			る人が	にくい	が言	療の	価さ	配リ	（メ	ない・	間や	間や	い	悩不
			い代	霧	いしに	とに	れ	ン	ン	・	く	い	い	言
全 体		1,534	36.6	30.7	27.9	25.6	21.9	19.0	18.7	16.3	13.4	12.5		
就 労 状 況 別	共働き家庭	491	45.8	27.5	30.8	26.9	23.6	20.4	18.5	21.0	15.7	13.0		
	専業主婦(夫)家庭	131	41.2	35.1	35.9	29.8	24.4	18.3	26.7	21.4	19.1	22.1		

1位 2位 3位

就労状況別にみると、「月経(生理)の不調など女性ならではの悩みが言い出しにくい」は専業主婦(夫)家庭(22.1%)が共働き家庭(13.0%)を 9.1 ポイント、「不調や体調不良について相談できる人がいない・相談しづらい」は専業主婦(夫)家庭(26.7%)が共働き家庭(18.5%)を 8.2 ポイント、「有給休暇が取りにくい雰囲気がある」は専業主婦(夫)家庭(35.1%)が共働き家庭(27.5%)を 7.6 ポイント上回っている。

【図表 24-4 働く上で健康課題に関して困ったこと(職業別・上位 10 位)】

			(%)									
		n 数	なわいり	自分が休もうとせられても代わり	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい
全 体		1,534	36.6	30.7	27.9	25.6	21.9	19.0	18.7	16.3	13.4	12.5
職 業 別	正規	515	45.0	32.0	31.5	26.8	25.2	23.9	22.1	25.2	15.3	13.6
	非正規	233	37.8	29.2	37.8	29.2	24.9	20.6	22.7	16.7	15.0	12.9
	自営業	128	46.1	25.0	25.0	31.3	19.5	15.6	16.4	14.1	10.9	7.8
	その他	563	29.5	32.3	23.6	22.0	20.1	16.3	15.6	9.9	12.8	13.5

1位 2位 3位

職業別でみると、「自分が休もうとしても代わりに任せられる人がいない」は正規、自営業で4割台半ば、「ストレスなどメンタルに関わる悩みが言い出しにくい」は非正規で約4割と高くなっている。

【図表 24-5 働く上で健康課題に関して困ったこと(国調査との比較・上位 10 位)】

			(%)									
		n 数	なわいり	自分が休もうとせられても代わり	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい	有給休暇が取りにくい
岡 山 県 全 体		1,534	36.6	30.7	27.9	25.6	21.9	19.0	18.7	16.3	13.4	12.5
女 性	岡山県(R6)	888	33.7	31.4	30.1	26.1	19.9	17.8	18.6	11.8	22.9	21.2
	国(R5)	9,876	19.1	12.5	21.6	13.0	8.6	11.5	13.6	3.8	-	-
男 性	岡山県(R6)	623	40.9	29.7	24.9	24.2	24.9	20.9	18.1	23.0	-	-
	国(R5)	9,598	15.7	11.1	18.4	11.1	9.1	10.3	12.0	7.5	-	-

1位 2位 3位

国調査と比較すると、女性では「有給休暇が取りにくい雰囲気がある」は令和6年調査(31.4%)が国調査(12.5%)を 18.9 ポイント、男性では「自分が休もうとしても代わりに任せられる人がいない」は令和6年調査(40.9%)が国調査(15.7%)を 25.2 ポイント上回っている。

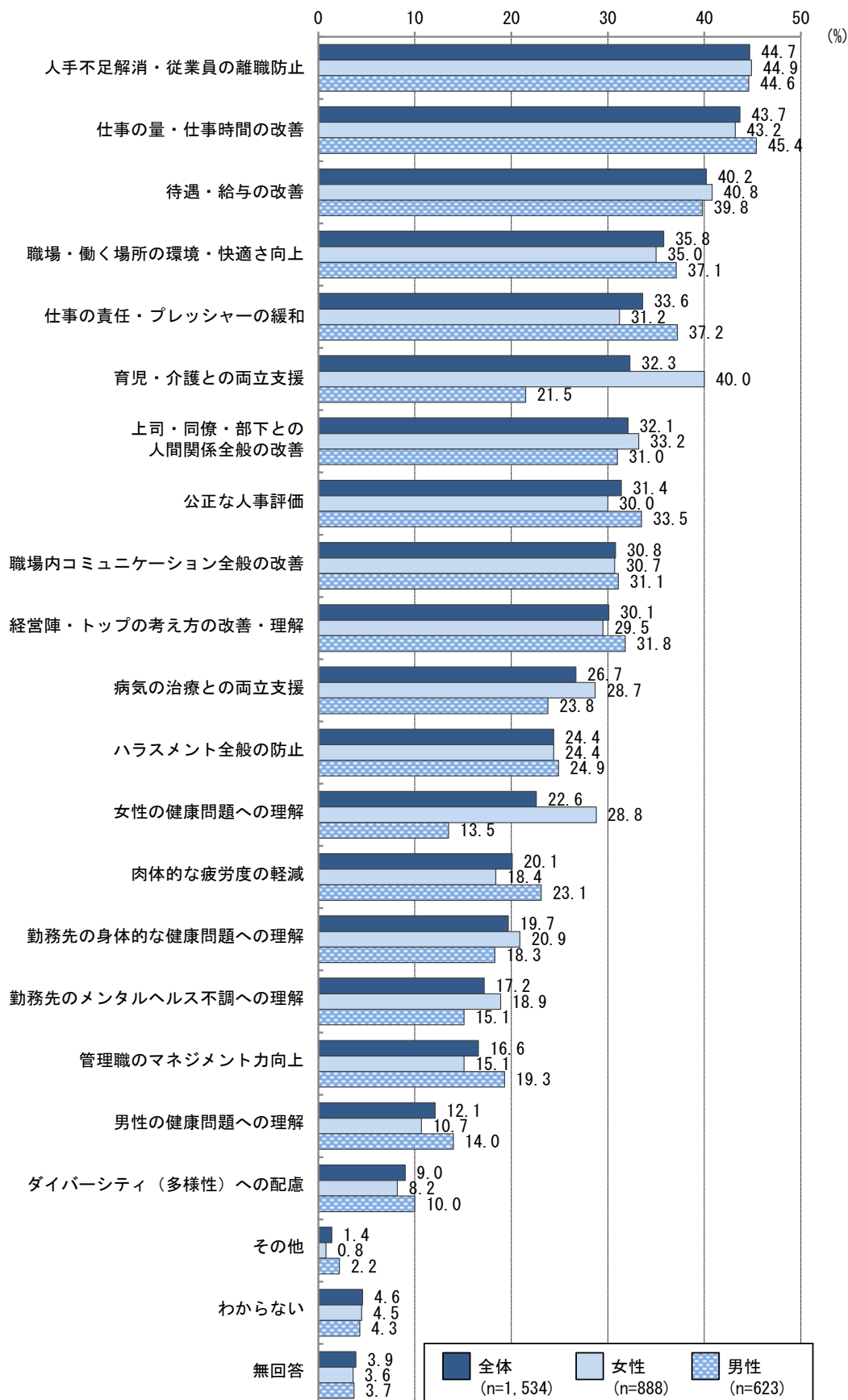
※国調査「令和5年度男女の健康意識に関する調査報告書」

【新規】

(5) 働く上での健康課題や困りごとに対する改善策

問25 どんなことがあれば、働く上での身体や心の不調、健康問題や、それに関する困りごとについて、改善に向かうと思われますか。(✓はいくつでも)

【図表 25-1 働く上での健康課題や困りごとに対する改善策(性別)】



「人手不足解消・従業員の離職防止」が最も高い

働く上での健康課題や困りごとに対する改善策について、「人手不足解消・従業員の離職防止」が 44.7% と最も高く、次いで「仕事の量・仕事時間の改善」(43.7%)、「待遇・給与の改善」(40.2%)などの順となっている。

性別にみると、「育児・介護との両立支援」は女性(40.0%)が男性(21.5%)を 18.5 ポイント、「女性の健康問題への理解」は女性(28.8%)が男性(13.5%)を 15.3 ポイント上回っている。一方、「仕事の責任・プレッシャーの緩和」は男性(37.2%)が女性(31.2%)を 6.0 ポイント上回っている。

【図表 25-2 働く上での健康課題や困りごとに対する改善策(性年代別・上位 10 位)】

		n 数	人手不足 解消・従業 員の離職防 止	仕事の量・ 仕事時間 の改善	待遇・給 与の改善	職場・快 適さ・働 く場所の 環境	仕事の責 任・プレ ッシャー の緩和	育児・介 護との両 立支援	上司・同 僚・部下 との関係 改善	公正な人 事評価	職場内全 体の改善 率	経営陣の 改善・ト ップの考 え
全 体		1,534	44.7	43.7	40.2	35.8	33.6	32.3	32.1	31.4	30.8	30.1
年 代 別	女 性	20歳未満	18	22.2	61.1	50.0	38.9	50.0	55.6	27.8	44.4	27.8
		20歳代	54	66.7	70.4	51.9	40.7	46.3	42.6	38.9	31.5	42.6
		30歳代	89	60.7	61.8	55.1	33.7	41.6	51.7	32.6	29.2	25.8
		40歳代	132	62.1	43.2	47.0	39.4	36.4	37.1	37.1	32.6	31.1
		50歳代	143	54.5	40.6	44.8	41.3	32.2	42.7	38.5	33.6	32.9
		60歳代	176	46.0	42.6	43.2	33.0	35.8	44.3	31.3	34.1	34.7
		70歳以上	269	23.0	33.5	26.8	30.9	18.2	32.7	27.1	24.2	23.0
	男 性	20歳未満	15	33.3	60.0	33.3	20.0	33.3	6.7	20.0	6.7	6.7
		20歳代	39	59.0	59.0	61.5	43.6	51.3	38.5	46.2	43.6	35.9
		30歳代	45	57.8	66.7	55.6	40.0	57.8	17.8	33.3	31.1	33.3
		40歳代	95	64.2	53.7	56.8	49.5	50.5	31.6	36.8	40.0	42.1
		50歳代	114	55.3	48.2	34.2	35.1	44.7	26.3	33.3	35.1	33.3
		60歳代	123	39.8	39.0	39.0	34.1	30.9	19.5	28.5	31.7	39.8
		70歳以上	191	26.7	34.6	27.7	33.5	23.0	13.6	25.7	31.4	21.5

1位 2位 3位

性年代別にみると、「仕事の量・仕事時間の改善」は女性の 20 歳代で約7割、「仕事の責任・プレッシャーの緩和」は男性の 30 歳代で約6割と高くなっている。

【図表 25-3 働く上での健康課題や困りごとに対する改善策(地域別・上位 10 位)】

		n 数	人手不足解消・従業員の離職防止	仕事の量・仕事時間の改善	待遇・給与の改善	職場・働く場所の環境・快適さ向上	仕事の責任・プレッシャーの緩和	育児・介護との両立支援	上司・同僚・部下との人間関係全般の改善	公正な人事評価	職場内コミュニケーション全般の改善	経営陣・トップの考え方の改善・理解
全 体		1,534	44.7	43.7	40.2	35.8	33.6	32.3	32.1	31.4	30.8	30.1
地域別	備前県民局管内	756	44.0	43.0	39.9	34.3	33.9	33.3	33.5	33.1	32.0	30.0
	備中県民局管内	612	44.9	42.8	40.2	37.6	30.9	31.7	29.2	28.6	28.3	29.1
	美作県民局管内	158	48.7	52.5	43.7	36.7	44.3	30.4	36.7	34.2	34.8	36.1

1位 2位 3位

地域別にみると、「人手不足解消・従業員の離職防止」及び「仕事の量・仕事時間の改善」はすべての地域で上位となっている。「仕事の責任・プレッシャーの緩和」は美作県民局管内では4割台半ばと高くなっている。

【図表 25-4 働く上での健康課題や困りごとに対する改善策(国調査との比較・上位 10 位)】

		n 数	人手不足解消・従業員の離職防止	仕事の量・仕事時間の改善	待遇・給与の改善	職場・働く場所の環境・快適さ向上	仕事の責任・プレッシャーの緩和	育児・介護との両立支援	上司・同僚・部下との人間関係全般の改善	公正な人事評価	職場内コミュニケーション全般の改善	経営陣・トップの考え方の改善・理解
岡山県全体		1,534	44.7	43.7	40.2	35.8	33.6	32.3	32.1	31.4	30.8	30.1
女性	岡山県(R6)	888	44.9	43.2	40.8	35.0	31.2	40.0	33.2	30.0	30.7	29.5
	国(R5)	10,121	20.2	21.0	21.5	20.1	15.8	12.0	15.8	12.3	17.2	11.5
男性	岡山県(R6)	623	44.6	45.4	39.8	37.1	37.2	21.5	31.0	33.5	31.1	31.8
	国(R5)	9,879	15.3	21.0	21.8	17.6	16.8	5.1	14.4	12.3	14.4	11.8

1位 2位 3位

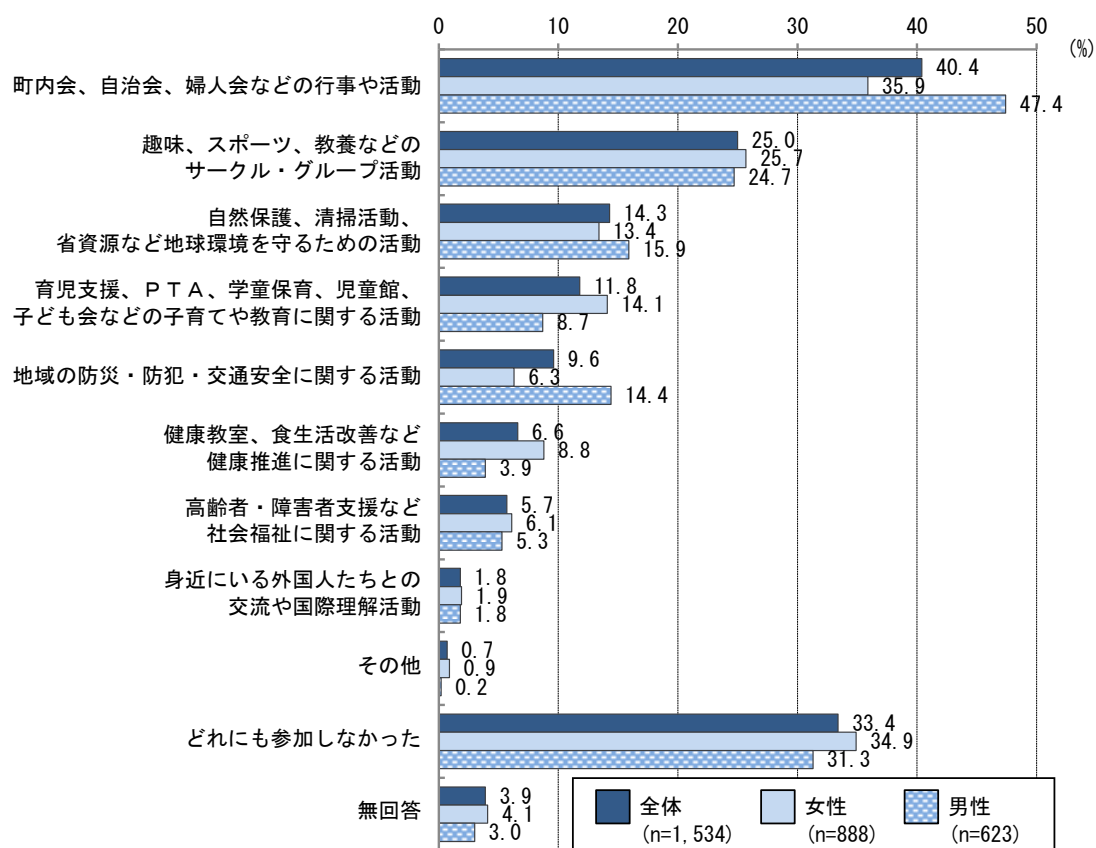
国調査と比較すると、すべての項目で国調査を上回っている。また、女性では「育児・介護との両立支援」は令和6年調査(40.0%)が国調査(12.0%)を 28.0 ポイント、男性では「人手不足解消・従業員の離職防止」は令和6年調査(44.6%)が国調査(15.3%)を 29.3 ポイント上回っている。

※国調査「令和5年度男女の健康意識に関する調査報告書」

(6) 最近参加した地域活動

問26 ここ1年ほどの間で参加した地域活動にはどのようなものがありますか。(✓はいくつでも)

【図表 26-1 最近参加した地域活動(性別)】



「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が最も高い

最近参加した地域活動について、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」が 40.4%と最も高く、次いで「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」(25.0%)、「自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動」(14.3%)などの順となっている。また、「どれにも参加しなかった」は 33.4%となっている。

性別にみると、「育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動」は女性(14.1%)が男性(8.7%)を 5.4 ポイント上回っており、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」は男性(47.4%)が女性(35.9%)を 11.5 ポイント上回っている。

【図表 26-2 最近参加した地域活動(性年代別・上位 10 位)】

		n 数	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	どれにも参加しなかった	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動	地域の防災・防犯・交通安全に関する活動	健康教室、食生活改善など健康推進に関する活動	高齢者・障害者支援など社会福祉に関する活動	身近にいる外国人たちとの交流や国際理解活動	その他	
全 体		1,534	40.4	33.4	25.0	14.3	11.8	9.6	6.6	5.7	1.8	0.7	
年代別	女性	20歳未満	18	5.6	44.4	16.7	5.6	-	-	-	16.7	5.6	5.6
		20歳代	54	9.3	59.3	22.2	5.6	7.4	5.6	-	-	7.4	-
		30歳代	89	24.7	33.7	24.7	6.7	46.1	4.5	1.1	1.1	-	-
		40歳代	132	42.4	34.1	19.7	12.1	37.1	3.8	3.8	1.5	1.5	-
		50歳代	143	32.2	43.4	16.1	14.0	8.4	6.3	7.0	4.9	0.7	2.1
		60歳代	176	45.5	27.3	29.0	18.2	6.8	6.8	9.1	10.8	3.4	1.7
		70歳以上	269	39.8	30.5	33.5	15.2	2.2	8.6	17.1	8.2	1.1	0.4
	男性	20歳未満	15	-	53.3	26.7	-	13.3	-	-	-	-	6.7
		20歳代	39	10.3	71.8	15.4	5.1	-	-	-	-	2.6	-
		30歳代	45	42.2	42.2	17.8	15.6	20.0	22.2	-	-	4.4	-
		40歳代	95	42.1	33.7	24.2	14.7	16.8	20.0	2.1	5.3	1.1	-
		50歳代	114	61.4	22.8	23.7	14.9	14.9	13.2	3.5	6.1	0.9	-
		60歳代	123	52.8	29.3	22.0	16.3	0.8	16.3	3.3	4.1	4.1	-
		70歳以上	191	50.3	24.1	30.9	20.4	4.7	13.6	7.3	8.4	0.5	-

1位 2位 3位

性年代別にみると、すべての年代で「どれにも参加しなかった」が上位となっている。参加した人では、「育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動」は女性の 30 歳代で4割台半ば、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」は男性の 50 歳代で6割超と高くなっている。

【図表 26-3 最近参加した地域活動(地域別・上位 10 位)】

【図表 26-3 最近参加した地域活動(地域別・上位 10 位)】

		n 数	町内会、自治会、婦人会などの 行事や活動	どれにも参加しなかった	趣味、スポーツ、教養などの サークル・グループ活動	自然保護、清掃活動、省資源な ど地球環境を守るための活動	育児支援、PTA、学童保育、 児童館、子ども会などの子育て や教育に関する活動	地域の防災・防犯・交通安全に 関する活動	健康教室、食生活改善など健康 推進に関する活動	高齢者・障害者支援など社会福 祉に関する活動	身近にいる外国人たちとの交流 や国際理解活動	その他
全 体		1,534	40.4	33.4	25.0	14.3	11.8	9.6	6.6	5.7	1.8	0.7
地域別 居住	備前県民局管内	756	39.4	35.3	23.0	13.6	13.0	8.1	5.8	6.0	2.1	0.4
	備中県民局管内	612	38.2	34.0	26.6	15.4	8.8	9.8	8.0	5.2	1.5	1.0
	美作県民局管内	158	54.4	23.4	29.1	14.6	17.7	16.5	5.7	6.3	1.9	1.3

1位 2位 3位

地域別にみると、「どれにも参加しなかった」は美作県民局管内が約2割と低い。「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」は美作県民局管内が5割超で他の地域と比べて高かった。

【図表 26-4 最近参加した地域活動(就労状況別・上位 10 位)】

			(%)									
		n 数	町内会、自治会、婦人会などの行事や活動	どれにも参加しなかった	趣味、スポーツ、グループ活動などのサークル・グループ活動	自然保護、清掃活動、省資源など地球環境を守るための活動	育児支援、PTA、学童保育、児童館、子ども会などの子育てや教育に関する活動	地域の防災・防犯・交通安全に関する活動	健康教室、食生活改善など健康推進に関する活動	高齢者・障害者支援など社会福祉に関する活動	身近にいる外国人たちとの交流や国際理解活動	その他
全 体		1,534	40.4	33.4	25.0	14.3	11.8	9.6	6.6	5.7	1.8	0.7
就労状況別	共働き家庭	491	50.7	27.1	25.7	16.9	21.4	12.4	4.7	4.1	2.2	-
	専業主婦(夫)家庭	131	38.9	33.6	22.9	13.7	25.2	8.4	9.2	6.9	2.3	-

1位 2位 3位

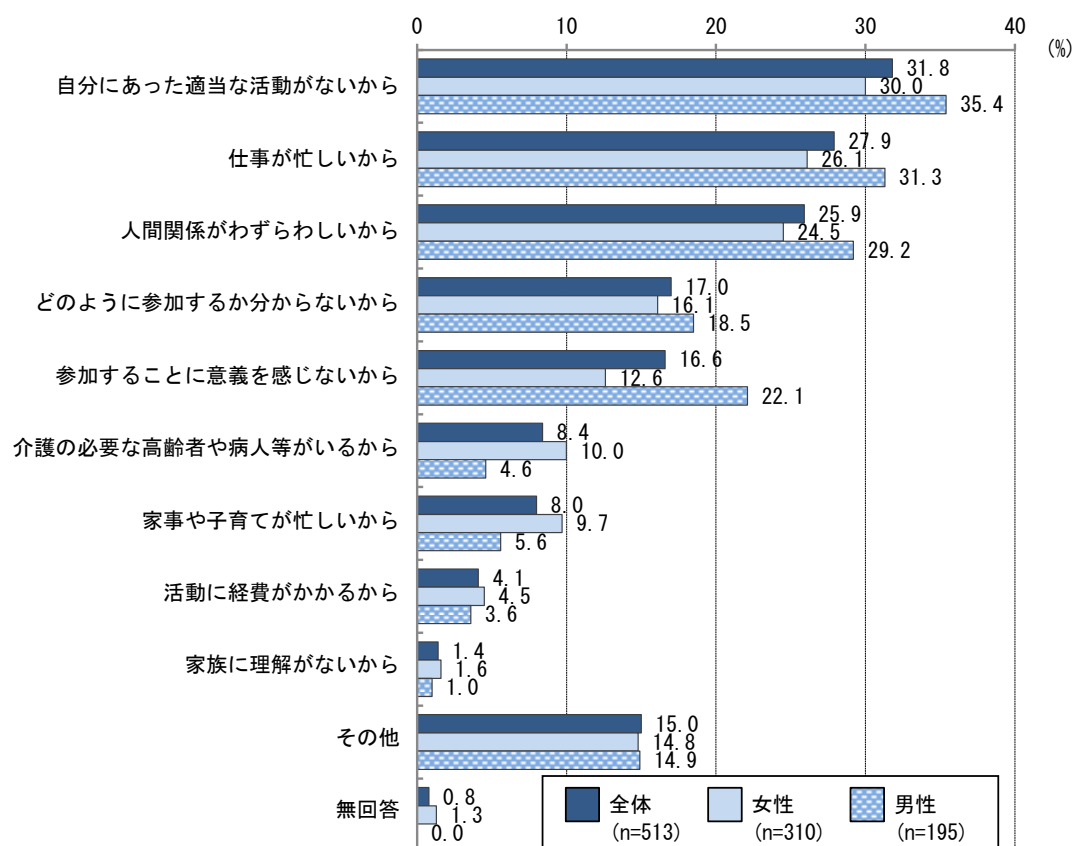
就労状況別にみると、「町内会、自治会、婦人会などの行事や活動」は共働き家庭(50.7%)が専業主婦(夫)家庭(38.9%)を 11.8 ポイント上回っている。

(7) 地域活動に参加しなかった理由

問 26 で「10.どれにも参加しなかった」を選択した方のみ

問27 どれにも参加しなかったのはなぜですか。(✓はいくつでも)

【図表 27-1 地域活動に参加しなかった理由(性別)】



「自分にあった適当な活動がないから」が最も高い

地域活動に参加しなかった理由について、「自分にあった適当な活動がないから」が 31.8%と最も高く、次いで「仕事が忙しいから」(27.9%)、「人間関係がわずらわしいから」(25.9%)などの順となっている。

性別にみると、「介護の必要な高齢者や病人等がいるから」は女性(10.0%)が男性(4.6%)を 5.4 ポイント上回っており、「参加することに意義を感じないから」は男性(22.1%)が女性(12.6%)を 9.5 ポイント、「自分にあった適当な活動がないから」は男性(35.4%)が女性(30.0%)を 5.4 ポイント上回っている。

【図表 27-2 地域活動に参加しなかった理由(性年代別・上位9位)】

			n 数	自分 があ った 適 当 な 活 動 が な い か ら	仕 事 が 忙 し い か ら	人 間 関 係 が わ ず ら わ し い か ら	ど の よ う に 参 加 す る か ら	参 加 す る こ と に 意 義 を 感 じ な い か ら	介 護 の 必 要 な 高 齢 者 や 病 人 等 が い る か ら	家 事 や 子 育 て が 忙 し い か ら	活 動 に 経 費 が か か る か ら	家 族 に 理 解 が な い か ら	(%)
全 体			513	31.8	27.9	25.9	17.0	16.6	8.4	8.0	4.1	1.4	
年 代 別	女 性	20歳未満	8	25.0	-	12.5	-	25.0	-	-	12.5	-	
		20歳代	32	28.1	37.5	18.8	25.0	25.0	-	6.3	-	-	
		30歳代	30	20.0	40.0	20.0	30.0	16.7	10.0	23.3	-	-	
		40歳代	45	37.8	44.4	20.0	17.8	17.8	2.2	17.8	4.4	4.4	
		50歳代	62	33.9	29.0	37.1	12.9	11.3	6.5	8.1	6.5	1.6	
		60歳代	48	27.1	22.9	25.0	18.8	8.3	22.9	6.3	8.3	2.1	
		70歳以上	82	30.5	9.8	22.0	8.5	4.9	13.4	6.1	3.7	1.2	
	男 性	20歳未満	8	62.5	-	-	37.5	37.5	-	-	-	-	
		20歳代	28	17.9	35.7	14.3	28.6	28.6	-	10.7	7.1	-	
		30歳代	19	26.3	36.8	42.1	31.6	31.6	-	21.1	5.3	-	
		40歳代	32	43.8	56.3	34.4	25.0	25.0	-	3.1	3.1	-	
		50歳代	26	46.2	46.2	42.3	15.4	23.1	3.8	7.7	11.5	3.8	
		60歳代	36	41.7	30.6	27.8	2.8	5.6	5.6	2.8	-	-	
		70歳以上	46	28.3	6.5	28.3	13.0	21.7	13.0	-	-	2.2	
				1位	2位	3位							

1位 2位 3位

性年代別にみると、「仕事忙しいから」は女性は 40 歳代で4割台半ば、男性は 40 歳代で5割台半ば、「人間関係がわずらわしいから」は女性の 50 歳代及び男性の 30 歳代で約4割と高くなっている。

【図表 27-3 地域活動に参加しなかった理由(地域別・上位9位)】

		n 数	(%)								
			動自 分が ない あ つ た 適 当 な 活	仕 事 が 忙 し い か ら	い 人 間 関 係 が わ ず ら わ し	分 ど の よ う に か ら 参 加 す る か	感 参 加 す る こ と に 意 義 を 感 じ な い か ら	病 介 護 の 必 要 な 高 齢 者 や 人 等 が い る か ら	か 家 事 や 子 育 て が 忙 し い	ら 活 動 に 経 費 が か か る か	家 族 に 理 解 が な い か ら
全 体		513	31.8	27.9	25.9	17.0	16.6	8.4	8.0	4.1	1.4
地 域 別	備前県民局管内	267	34.5	27.7	26.2	16.1	16.1	9.7	8.2	3.0	1.9
	備中県民局管内	208	29.3	29.3	27.4	17.8	15.4	8.2	8.2	5.8	1.0
	美作県民局管内	37	27.0	21.6	16.2	18.9	24.3	-	5.4	2.7	-

1位 2位 3位

地域別にみると、「自分にあった適切な活動がないから」は備前県民局管内で3割台半ば、「仕事忙しいから」は備前県民局管内及び備中県民局管内で約3割、「参加することに意義を感じないから」は美作県民局管内で2割台半ばと高くなっている。

【図表 27-4 地域活動に参加しなかった理由(就労状況別・上位9位)】

		n数	動自分 がない にあつ た適 当な 活	仕事 が忙 しい から	い人 から 間関 係が わづ らわ し	分ど のよ うに 参加 する か	感参 じ加 ない こと に意 義を	病介 人護 の必 要な 高 齢者 や	から家 事や 子育 てが 忙し い	ら活 動に 経費 がか かる か	家 族に 理 解が ない から
全 体		513	31.8	27.9	25.9	17.0	16.6	8.4	8.0	4.1	1.4
就 労 状 況 別	共働き家庭	133	30.8	42.9	27.1	15.8	18.8	2.3	15.8	3.8	0.8
	専業主婦(夫)家庭	44	36.4	20.5	20.5	15.9	22.7	18.2	20.5	-	2.3

1位 2位 3位

就労状況別にみると、「仕事が忙しいから」は共働き家庭(42.9%)が専業主婦(夫)家庭(20.5%)を 22.4 ポイント上回っており、「介護の必要な高齢者や病人等がいるから」は専業主婦(夫)家庭(18.2%)が共働き家庭(2.3%)を 15.9 ポイント上回っている。

【図表 27-5 地域活動に参加しなかった理由(職業別・上位9位)】

		n数	動自分 がない にあつ た適 当な 活	仕事 が忙 しい から	い人 から 間関 係が わづ らわ し	分ど のよ うに 参加 する か	感参 じ加 ない こと に意 義を	病介 人護 の必 要な 高 齢者 や	から家 事や 子育 てが 忙し い	ら活 動に 経費 がか かる か	家 族に 理 解が ない から
全 体		513	31.8	27.9	25.9	17.0	16.6	8.4	8.0	4.1	1.4
職 業 別	正規	187	30.5	47.6	27.3	20.3	19.8	2.1	8.6	3.2	0.5
	非正規	77	35.1	41.6	27.3	20.8	16.9	9.1	11.7	5.2	2.6
	自営業	35	34.3	37.1	25.7	5.7	20.0	5.7	17.1	5.7	-
	その他	188	34.0	2.7	26.1	14.4	14.9	13.3	5.3	3.7	2.1

1位 2位 3位

職業別でみると、「仕事が忙しいから」は正規で約5割と高くなっている。「どのように参加するか分からないから」は非正規(20.8%)で最も高く、自営業(5.7%)が最も低くなっており、15.1 ポイントの差がある。